

令和6年度沖縄振興特別推進市町村交付金事業 成果一覧

令和7年10月

那覇市	1	嘉手納町	62
宜野湾市	13	北谷町	63
石垣市	17	北中城村	65
浦添市	20	中城村	68
名護市	23	西原町	70
糸満市	26	与那原町	73
沖縄市	28	南風原町	76
豊見城市	32	渡嘉敷村	81
うるま市	36	座間味村	83
宮古島市	40	粟国村	84
南城市	43	渡名喜村	86
国頭村	45	南大東村	87
大宜味村	46	北大東村	88
東村	48	伊平屋村	90
今帰仁村	48	伊是名村	92
本部町	50	久米島町	94
恩納村	52	八重瀬町	97
宜野座村	54	多良間村	100
金武町	56	竹富町	101
伊江村	57	与那国町	103
読谷村	59		

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号		事業名	計画期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
01 那覇市	1	1	観光案内所外国人対応スタッフ配置事業	H25 ～ R13	外国人観光客への利便性確保を図るため、外国語対応可能なスタッフを配置している観光案内所の運営を支援する。	・外国人観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(満足度80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	利便性が確保されたか:満足度100%	◎
01 那覇市	1	2	めんそーれ観光充実事業	H28 ～ R13	観光地としてふさわしい景観等を確保するため、国際通りを中心に迷惑行為の指導、是正要請等を行う。	「迷惑行為防止重点地区」における看板等の違法な設置に関する指導回数及び車両の違法駐車への指導回数 看板:月平均440回以内 車両:月平均85回以内	「迷惑行為防止重点地区」における看板等の違法な設置に関する指導回数及び車両の違法駐車への指導回数 看板:月平均797 車両:月平均268	未
01 那覇市	1	3	那覇三大祭り関連事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、那覇市の三大祭りである「那覇ハーリー」「那覇大綱挽まつり」「琉球王朝祭り首里」の開催支援等を行う。	・「那覇ハーリー」来場者数:187,800人 ・「那覇大綱挽」来場者数:272,000人 ・「琉球王朝祭り首里」来場者数:48,600人	・「那覇ハーリー」来場者数:162,000人 ・「那覇大綱挽」来場者数:280,000人 ・「琉球王朝祭り首里」来場者数:40,000人	○
01 那覇市	1	4	観光入込統計調査事業	H28 ～ R13	本市における国内観光客の旅行行動、観光消費額等を把握し、その結果を観光施策の企画・立案及び成果検証に活用するため、WEBによるアンケート調査を実施する。	・WEBアンケート調査における回収件数600件以上	・WEBアンケート調査における回収件数600件	◎
01 那覇市	1	5	プロ野球キャンプ等支援事業	H24 ～ R13	読売巨人軍春季那覇キャンプ及びプロ野球公式戦の開催支援を行うことで、観光誘客を図る。	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 84,000人 ・プロ野球公式戦1試合入場者数:13,000人	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 95,602人 ・プロ野球公式戦1試合入場者数:17,126人	◎
01 那覇市	1	6	那覇まちま～い推進事業	H24 ～ R13	観光客の誘客を図るため、地元ガイドと那覇市内の観光地を巡る「那覇まちま～い」及び「ガイド養成講座」の支援を行う。	・那覇まちま～い参加者数 4,860人 ・ガイド養成講座受講者数 25人	・那覇まちま～い参加者数 1,520人 ・ガイド養成講座受講者数 25人	△
01 那覇市	1	7	外国人観光客受入整備事業	H26 ～ R13	外国人観光客の受入体制の整備の図るため、那覇クルーズ促進連絡協議会の活動支援を行う	クルーズ乗船客数:607,809人	クルーズ乗船客数:497,377人	○
01 那覇市	1	8	観光イベント等映像発信事業	H24 ～ R13	市内観光地への観光誘客を促進するため、移動式車載大型ビジョンを活用して、観光客向けに那覇市の観光情報を発信する。	年間稼働数:54回	年間稼働数:42回	○
01 那覇市	1	9	沖縄国際映画祭関連事業	H28 ～ R13	観光客の誘客を図るため、沖縄映画祭開催に係る運営費の一部を実行委員会に補助する。	国際通りレッドカーペット観客数 92,000人	国際通りレッドカーペット観客数 15,000人	未

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号		事業名	計画期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
01 那覇市	1	10	国際通りトランジットマイル推進事業	H24 ～ R13	観光客・地元客の誘客を図るため、那覇市国際通り商店街振興組合連合会が実施するトランジットモールの取組を支援する。	歩行者通行量(1日):22,100人	歩行者通行量(1日):27,772人/日	◎
01 那覇市	1	11	一万人のエイサー踊り隊推進事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、観光資源である「一万人のエイサー踊り隊」の開催支援等を行う。	来場者数:90,800人	来場者数:18,300人	未
01 那覇市	1	12	沖縄の「食」の魅力体験支援事業	R6 ～ R13	第一牧志公設市場を含めた中心商店街(マチグラー)の継続的な回遊性及び誘客の向上を図るため、中心商店街の賑わい創出に寄与するイベントを実施する団体を支援する。	中心商店街来訪意向の向上(イベント参加者の7割が「同様なイベントがあれば参加したい」と回答)	中心商店街来訪意向の向上(イベント参加者の10割が「同様なイベントがあれば参加したい」と回答)	◎
01 那覇市	1	14	マチグラー総合案内所事業	H26 ～ R13	観光客の利便性の確保を図るため、中心商店街(マチグラー)に、案内所を設置する。	①案内所利用者数:18,000人 ②利用者満足度:80%以上	①案内所利用者数:21,195人 ②利用者満足度:100%	◎
01 那覇市	1	15	歴史博物館企画展事業	H24 ～ R13	地域の歴史・文化を学べる機会を増やすため、歴史博物館において、沖縄の歴史・文化に特化した企画展を開催する。	来館者数 9,150人	来館者数 11,601人	◎
01 那覇市	1	16	第2次那覇市観光基本計画策定事業	R5 ～ R6	令和5年度に作成した骨子案を基に第2次那覇市観光基本計画を策定する。	第2次那覇市観光基本計画の策定	第2次那覇市観光基本計画の策定完了	◎
01 那覇市	1	17	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」支援事業	H25 ～ R13	観光誘客を図るため、観光資源である首里城復興祭「琉球王朝絵巻行列」の開催支援等を行う。	首里城復興祭「琉球王朝絵巻行列」来場者数:33,400人	首里城復興祭「琉球王朝絵巻行列」来場者数:25,000人	○
01 那覇市	1	18	プロ野球キャンプにぎわい創出事業	H24 ～ R13	読売巨人軍春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント、案内看板等を設置することにより、キャンプ会場を訪れる観光誘客を図る。	・読売巨人軍那覇キャンプ 延べ見学者数 84,000人	・読売巨人軍那覇キャンプ 延べ見学者数 95,602人	◎
01 那覇市	1	19	リュウキュウマツ害虫対策事業	H24 ～ R13	県木であり観光資源であるリュウキュウマツの松枯れ予防対策として薬剤注入等を行い、景観の保護を図る。	R8年度の松枯れ予防達成率90%以上	R6年度の松枯れ予防達成率100% R8は後年度検証	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号		事業名	計画期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
01 那覇市	1	20	花いっぱい運動推進事業	H24 ～ R13	観光都市として魅力的な景観を創出するため、観光ルート沿線を対象に草花苗の配布や公園花壇への花卉植栽を行うとともに、亜熱帯特有の樹木を活かした都市公園の環境整備や情報発信の向上を図る。	・立体花壇等の設置完了 ・亜熱帯樹木活用のための計画作成完了	・立体花壇等の設置完了 ・亜熱帯樹木活用のための計画作成完了	◎
01 那覇市	1	21	歴史散歩道整備事業	H24 ～ R13	観光客が那覇の歴史を感じて歩くことができるようにするため、歴史散歩道を整備する。	本事業により、整備を行った歴史散歩道について、観光客へのアンケート調査を実施し、歴史を感じることができる道路整備となっている(80%以上)を検証する。	－	繰
01 那覇市	1	22	亜熱帯庭園都市の道路美化事業	H24 ～ R13	幹線市道や観光地周辺市道の美化(剪定・除草・植栽整備等)を推進し、観光地としてふさわしい道路環境及び景観を創出する。	本事業(剪定・除草・植栽整備等)による道路美化の対象路線について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	－	繰
01 那覇市	1	23	都市景観資源形成促進事業	R5 ～ R13	那覇らしい個性豊かな景観まちづくりを推進するために景観資源の維持保全費用の補助及び銘板設置を行う。	都市景観資源指定件数の維持及び向上:71件以上	都市景観資源指定件数の維持及び向上:72件	◎
01 那覇市	1	24	市内滞在促進コンテンツ支援事業	R6 ～ R8	本市は、県内旅行の拠点として利便性の高い国際通りや首里城等が存在するが、観光客の滞在日数が短く、消費額も少ないという課題があるため、これらの解消に繋がる取組を行う市内事業者等を支援する。	市内滞在日数の増加に繋がったと回答した採択事業者の割合:75%以上	市内滞在日数の増加に繋がったと回答した採択事業者の割合:75%	◎
01 那覇市	1	25	那覇市営奥武山野球場機能強化推進事業	R6 ～ R6	スポーツコンベンション誘致施設としての機能を強化するため、プロ野球春季キャンプ時の適切な冬芝の管理に必要な3連式芝刈機(1台)及び、プロ野球公式戦等の際の迅速なグラウンド整備に必要なグラウンドレーキ(1台)を購入する。	・プロ野球及び社会人・大学の県外チームの合宿受け入れ数:4団体 ・年間利用者数:240,000人	・プロ野球及び社会人・大学の県外チームの合宿受け入れ数:3団体 ・年間利用者数:221,031人	○
01 那覇市	1	26	那覇市スポーツコンベンション推進事業	R4 ～ R6	漫湖公園市民庭球場のフェンス取替工事及び観客席への日除け設置工事を行い、スポーツコンベンション誘致施設としての魅力・利便性の向上を図る。	フェンス取替及び観客席への日除け設置工事の実施	－	繰
01 那覇市	1	27	NAHAマラソン大会推進事業	R5 ～ R7	安全・安心かつ円滑な大会運営を図るとともに会場の環境整備を図り、NAHAマラソン大会を継続して実施できるように開催支援等を行う。	参加申込者数:24,000人	参加申込者数:23,968人	○

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号		事業名	計画期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
01 那覇市	2	1	市魚マグロ等水産物流通支援事業	H24 ～ R13	「那覇市の魚(市魚) マグロ」の消費促進を図るため、漁業組合等のイベントへ助成を行うとともに、民間企業及び組合等への業務委託をし、PR活動を実施する。	・市内世帯のマグロの年間購入数量の向上：前年比：18.27%増 ・学生等若者向けの水産教室等マグロPR事業の参加者：118人以上 ・マグロが市魚であることを知っている人の割合：80%以上	・市内世帯のマグロの年間購入数量の向上：前年比8.77%増 ・学生等若者向けの水産教室等マグロPR事業の参加者：172人 ・マグロが市魚であることを知っている人の割合：65.8%	○
01 那覇市	2	2	漁船近代化機械設置推進事業	H24 ～ R13	漁業者数の維持を図るため、漁船の近代化機械等の整備を支援する。	漁業者数 196名	漁業者数 247名	◎
01 那覇市	2	3	第4次那覇市水産業振興基本計画策定支援事業	R6 ～ R7	本市水産業振興の在り方について検討を行い、今後の水産業振興を定めた「第4次那覇市水産業振興基本計画」策定のための骨子案を作成する。	計画策定のための基礎調査及び基本計画の骨子案の作成完了	計画策定のための基礎調査及び基本計画の骨子案の作成完了	◎
01 那覇市	2	4	泊漁港将来像構想策定事業	R5 ～ R6	本市の水産業の中心地である泊漁港において、施設利用等の実態調査及び水産関係団体等のヒアリングをもとに、泊漁港の将来像構想を策定するための基礎調査を実施し、本市水産業の振興・発展に繋げることを目的とする。	泊漁港将来像構想の策定	泊漁港将来像構想の策定完了	◎
01 那覇市	2	5	那覇の海人キャリアモデルPR事業	R6 ～ R6	本市で行われている主な漁法や漁業者へのインタビュー、新規就業者への支援体制、漁業者のキャリアモデルの詳細等を取りまとめた冊子(又はパンフレット)を作成・配布し、就業フェア等で活用することにより後継者不足を解消し漁業者数の確保を図る。	市内3漁協、市内中学校(17校)、高校(12校)へ冊子を配布	市内3漁協、市内中学校(17校)、高校(12校)へ冊子を配布	◎
01 那覇市	3	1	中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業	H24 ～ R13	市内中小企業事業者が開発もしくは代理店等として取り扱いをしている商品やサービスの販路拡大を目的として、商談会等へ出展する際の経費の一部を補助する。また、海外販路開拓に向けてセミナーや個別支援等実践的な支援を行う。 加えて、かわさき市民まつり等へ出展する。	・商談成約率(商談成約件数/商談件数)：10%以上 ・物産展での売上目標を達成した事業者：3分の2以上 ・セミナー等参加者へのアンケート調査を実施し、「販路拡大に役立った」旨の回答割合：80%以上 ・個別相談支援事業者のうち、実際に販路拡大に取り組んだ割合：30%以上	・商談成約率(商談成約件数/商談件数)：4.5% ・物産展での売上目標を達成した事業者：0社 ・セミナー等参加者へのアンケート調査を実施し、「販路拡大に役立った」旨の回答割合：100% ・個別相談支援事業者のうち、実際に販路拡大に取り組んだ割合：60%	△

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号		事業名	計画期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
01 那覇市	3	2	なはし創業・就職サポートセンター運営事業	H24 ～ R13	ビジネスアイデアやプランを持つ市民への効率的かつ効果的な創業支援や若年者から高齢者までのニーズに合った就職支援を行うことにより、民間活力を高め、産業の新陳代謝を進めるとともに、雇用のミスマッチや企業の人手不足等の改善を進めることで、本市の持つ成長可能性を着実な経済発展につなげ、市民所得の向上を図ることを目的とする。	・創業者8人以上 ・利用者のうち、就職した人数の割合4.9%以上	・創業者19人 ・利用者のうち、就職した人数の割合3.23%	○
01 那覇市	3	3	頑張るマチグワー支援事業	H25 ～ R13	観光客及び地元客の誘客を図るため、商店街等が行う事業を支援する。	中心商店街の平日歩行者通行量:97,900人	中心商店街の平日歩行者通行量:100,361人	◎
01 那覇市	3	4	企業誘致活動サポート事業	H24 ～ R13	本市への県外企業の誘致を推進するため、企業誘致活動を実施する。	①誘致企業:3社 ②ビジネスマッチング参加企業:30社	①誘致企業:0社 ②ビジネスマッチング参加企業:34社	△
01 那覇市	3	5	市内企業経営基盤強化事業	H27 ～ R13	市内中小企業の経営基盤の強化を図るため、企業の実情に合った制度導入のための専門家派遣を行う。	専門家派遣による支援を受けた事業者に対するアンケート調査等を実施し、「経営基盤の強化に役立った」旨の回答割合80%以上	専門家派遣による支援を受けた事業者に対するアンケート調査等を実施し、「経営基盤の強化に役立った」旨の回答割合88%	◎
01 那覇市	3	6	なは産業支援センター育成支援事業	H28 ～ R13	情報通信産業をはじめ、国際物流産業、観光関連産業等(沖縄振興特別措置法や沖縄21世紀ビジョン基本計画に規定する戦略的成長産業分野)の振興発展と那覇市経済の活性化に寄与するため、なは産業支援センターに入居する企業及び市内関連企業等を対象として育成支援のための事業を実施する。	企業経営に役立った(80%以上)など、アンケート調査により、事業の成果や今後の支援内容を検討する。	企業経営に役立った:40%	未
01 那覇市	3	7	企業立地促進事業	H28 ～ R13	合理的かつ継続性のある事業計画を有し、那覇市内に新規立地または新規創業により事務所等を設置した事業者に対し賃料(建設)助成金を交付する。また、賃料(建設)助成を受けた事業者のうち、市民を新たに常時雇用したものに對し、雇用助成金を交付する。	・新規常用雇用者数:21名 ・新規企業立地社(申請者):3社	・新規常用雇用者数:1名 ・新規企業立地社(申請者):1社	未
01 那覇市	3	8	新商品開発支援事業	H29 ～ R13	那覇市の観光・地域資源等を活用した商品の販売や売上の促進を図るため、新たな特産品、土産品の企画・開発を支援する。	・商品開発に役立ったとするセミナー参加者の割合(R6年度):80%以上	・商品開発に役立ったとするセミナー参加者の割合(R6年度):80%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号		事業名	計画期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
01 那覇市	3	9	小中学生キャリア教育支援事業	R2 ～ R13	市内の小中学生を対象に、那覇市で活躍する中小企業の職業人の講話や企業見学・体験、学んだことを発信するキャリア教育支援事業や職業体験イベントを実施する。	・職業観や就業意識の上昇(80%以上)など、アンケート調査を通じて事業の成果や今後のあり方について検証する。 ・イベントの参加人数:800人以上	・職業観や就業意識の上昇:80%以上 ・イベントの参加人数:1,618人	◎
01 那覇市	3	10	那覇市IT人材育成支援事業	R3 ～ R13	次世代を担う市内の小中学生を対象にプログラミング講座及びプログラミングコンテスト(小学生対象)を開催し、情報技術に関する興味を抱き、論理的思考を身につけ、かつ日常生活が情報技術を活用した産業で支えられていることに気付くことで、将来のIT人材の育成やキャリア形成に役立てる。	知識習得度や情報技術への興味関心や就業意識の上昇(80%以上)を成果目標とする。	知識習得度や情報技術への興味関心や就業意識の上昇:92.3%	◎
01 那覇市	3	11	市内事業者事業刷新支援事業	R3 ～ R8	市域の事業者が事業活動を継続するため新たな分野への業態変化や、新事業への転換などにかかる経費の一部を補助する。	補助実績15事業者以上	補助実績:10事業者	未
01 那覇市	3	12	高度IT人材育成研修等補助事業	R4 ～ R13	市内の情報通信関連事業者が行う従業員の人材育成研修等に係る費用の一部を補助する。	年間売上高が向上した採択事業者:3社以上	年間売上高が向上した採択事業者:3社	◎
01 那覇市	3	13	なはし外国人雇用促進支援事業	R6 ～ R8	人手不足解消を図るため、外国人材雇用の活用促進を図り、新たな人材等の活用による域内企業、産業等の維持・成長発展、ひいては地域経済の活性化に資することを目的とする。	相談企業のうち、外国人材活用企業数:5社	相談企業のうち、外国人材活用企業数:1社	未
01 那覇市	3	14	那覇市リスキリング推進支援事業	R6 ～ R8	学び直しに取り組むことの機運醸成を図り、主に不足するデジタル人材育成のためのリスキリング講座を開催し、個人のスキル・能力の向上により域内企業、産業等の成長発展、ひいては地域経済の活性化に資することを目的とする。	受講生 15名	受講生 13名	○
01 那覇市	3	15	那覇市産業DX促進支援事業	R5 ～ R8	業界団体等を通じた伴走支援の実施するとともに、成果報告会等の開催を通じて市内事業者に対しても広く支援事例を周知する。	支援企業 4団体(8社)以上	支援企業 8社	◎
01 那覇市	3	16	那覇市進出可能産業調査事業	R5 ～ R6	那覇市軍港跡地を本市の産業振興のために有効活用することを目的に、跡地を含めた土地の産業利用に関する調査事業を行う。	実現可能性や経済効果の高い仮説の検討・検証 3つ	実現可能性や経済効果の高い仮説の検討・検証 3つ	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
01 那覇市	3 17	なはし社会地域課題解決型起業支援事業	R6 ～ R8	本市が抱える社会地域課題の解決を目的とした起業及び新規事業を行うものに対して、費用の一部を助成及び専門家等の派遣等を行い、スタートアップ企業等の創出及び成長の後押しをし、地域課題の解決及び市内産業・経済のさらなる活性化を図る。	課題解決に向けた取組事業数 5つ	課題解決に向けた取組事業数 4つ	○
01 那覇市	3 18	那覇MICE受入推進事業	R4 ～ R10	那覇市都市型MICE振興戦略に基づき、MICE受入体制整備、主催者等への支援に取り組む。	(1)那覇MICE開催歓迎メニュー :2メニュー構築 (2)ニーズ調査結果を踏まえ、求められるコンテンツを整理・分析し、今後磨き上げていくべきコンテンツの類型について2つ以上提示	(1)那覇MICE開催歓迎メニュー :2メニュー構築 (2)ニーズ調査結果を踏まえ、求められるコンテンツを整理・分析し、今後磨き上げていくべきコンテンツの類型について3つ提示	◎
01 那覇市	5 1	那覇市健康ウォーキング推進事業	H26 ～ R13	ウォーキングを通した市民の健康づくりの推進に向けて、健康ウォーキング大会やウォーキング講座等を開催する。	・健康ウォーキング大会 参加者 4,000人以上 満足度 90% (参加者アンケート) ・ウォーキング講座 受講後も継続して歩く割合 80%(受講者アンケート)	・健康ウォーキング大会 参加者 3,396人 満足度 96.5% (参加者アンケート) ・ウォーキング講座 受講後も継続して歩く割合:97%	○
01 那覇市	5 2	小中学校歯科保健予防事業	R4 ～ R13	学校歯科保健活動の活性化及び児童生徒の健康についての知識の醸成を図るために、小中学校において児童生徒の発達段階に応じたむし歯予防を推進するとともに、効果的なむし歯予防対策であるフッ化物洗口を実施する。	①実施校においてむし歯に罹患する児童生徒の割合が前年度に比較して減少する。 ②未実施校に対するアンケート ・令和7年度に実施を希望する学校 4校以上(小中学校53校中)	①実施校においてむし歯に罹患する児童生徒の割合が前年度に比較して減少 ②未実施校に対するアンケート ・令和7年度に実施を希望する学校 0校	△
01 那覇市	6 1	基礎学力向上のための学習支援事業	H24 ～ R13	学力向上と学校教育環境の充実を図るために、小中学校への学習支援員の配置及び申請のある小中学校への学習支援ボランティアの派遣を行う。中学校において採点システムを利用する。	①小学校算数(3年) (翌年度4月実施 新4年生対象) 沖縄県学力定着状況調査の正答率の県平均との差 +5.5ポイント ②中学校数学(1年) 沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差 +1.9ポイント	①小学校算数(3年) (翌年度4月実施 新4年生対象) 沖縄県学力定着状況調査の正答率の県平均との差 +5.4ポイント ②中学校数学(1年) 沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差 +4.6ポイント	◎
01 那覇市	6 2	英語指導員配置・国際交流事業	H24 ～ R13	市内の小中学校に英語指導員を配置して長期的な英語指導を行い、また、中学校においてオンラインによる国際交流を実施し、児童生徒の英語を使ったコミュニケーション能力の育成と、多様性や異文化を包摂する共生社会の理解を深める。	①英語に対する興味・関心が高まった児童生徒割合80%以上(アンケート実施) ②沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差 中学2年生 +2.8ポイント	①英語に対する興味・関心が高まった児童生徒割合 84.1% ②沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差 中学2年生 +2.6ポイント	○

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
01 那覇市	6 3	特別支援教育充実事業(小・中学校)	H24 ～ R13	特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、保健師及び特別支援コーディネーターの派遣や特別支援教育補助員の配置を行う。	・特別支援教育補助員の対応への満足度(80%以上) ・対象児童生徒の保護者へアンケート実施	・特別支援教育補助員の対応への満足度:83% ・対象児童生徒の保護者へアンケート実施	◎
01 那覇市	6 4	特別支援教育充実事業(認定こども園)	H24 ～ R13	特別な支援を要する園児に対応した支援等を行うことで、園児の園生活の困難の改善を図る。	特別支援教育ヘルパー対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる園児の保護者へのアンケート調査により、事業の成果を検証する。	特別支援教育ヘルパー対応への満足度:96.5%	◎
01 那覇市	6 5	不登校対策等支援事業	H24 ～ R13	不登校の改善を図るため、不登校など課題のある児童生徒に対応した支援(学習支援室、相談室、自立支援教室)を行う。	相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 小学校16.0% 中学校11.0%	相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 小学校19.7% 中学校9.0%	△
01 那覇市	6 6	教育相談支援員・生徒サポーター配置事業	H24 ～ R13	不登校の改善を図るため、学校内の相談室等において不登校傾向にある児童生徒の相談・支援等を行う。	相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 小学校16.0% 中学校11.0%	相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 小学校19.7% 中学校9.0%	△
01 那覇市	6 7	青少年旗頭事業	H24 ～ R13	児童生徒の居場所や出番、地域との絆を作るとともに、伝統文化の保存継承を図るため、那覇の伝統文化である旗頭を活用した文化活動を実施する。	「やる気・元気旗頭フェスタinなは」に参加した児童生徒に加え、参加した大人も含めた全参加者数:951人	「やる気・元気旗頭フェスタinなは」に参加した児童生徒に加え、参加した大人も含めた全参加者数:997人	◎
01 那覇市	6 8	街頭指導事業	H24 ～ R13	青少年の非行の未然防止と早期発見・早期対応のため、専任指導員(6人)及び青少年指導員を学校外に配置し、巡回指導等を行う。	19歳以下の青少年の深夜徘徊補導割合 1.0%	19歳以下の青少年の深夜徘徊補導割合 1.01%	◎
01 那覇市	6 9	児童生徒のスポーツ県外派遣補助金	H24 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで、児童生徒に広い視野を持たせる。	児童生徒が島内ではできない経験をする事ができたとの回答(80%以上)を含め、派遣された児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	児童生徒が島内ではできない経験をする事ができたとの回答:100%	◎
01 那覇市	6 10	児童・生徒の県外派遣旅費補助金(大会派遣)	H24 ～ R13	児童生徒の自立や意欲向上、能力の育成を図るために、児童生徒の積極的な参加を奨励し県外大会への派遣旅費を補助する。	児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたとの回答(90%以上)派遣後に保護者へのアンケート実施	児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたとの回答:99.6%	◎
01 那覇市	6 11	自然教室実施事業	H24 ～ R13	児童の社会性を育み豊かな人材の育成を図るために、市立の小学校5年生を対象に、沖縄独自の自然の中で様々な体験活動を実施する。	自然教室を通して、児童の社会性(協力的な姿勢)が向上したと評価する学校の割合 89%以上	自然教室を通して、児童の社会性(協力的な姿勢)が向上したと評価する学校の割合 97%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
01 那覇市	6 12	学校施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化)	H24 ～ R8	小中学校校舎等の塩害を防止し長寿命化を図るため、校舎等外壁面の塗装工事を行う。	学校長及び教育委員会による点検を実施する。 ・外壁等の剥離件数:0件 ・外壁の亀裂等件数:0件	学校長及び教育委員会による点検を実施する。 ・外壁等の剥離件数:0件 ・外壁の亀裂等件数:0件	◎
01 那覇市	6 13	発達支援強化事業(乳幼児期)	H27 ～ R8	乳幼児の健やかな発達を保証し、就学後の学校生活での不適応行動を少なくするために、発達の気になる乳幼児及び子どもとのかかわり方に不安を抱く保護者等を早期に把握し支援を行う。	①アンケートにおける、親子教室後の保護者等の満足度80%以上。 ②乳幼児健診や育児教室等における支援を必要とする児及び保護者の早期把握の数(健診会場保育観察から地区保健師につながった人数:年間70人以上)	①アンケートにおける、親子教室後の保護者等の満足度 84% ②乳幼児健診や育児教室等における支援を必要とする児及び保護者の早期把握の数(健診会場保育観察から地区保健師につながった人数:年間155)	◎
01 那覇市	6 14	認可外保育施設的环境整備事業	H24 ～ R13	認可外保育施設の衛生環境の向上を図ることを目的とし、保育室や調理室等必要箇所に衛生消毒及び害虫駆除等を実施するため専門業者へ委託を行う。	認可外保育施設全施設において衛生消毒及び害虫駆除を実施	衛生消毒及び防虫駆除実施施設 89.28%	○
01 那覇市	6 15	夜間認可外保育施設安全対策事業	R5 ～ R13	夜間認可外保育施設における児童の安全対策及び保育の質の向上を目的に、児童の睡眠中の事故防止対策を実施するため夜間に保育士を配置した施設に対し、その雇用に要する費用の一部を補助する。	夜間保育時間中の保育士配置施設:2園	夜間保育時間中の保育士配置施設:1園	△
01 那覇市	6 16	保育士負担軽減等加配事業	R4 ～ R9	保育士の離職防止及び雇用環境の改善を図ることにより保育士を確保し、待機児童を解消することを目的として、待機児童の多い1歳クラスについて、国の配置基準を超えて配置とするために必要な常勤保育士1人分の人件費を施設へ補助する。	那覇市内私立認可保育施設等の平均離職率:12.2%	那覇市内私立認可保育施設等の平均離職率:14.5%	未
01 那覇市	6 17	学校ICT支援員配置事業	R4 ～ R8	小中学校にICT支援員を派遣し、教員がICT機器を授業等で活用できるようサポートを行い、教員のICT活用指導力の向上を図る。	(1)アンケートを実施し、教員満足度を75%以上とする (2)各種業務履行上の改善提案件数を月に1件以上とする	(1)教員満足度 93.5% (2)各種業務履行上の改善提案件数 1.03件/月	◎
01 那覇市	6 18	共生・多様性社会実現事業	R4 ～ R10	生涯学習施設や福祉施設等を機能集約し、多様な市民が施設の利用を通してつながることで、失われている地域のつながりを復活・再生させ、多様で複雑な課題に地域で対応できる社会を形成する。	・基本設計の完了	・基本設計の完了	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
01 那覇市	6 19	こどもの学習意欲を高めるためのICT環境整備事業	R5 ～ R7	市立小学校の普通教室に液晶型電子黒板などのICT機器及び教育用ソフトを整備し、児童の情報端末との連携を強化する等わかりやすい授業を展開することで、主体的かつ協働的な教育活動を展開し、学習意欲の向上を図り、学力向上につなげていく。	ICT機器及び教育用ソフトを活用した授業の効果について ・学習意欲が高まったとする児童の割合:85%以上 ・児童の学習の理解(知識・技能)が高まったとする教員の割合:85%以上	(アンケート未実施)	未
01 那覇市	6 20	社会教育施設避難所施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化)	R6 ～ R6	台風などの災害や集中豪雨、不発弾処理等非常時の指定避難施設である公民館や図書館施設の整備を行う。	改修工事の完了	改修工事の完了	◎
01 那覇市	7 1	なは青年祭補助事業	H29 ～ R13	地域における伝統芸能の保存継承や新たな文化活動の創出を図るため、青年団体等が日頃の活動の成果を披露する「なは青年祭」の開催を支援する。	「なは青年祭」への参加数 ・演舞団体数:19団体 ・演舞者数:242人	「なは青年祭」への参加数 ・演舞団体数:10団体 ・演舞者数:180人	未
01 那覇市	7 2	壺屋焼物博物館機能強化事業	R6 ～ R8	壺屋焼物の貴重な文化財の保存環境の維持・向上を図るため、社会教育及び文化観光施設である壺屋焼物博物館のエレベーターのバリアフリー機能を強化する。	・エレベーターのバリアフリー機能強化工事の完了 ・老人福祉センター他(7施設)での周知	・エレベーターのバリアフリー機能強化工事の完了 ・老人福祉センター他(7施設)での周知	◎
01 那覇市	7 3	市民文化支援事業	H24 ～ R13	那覇市の市指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能団体の活動を支援することで、民俗芸能の保存継承を図ることを目的とする。	市民文化支援事業の対象となる、市内の民俗芸能団体12団体の保存継承	市民文化支援事業の対象となる、市内の民俗芸能団体12団体の保存継承	◎
01 那覇市	7 4	子どもが輝くまちづくり事業	H24 ～ R13	子どもたちの文化芸術に対する興味や豊かな感性等を育むため、子どもたちの活動発表の場である「子どもフェスタinなは」の開催を支援する。	「子どもフェスタinなは」に参加した児童生徒数:730人	「子どもフェスタinなは」に参加した児童生徒数:440人	未
01 那覇市	7 5	文化芸術ふれあい事業	H24 ～ R13	那覇市の歴史や文化を再認識し、文化資産として普及・継承・発展させていくを図るため、本市の指定無形民俗文化財等の地域に根付いた民俗芸能を一堂に披露する「地域文化芸能公演」を開催する。	地域文化芸能公演への来場者 1,070名以上	地域文化芸能公演への来場者 1,198名	◎
01 那覇市	7 6	尚家文書公開・刊行事業	R5 ～ R13	国宝であり、沖縄・那覇において形成された独自の文化の記録として第一級の資料である尚家文書の内容を一般に公開することにより、沖縄の伝統文化の保全・継承を図る。	中城御殿について記された3点中1点の翻刻および一般への公開	中城御殿について記された3点中1点の翻刻および一般への公開	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
01 那覇市	7 7	バレット市民劇場施設機能強化事業	R6 ～ R7	質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化芸術活動を行う場となるバレット市民劇場について、照明のLED化による施設の省エネ化を図りつつ、多目的トイレ整備等のバリアフリー化や音響システム等の機能強化(音圧の向上等)を行うことで、多様な担い手が活躍できる新たな文化芸術の創造の場を創出する。	実施設計業務の完了	実施設計業務の完了	◎
01 那覇市	7 8	デジタルアーカイブ機能強化事業	R6 ～ R6	那覇市歴史博物館所蔵の貴重な歴史資料をデジタルアーカイブ化し、資料の劣化を防ぐとともに、学校等の地域学習、市民や研究者等の歴史研究を促進する。	・歴史資料のデジタルアーカイブの構築完了 ・デジタルアーカイブのインターネット上での公開実施	・歴史資料のデジタルアーカイブの構築完了 ・デジタルアーカイブのインターネット上での公開実施	◎
01 那覇市	7 9	うちなーぐち普及継承事業	R6 ～ R13	うちなーぐちの保存・普及・継承を目的に市民参加型の講座を実施し、うちなーぐちの魅力と価値を再認識することで、普及啓発と市民文化活動の活性化を図る。	受講者数(全体):40名 受講者数(うち30代までの世代):10名	受講者数(全体):32名 受講者数(うち30代までの世代):12名	○
01 那覇市	8 1	ボランティア振興事業	H27 ～ R13	ボランティア活動を促すため、ボランティアを養成するとともに、ボランティア活動のコーディネート等を行う。	①ボランティア登録者数(新規)300人 ②ボランティアのマッチング件数300件	①ボランティア登録者数(新規)281人 ②ボランティアのマッチング件数249件	○
01 那覇市	8 2	ふれあいのまちづくり事業	H27 ～ R13	生活課題を抱える、障がい者や高齢者、生活困窮者等からの相談を受け、課題の解決を資するため、総合相談窓口を設置する。	対象となる相談者等へのアンケートで、相談したことにより課題の解決に役立ったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検討する。	対象となる相談者等へのアンケートで、相談したことにより課題の解決に役立ったか:94%	◎
01 那覇市	8 3	放課後まなび支援事業	R4 ～ R13	市内の低所得世帯の小学校4～6年生及び中学校1～3年生の児童生徒が放課後に学習できる環境を整え確保することで、学習習慣が身につくとともに、勉強へのモチベーションを高め、ひいては児童生徒の学力向上につなげる。	支援を受けた児童生徒へアンケート調査を実施し、児童の学力の向上50%以上、学習意欲の向上40%以上を目指す。	支援を受けた児童生徒へアンケート調査を実施し、児童の学力の向上77%、学習意欲の向上68.5%	◎
01 那覇市	9 1	海外移住那覇市出身者研修受入事業	H24 ～ R13	那覇市と関連が深い国や地域等を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、各種研修を通して沖縄伝統芸能・文化、歴史等を学ぶ機会を提供する。	受け入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含めアンケートにより本事業のあり方を検証する。	受け入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか:100%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号		事業名	計画期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
01 那覇市	9	2	那覇長崎平和交流事業	H25 ～ R13	平和について理解を深めるため、長崎市にて開催される「青少年ピースフォーラム」に生徒を派遣する等の事業を行う。	参加生徒の平和等に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、対象生徒及び保護者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	参加生徒の平和等に対する理解が深まったか:100%以上	◎
01 那覇市	9	3	沖縄戦体験者証言記録映像制作事業	R4 ～ R7	戦争体験者の高齢化も進むなか、戦禍の記憶を風化させることなく、沖縄戦の実相や平和の尊さを次の世代へ継承していくことを目的に、沖縄戦体験者の証言を記録し、保存する。	体験者(2名)映像制作の完了	体験者(2名)映像制作の完了	◎
01 那覇市	9	4	まーいまいNaha人材育成外国語講座事業	R6 ～ R13	外国人観光客の満足度向上に向け、「うとういむち(おもてなし)」の出来る観光関連産業従事者を育成するとともに、市民が外国人観光客に気軽に対応できる風土の醸成及び異文化理解を図るため、英語・中国語・韓国語によるうとういむち講座及び交流会を実施する。	「習得した語学を外国人との交流や仕事での接客に活用できるレベルになった」と回答した受講生の割合 80%以上	「習得した語学を外国人との交流や仕事での接客に活用できるレベルになった」と回答した受講生の割合 47.36%	未
01 那覇市	11	1	救命講座普及啓発推進事業	H24 ～ R9	災害時等において市民及び観光客等の安全の確保を図るため、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。	①応急手当講習受講者数:6000人以上 ②救命講習会の受講者へアンケートを実施し、「応急手当に自信がある、できると思う」が80%以上 アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	①応急手当講習受講者数:3,330人 ②応急手当に自信がある、できると思う:99%	○
01 那覇市	11	2	保安灯LED化推進事業	R4 ～ R13	二酸化炭素排出量を削減するため、既存保安灯を消費電力の少ないLED照明へ切り替える設置者(自治会等)に対して補助金を交付する。	二酸化炭素排出量の削減 27,687kg-CO2以上/年 削減	二酸化炭素排出量の削減 24,353kg-CO2/年 削減	○
01 那覇市	11	3	災害備蓄品整備事業	R5 ～ R7	大規模災害時における観光客の安全確保を図るため、災害備蓄品を整備し、防災体制の強化を推進する。	【目標到達率(備蓄率)】 食糧品:97% 資機材:96%	【目標到達率(備蓄率)】 食糧品:97% 資機材:96%	◎
01 那覇市	11	4	なは市民協働プラザ省エネ化推進事業	R5 ～ R6	なは市民協働プラザ(市民活動支援施設)の照明器具を二酸化炭素排出削減に効果のある省エネ型LED照明に切り替える。	・照明器具(蛍光灯)のLED照明化切り替え工事の完了	・照明器具(蛍光灯)のLED照明化切り替え工事の完了	◎
01 那覇市	11	5	那覇市老人福祉センター等省エネ化推進事業	R6 ～ R6	那覇市識名老人福祉センター、那覇市辻老人憩の家及び那覇市安謝老人憩の家の照明器具をLED照明に切り替える。	照明器具のLED化に係る設計・アスベスト調査・工事の完了	照明器具のLED化に係る設計・アスベスト調査・工事の完了	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号		事業名	計画期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
01 那覇市	11	6	石嶺公民館・図書館他3館省エネ化推進事業	R6 ～ R7	既存照明設備をLED照明設備へ交換することにより、消費電力の削減による二酸化炭素排出量削減で自然環境保護を図る。	LED照明設備整備のための設計業務完了	LED照明設備整備のための設計業務完了	◎
01 那覇市	11	7	那覇市総合福祉センター省エネ化推進事業	R6 ～ R7	那覇市総合福祉センターの照明器具を環境負荷の少ないLED照明に切り替える	照明設備設計業務の完了	照明設備設計業務の完了	◎
01 那覇市	11	8	那覇市コンビニAEDステーション設置事業	R6 ～ R8	外国人観光客が増加しているなか、市内に多数所在するコンビニエンスストアに設置されたAEDは多言語対応がなされていない。そのため、これらのAEDを多言語化することにより、重篤な傷病者が発生した場合に、誰でも迅速な救命活動を行える環境を構築し、安全安心に過ごせる観光地を形成する。	・AED持ち出し率:5%以上	・AED持ち出し率:5.5%	◎
01 那覇市	11	9	小禄南公民館・図書館省エネ化推進事業	R6 ～ R7	既存照明設備をLED照明設備へ交換することにより、消費電力の削減による二酸化炭素排出量削減で自然環境保護を図る。	LED照明設備整備のための設計業務完了	LED照明設備整備のための設計業務完了	◎
02 宜野湾市	1	①	宜野湾市西海岸エリア活性化事業	H24 ～ R13	沖縄西海岸地域の中心に位置するアクセス性の高い立地を生かして、各種イベントを開催し、観光産業の振興を図る。	はごろも祭り…10万人 産業まつり…2.8万人 琉球海炎祭…1.25万人	はごろも祭り…5.5万人 産業まつり…4.5万人 琉球海炎祭…1.8万人	○
02 宜野湾市	1	②	企画展開催事業	H24 ～ R13	市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、普天間飛行場をとりまく歴史を中心に企画展を開催する。	企画展1回あたりの平均入館者数:1,390人以上	企画展1回あたりの平均入館者数:1,848人	◎
02 宜野湾市	1	③	横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティ事業	H25 ～ R13	プロ野球のキャンプは、暖かい沖縄を全国にアピールする絶好の機会であり、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である宜野湾海浜公園を南国沖縄の花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信する。	キャンプ会場の装飾に対する来場者の満足度:80%	満足度:71%	○
02 宜野湾市	1	④	宜野湾海浜公園施設等再編整備事業	H30 ～ R10	海浜という立地を活かした公園としての魅力の向上及び誘客の促進を図るため、文化スポーツ施設を中心に宜野湾海浜公園及びその周辺施設の整備を実施する。	再編整備工事(サブエントランス・照明灯整備)の実施	—	繰

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	1 ⑤	ぎのわん美ら海クリーン活動支援事業	R3 ～ R13	宜野湾市の海は本島周辺地域でも有数のサンゴ礁が広がるきれいな海である。しかしその認知度が低いことから、サンゴの植樹、海の清掃活動を通じ広報活動を行う、ぎのわんマリン協会を支援することで、観光資源を保全しながら本市の新たな観光コンテンツの開発することを目的とする。	ダイビング客:800人/年	ダイビング客:487人/年	未
02 宜野湾市	2 ①	スクールソーシャルワーカー活用事業	H24 ～ R13	スクールソーシャルワーカー(SSW)を配置し、学校及び関係機関と連携しながら不登校や問題行動の未然防止、早期対応、改善に取り組む。	不登校や課題の改善に向けて変容が見られた割合、前年度実績(36%)以上	不登校や課題の改善に向けて変容が見られた割合:42%	◎
02 宜野湾市	2 ②	適応指導教室事業	H24 ～ R13	不登校児童生徒の学校適応を促進するため、児童生徒の居場所づくりとして、宿泊・自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施する。	入級児童生徒が適応指導教室または原籍校へ登校できた日数:出席すべき日数の65%	入級児童生徒が適応指導教室または原籍校へ登校できた日数:出席すべき日数の85%	◎
02 宜野湾市	2 ③	児童生徒等相談事業	H24 ～ R13	臨床心理士、青少年教育相談指導員を配置し、相談等支援をとおり、不登校等の課題の改善に取り組む。	学校生活への適応や状況改善に向けて変容が見られた割合前年度実績(31%)以上	学校生活への適応や状況改善に向けて変容が見られた割合:41%	◎
02 宜野湾市	2 ④	非行防止等巡回活動事業	H24 ～ R13	街頭指導員を配置し、夜間街頭指導等を実施し青少年の健全育成に寄与するため関係機関や地域と連携しながら青少年の問題行動の未然防止、早期発見に取り組む。	年間の街頭指導実績件数が、前年度実績の12%減	年間の街頭指導実績件数'対前年比:43%増	未
02 宜野湾市	2 ⑤	学習支援員活用事業	H24 ～ R13	児童生徒の学習状況や定着状況に応じて学習支援をすることにより、児童が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解するため、授業内容をきめ細かくサポートする学習支援員を配置し、個々の学力に応じた学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	・県学力到達度調査(2月実施)の正答率 小学校算数: +2.0ポイント以上 中学校数学: -6ポイント以上 ・県学力定着状況調査(6月)、県学力到達度調査(2月)の正答率30%未満の児童生徒の割合(県平均差)の差について、小中学校ともに県平均との差を-1ポイント減少	・県学力到達度調査正答率 (小学校)算数: +2.3ポイント (中学校)数学: -2.0ポイント ・正答率30%未満の子の割合(県との差)の差 小学校: -5.5 中学校: +1.0	○
02 宜野湾市	2 ⑥	派遣費補助金交付事業	H24 ～ R13	児童生徒が部活動等で県外の大会へ派遣される際の航空運賃に対し、補助金を交付する。	アンケート調査において、対象児童生徒の視野が広がったとの回答【80%】	視野が広がったと回答した割合:98%	◎
02 宜野湾市	2 ⑦	スポーツ少年団等派遣費補助事業	H25 ～ R13	スポーツ活動による児童・生徒の健全育成及び県外の人との交流の機会を増やすため、スポーツ少年団に加盟している団体等へ県外派遣を支援する。	アンケート調査において、「対象児童生徒の視野が広がった」の回答:80%以上	対象児童生徒の視野が広がったと回答した割合:100%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号		事業名	計画期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	2	⑧	特別支援教育支援員派遣事業	H28 ～ R13	宜野湾市立の幼小中学校における特別な配慮を要する幼児・児童・生徒の支援者として特別支援教育支援員を派遣し、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	学校、保護者の満足度:95%以上	満足度:94%	○
02 宜野湾市	3	①	文化財保存整備事業	H24 ～ R13	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるように、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行う。	野嵩スディバナビラ石畳道の整備の実施設計・用地測量の完了	野嵩スディバナビラ石畳道の整備の実施設計・用地測量の完了	◎
02 宜野湾市	3	②	歴史公文書等整理・活用事業	H24 ～ R13	市立博物館が所蔵する写真類を整理し、活用を図る。写真類は公開に向けたデジタル化を進め、同時に市民や利用者が活用し易いように、データベースを作成し、個人情報に配慮して順次公開を行う。また、これまで整理・保存を行ってきた歴史公文書については、公開・活用を中心とした事業を進める。	アンケートを実施し、市の歴史や文化への理解が深まった方の割合が80%以上	市の歴史や文化への理解が深まった方の割合:100%	◎
02 宜野湾市	4	①	平和市民啓発事業	H24 ～ R13	戦争の悲惨さ、平和の大切さ及び命の尊さを次代へ継承する人材を育成するとともに、市民啓発により平和を希求する心を発信する。	本事業に参加した生徒や市民からアンケートを徴取し、 (1)「平和に対する理解が深まった」 (2)「この事業で学んだことを誰かに伝えたいと思う」と回答する割合:80%以上	(1)「平和に対する理解が深まった」と回答した割合:95.4% (2)この事業で学んだことを誰かに伝えたいと思うと回答した割合:87.2%	◎
02 宜野湾市	4	②	英語教育推進事業	R4 ～ R13	小中一貫した英語教育を行い、児童生徒に、国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、ALTを小学校へ2名、中学校へ1名ずつ派遣する。	・ALT配置等による「英語が好き」な児童(小学校5・6年生)の割合85%、生徒(中学3年生)の割合60% ・児童英検の正答率(小学5年生)90%以上 児童英検の正答率(小学6年生)85%以上 ・6月実施県学力定着度調査の県平均との正答率の差+1ポイント(中学校3年生)	・小学5・6年の割合:81.0% 中学3年の割合:77.9% ・児童英検正答率 (小5)87.8% (小6)82.4% ・県学力定着度調査の県平均との正答率の差:-0.4ポイント	○
02 宜野湾市	4	③	学校ICT活用指導支援事業	H24 ～ R13	児童生徒の情報活用能力を育成するため、学校ICT業務担当員3名を配置し、ICTを活用する授業の支援、教職員向けの校内研修の実施、ICT機器の障害対応を行う。	①教員にアンケート調査を実施し、授業にICTを活用して指導できる割合:80%以上 ②児童生徒にアンケート調査を実施し、ICT機器活用により授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上	①授業にICTを活用して指導できる割合 小学校:100%、中学校:98.7% ②ICT機器活用により授業が分かりやすかったと答えた割合: 小学校:94.0%、中学校:87.2%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	4 ④	中学生語学研修派遣事業	H31 ～ R13	語学施設等でさまざまなシチュエーションを想定した語学研修の機会を与え、異文化理解と実践的コミュニケーション能力の向上をめざし、国際性と国際的視野の育成に資する。 また、国の外交の中枢となる官公庁施設を見学することで、国際外交の重要性に対する見聞を深める。	語学研修生による本事業への満足度アンケート： 満足割合 96%以上	満足度：92%	○
02 宜野湾市	4 ⑤	ICT機器活用推進事業	R1 ～ R6	児童生徒の情報活用能力の育成環境を整備するため、小中学校にICT機器等を整備する。	①教員にアンケート調査を実施し、授業に電子黒板を活用して指導できる割合：80%以上 ②児童生徒にアンケート調査を実施し、電子黒板の活用により、授業が分かりやすかったと答えた割合：80%以上	①授業に電子黒板を活用して指導できる割合：87.5% ②電子黒板の活用により、授業が分かりやすかったと答えた割合： 小学校：94.4%、中学校：96.0%	◎
02 宜野湾市	5	市民防災事業	H27 ～ R13	沖縄県は、島しょ県であるとともに、台風等の自然災害を被りやすい地域であるため、平常時から災害に対する備えを万全にする必要がある。本事業では、宜野湾市地域防災計画に基づき食糧、飲料水の備蓄を行い災害に強いまちづくりを推進する。	・保存食及び保存水等の備蓄率 備蓄食糧(主食/レトルト) 51%、備蓄食糧(主食/おかゆ) 8%、備蓄食糧(副食) 22%、保存水 23%、液体ミルク 28%、アレルギー対応ミルク 100%、経口補水液 88%、哺乳ボトル 19%、災害備蓄用おむつ(子ども用) 17%、災害備蓄用おむつ(大人用) 18%、災害備蓄用生理用品 18%、毛布 20%、簡易トイレ消耗品 21%、災害備蓄用トイレトイレットペーパー 8% ・宜野湾市防災訓練において訓練参加者に対するアンケートの結果「備蓄の重要性を感じた。」：「80%以上」	・保存水16.2%、毛布19.9% 上記以外の備蓄については、目標値どおり達成 ・備蓄の重要性を感じた割合：99.4%	○
02 宜野湾市	6 ①	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査)	H24 ～ R13	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「NBミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を支援し、合意形成についての取り組みを行う。	市民向けの意向醸成イベント等 ①参加者数：230人 地権者向けの意見交換会等 ②参加者：80人	市民向けの意向醸成イベント等の参加者230人 地権者向けの意見交換会等の参加者80人	◎
02 宜野湾市	6 ②	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(共同調査)	H24 ～ R13	宜野湾市と沖縄県が平成19年5月に策定した「行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と、市民・県民・地権者等に対して情報発信を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させる。	跡地利用の実現に向けた取組の具体化」の作成に向けた検討調査を行い調査内容報告書の作成	跡地利用の実現に向けた取組の具体化」の作成に向けた検討調査を行い調査内容報告書の作成	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「―」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	7	地域キャリア教育支援事業	H30 ～ R13	地域の企業、学校、保護者等が連携した連携協議会を開催、子どもたちが抱える課題の共有、解決策の検討をし、市内小中学校でキャリア教育プログラムを実施することで、児童生徒の就業意識の向上を図る。	就業意識の肯定的変化(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方について検証を行う。	就業意識の肯定的変化の割合 小学校:98.1% 中学校:97.3%	◎
02 宜野湾市	8	市民会館機能強化事業	H30 ～ R6	建設から40年が経過し施設の老朽化が進んでいる現在の設備等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図り、文化芸術公演に触れる機会や文化活動を行う場の確保を図るため、宜野湾市民会館の整備を実施する。	・【改修工事完了】 改修工事監理業務委託 改修工事(機械設備・電気設備) ・市民会館開館	・工事完了 ・開館	◎
02 宜野湾市	9	宜野湾市基地返還跡地転用推進基金事業	H24 ～ R13	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、基金を造成し、土地の先行取得に取り組む。	●普天間飛行場 特定事業の用に供する土地取得目標 20,000㎡ ※先行取得目標面積 195,400㎡ ●インダストリアル・コリドー地区 特定事業の用に供する土地取得目標 3,000㎡ ※先行取得目標面積 25,000㎡	普天間飛行場 24,737㎡ インダストリアル・コリドー 7,157㎡	◎
03 石垣市	1 ①	観光地受入基盤強化事業	H24 ～ R13	観光客の満足度向上並びに誘致拡大、利便性確保を図るため、観光スポット等における受け入れ態勢の構築、観光案内サービスの実施、観光誘客イベントへの支援を行う。	・クルーズ船での来訪客数:270,437人以上 ・南の島の星まつりへの来場者数:6,750人以上 ・とぅばらーま大会への来場者数:2,250人以上 ・音楽創造都市石垣推進市民協議会イベントへの来場者数:225人以上 ・空港での観光案内によって利便性が確保されたか:80%以上	・272,032人 ・3,590人 ・700人 ・100人 ・100%	△
03 石垣市	1 ②	スポーツ!ウェルカム!石垣島!事業	H24 ～ R13	本市で各種スポーツ合宿が開催されることによって島外から競技関係者及び観客等の誘客を図るため、プロスポーツキャンプ等の誘致及び受入環境の整備を行う。	・プロスポーツキャンプ及びスポーツクラブのキャンプ実施団体数:20団体以上 ・プロ野球キャンプ期間中を通してキャンプ会場に会場した観客数:20,000人以上	・20団体 ・15,450人以上	○
03 石垣市	2 ①	石垣市中央運動公園リニューアル事業	H27 ～ R6	スポーツを通した観光誘客を含め、中央運動公園の活用促進を図るため、中央運動公園の再整備を行う。	・石垣市中央運動公園駐車場、園路、広場等再整備基本設計:完了	・完了	◎
03 石垣市	2 ②	クルーズターミナル整備事業	R4 ～ R6	クルーズ船の寄港増加を図るため、出入国に関する手続きに必要なクルーズターミナルの整備を行う。	・クルーズターミナル整備工事(本体工事)の完了	―	繰

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
03 石垣市	3 ①	離島保育士確保総合対策事業	H28 ～ R13	待機児童0の維持に必要な保育士の確保を図るため、島外からの保育士誘致や島内在住者の保育士資格取得支援等を行う。	・待機児童数:0名	・0名	◎
03 石垣市	3 ②	ひとり親家庭生活支援事業	H30 ～ R13	ひとり親世帯の生活状況の改善を図るため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親世帯に対し、各家庭の状況に応じた支援を組み合わせる実施する。	・支援開始1年後の自立した世帯の割合:75%以上	・67%	○
03 石垣市	3 ③	ものづくり、マーケティング総合支援事業	H24 ～ R13	石垣産の牛肉などの海外輸出、販路開拓を図るため、石垣空港からの海外輸出体制の構築、国内外でのPR販促活動を行う。	・石垣空港保税蔵置場を活用した農林水産物の輸出件数:1件以上 ・地産地消イベント開催:来場者数1,000人	・1件 ・2500人	◎
03 石垣市	4 ①	”石垣産の牛”生産推進事業	H24 ～ R13	肉用牛の生産拡大を図るため、素牛及び肥育牛の増産及び売上増加に向けた支援並びに家畜伝染病対策を行う。	・素牛の年間出荷頭数:6,926頭以上 ・素牛の平均販売額:500千円以上/頭 ・肥育牛の年間出荷頭数:795頭以上 ・肥育牛の年間売上高:950百万円以上 ・伝染病等にかかった頭数:0頭	・6,569頭 ・452千円 ・933頭 ・1,129百万円 ・0頭	○
03 石垣市	4 ②	水産振興事業	H24 ～ R13	養殖業の生産量の増加を促進するため、養殖用の種苗を沖縄本島の本部にある栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。 また、鮪漁等の水揚げ量の維持を図るため、漁船用冷凍餌を沖縄本島から石垣島まで輸送する費用の補助を行う。	・養殖魚類種苗の輸送費支援:完了 ・鮪漁等の水揚げ量:610t	・完了 ・567t	○
03 石垣市	5 ②	平和推進事業	H24 ～ R13	児童生徒を含め市民が平和の大切さに対する理解を深めるため、平和について学ぶ機会をつくる。	・平和に対する理解が深まったか:80%以上 ・慰霊祭及び平和フォーラム等への参加者並びに絵画・作文コンクールへの応募者数:延べ740名以上	・82% ・797人	◎
03 石垣市	5 ③	石垣市発達支援システム事業	H28 ～ R13	発達の気になる子を早期に発見し、早期の支援につなげるため、乳幼児期から就労までライフステージに応じた、心理専門職による発達相談等を実施する。	・乳幼児健診(1歳6か月児・3歳児)等において発達要フォロー児と判断された乳幼児について、1年以内に保護者が個別相談等の支援を受けた割合:15%以上 ・心理専門職等への相談により育児・発達等に対する不安が軽減されたか:80%以上	・43% ・100%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
03 石垣市	5	④ 児童生徒の自律支援事業	H25 ～ R13	自己肯定感の向上や自律的学習習慣の定着を図るため、子ども自律サポーターを配置する。	・自分にはよいところがあると思う(自己肯定感)との回答割合:児童36%以上、生徒30%以上 ・課題の解決に向けて自ら考え、自ら取り組んでいるとの回答割合:児童30%以上、生徒30%以上 ・家庭で計画を立てて勉強しているとの回答割合:児童35%以上、生徒20%以上	・児童42.1%、生徒32.5% ・児童35.0%、生徒23.2% ・児童31.8%、生徒14.1%	○
03 石垣市	5	⑤ 外国語学習支援事業	H24 ～ R13	英語に対する興味・関心の向上を図るため、外国語学習支援員を派遣する。	・英語への興味・関心があると回答をした児童生徒の割合:80%以上	・58%	○
03 石垣市	5	⑥ 情報教育充実事業	H24 ～ R13	ICT機器を使用し、分かりやすい授業を実施するため、学校ICT支援員を配置し、ICT活用推進を支援するとともに、デジタル教材の整備等を行う。	・ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか:80%以上	・92%	◎
03 石垣市	5	⑦ 専門人材育成事業	H28 ～ R13	島内から多くの教員採用試験合格者を輩出し、教育を担う人材の育成を図るため、教員採用試験対策講座を実施する。	・小学校での教員採用試験合格者数:6人 ・中学校での教員採用試験合格者数:6人 ・受講することで有効な試験対策ができたか:80%以上	・4人 ・2人 :100%	△
03 石垣市	5	⑧ 姉妹都市カウアイ郡中学生派遣事業	H27 ～ R13	国際交流を通して児童生徒の視野を広げるため、姉妹都市ハワイ州カウアイ郡へ市内の中学生を派遣する。	・国際交流を通して生徒の国際的な視野が広がったか:80%以上 ・市内の生徒が、報告書を見て英語や外国に以前より興味を持ったか:80%以上	・100% ・78%	○
03 石垣市	5	⑨ 石垣市小学生・中学生教育交流事業	H28 ～ R8	異文化に触れることで児童生徒の視野を広げるため、台湾蘇澳鎮の小学生中学生と相互教育交流を実施する。	・異文化に触れることで交流した児童生徒の視野が広がったか:80%以上	・85%	◎
03 石垣市	5	⑩ 不登校対策等支援員配置事業	H30 ～ R13	児童生徒の不登校未然防止及び不登校児童生徒の復学を図るため、市内の小・中学校にスクールライフサポーターを配置し、児童生徒の学校生活支援や不登校の児童生徒の復学支援を行う。	・不登校率の減少:0.3%以上	・0.15%	未
03 石垣市	5	⑪ 子ども若者総合相談支援事業	H31 ～ R13	社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども若者の困難の解消を図るため、子ども若者相談窓口を設置、ユースアドバイザーを配置し、相談受付及び支援を実施する。	・本事業で支援を受けた者の数:50名以上 ・支援を受けた者のうち、本事業の支援によって支援を要しない状態となった者の割合:50%以上	・103名 ・43%	○

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
03 石垣市	5	⑫ 石垣市省エネ推進事業	R5 ～ R6	低炭素島しょ社会の構築、環境負荷の軽減のため、公共施設におけるLED照明への切り替えのほか、省エネ化推進の取組を実施する。	・館内照明のLED化:824か所	・791か所	○
03 石垣市	5	⑬ 八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業	H24 ～ R9	歴史の継承および観光資源として活用し、誘客を図ることを目的として、博物館所蔵資料の修復、デジタル化、文字おこしを行い、活用するとともに、研究に供する。	・所蔵資料の修復及び修復済資料のデジタル化:32点	・32点	◎
04 浦添市	1	ひとり親世帯等放課後児童クラブ費支援事業	R4 ～ R12	放課後児童クラブがひとり親世帯等の利用者に対して利用料を減免した場合に要した費用の一部を補助する。沖縄県の利用料減免事業の市負担分(1/4)を市の一括交付金にて賄う。□	ひとり親家庭への放課後児童クラブ費の減免についてアンケートを取り負担軽減や就労支援につながっているか確認する。	ひとり親世帯への放課後児童クラブ費の減免についてのアンケートで負担軽減や就労支援につながっているとの回答:100%	◎
04 浦添市	2	てだこ市民によるウラオソイ風景づくり推進事業	R4 ～ R13	観光地としての魅力向上及び地域の文化継承を図るため、「沖縄らしい美しいまちなみ景観」の創出・保全・再生に向けた各種取組を行う。	①景観計画委託業務の完了 ②助成金申請7件(年間) (内 補助工事件数) 赤瓦葺き工事:7件 石積み・石張り工事:4件 生垣等の工事:5件 ③地域景観資源を保全、活用、創造する自主的なまちづくり活動団体等への支援 歴史ガイド参加者(300人/1年)	①景観計画委託業務の完了 ②補助工事:1件/7件 ③地域の歴史や文化に対する興味が湧いたかアンケート結果:97%/80%以上 ・歴史ガイド参加者(516人/1年)	○
04 浦添市	3	浦添観光振興事業	H29 ～ R13	本市へ観光客を誘客するため、観光情報発信を継続的に行うことに加え、プロ野球キャンプ時のPR及び市内周遊企画を実施する。また、PRイベントを実施し、域外からの誘客を行い、市内経済活性化を図る。	①ポータルサイトPV数:482,000件 ②プロ野球春季キャンプ来場者数:39,000人	①ポータルサイト訪問者数:374,801人/482,000人 ②プロ野球春季キャンプファン誘客:35,733人/39,000人	○
04 浦添市	4	未来へ翔たく太陽っ子育て事業	H24 ～ R12	市内在住又は市立小中学校在籍の児童生徒がスポーツ・文化活動の全国大会等において、県外生徒との競争や交流機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、全国大会等に参加する児童生徒を対象として、大会開催地までの渡航に必要な費用の一部を支援する。	保護者に対するアンケートを実施し、「県外大会に参加することで新たな課題や気づきを得られた(視野が広がった)と思う」という保護者の割合が80%以上を成果目標とし、本事業の効果を検証する。	「県外大会に参加することで新たな課題や気づきを得られた(視野が広がった)と思う」という、保護者のアンケートの実施結果:100%	◎
04 浦添市	5	自然体験学習事業	H24 ～ R13	協働的な学びを通じて、よりよい人間関係を築く力を育むため、自然豊かな環境で、集団宿泊活動を実施する。	自然体験教室を通して、児童のよりよい人間関係を築く力(協調性・協働的な態度)が向上したと評価する学校の割合90%以上。	自然体験を通して、児童のよりよい人間関係を築く力(協調性・協働的な態度)が向上したと評価する学校の割合 100%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
04 浦添市	6	学力底上げ推進支援事業	H24 ～ R13	児童生徒の学力向上を図るため、各小中学校へ学校教育支援員及び日本語教育支援員を配置し、学習支援を行う。	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差を以下のとおりとする。 ・小学校:算数 +0.2ポイント以上 ・中学校:数学 +0.2ポイント以上	沖縄県学力到達度調査における県と本市との平均正答率の差 ・小学校:算数 +0.7ポイント/+0.2ポイント以上 ・中学校:数学 +0.6ポイント/+0.2ポイント以上	◎
04 浦添市	7	課題を抱える児童生徒支援事業	H26 ～ R13	課題を抱える不登校児童生徒へ支援を行うために、各種相談員、支援員を配置し、不登校未然防止及び学校復帰を図る。また、個々に応じた体験活動や学習活動、小集団活動等を通じて児童生徒の将来的な社会的自立を目指す。	不登校児童生徒の内、相談・指導等を受けていない子の割合を低減 小学校:18.6%以下 中学校:19.2%以下	不登校児童生徒の内、相談・指導等を受けていない子の割合を低減 小学校:9.9% 中学校:22.8%	△
04 浦添市	8	青少年巡回指導員事業	H26 ～ R13	青少年巡回指導員5名を配置し、青色回転車両にて青少年の問題行動が発生しやすい公園やたまり場等の巡回及び子ども達の安全な登下校を見守る。また学校からの依頼により不登校傾向の児童生徒に対し登校支援等を行う。	・不登校児童生徒の要因の中の「生活リズムの乱れ・あそび・非行」の低減 小学校目標:17.1%以下 中学校目標:23.1%以下	・不登校児童生徒の要因の中の「生活リズムの乱れ・あそび・非行」の低減 小学校目標:未確定 中学校目標:未確定	未
04 浦添市	9	こどもが主体的に学習するための学校ICT機器整備事業	H27 ～ R10	学校教育の質の向上を図るため、市立の小中学校ICT機器を整備する。	①児童生徒へアンケート調査を実施し、「ICT機器を活用した授業がわかりやすかった」と答えた割合(90%以上) ②児童生徒へアンケート調査を実施し、授業での思考力・判断力・表現力の向上を図る活用の項目割合(80%以上) ③児童生徒へアンケート調査を実施し、思考力・判断力・表現力の向上を実感した児童生徒の割合(70%以上)	①児童生徒へアンケート調査を実施し、「ICT機器を活用した授業がわかりやすかった」と答えた割合:97% ②学力向上推進に係る児童生徒の実態調査における思考力・判断力・表現力の向上を示す項目の割合:74% ③学力向上推進に係る児童生徒の実態調査における思考力・判断力・表現力の向上を実感した児童生徒の割合:64%	○
04 浦添市	10	浦添市南米移住者子弟研修生受入事業	H25 ～ R13	戦前戦後を通して南米へ移住した浦添出身者やその子弟とのネットワークを強化するため、浦添出身の子弟を招聘し日本語研修、文化研修等を通して、本市及び本県と移住先国との友好親善・沖縄文化の振興・発展に貢献する人材を育成する。	研修を受けた結果、①沖縄アイデンティティーが高まった②これまで以上に沖縄文化の継承に寄与したいと答えた研修生の割合:90%以上	研修を受けた結果、①沖縄アイデンティティーが高まった②これまで以上に沖縄文化の継承に寄与したいと答えた研修生の割合:100%	◎
04 浦添市	11	浦添市中学生平和交流事業	H24 ～ R12	平和への願いを風化させることなく次代に引き継いでいくため、中学生を対象に平和研修を実施する。研修を修了した者は、「浦添市ピースメッセンジャー」として認定され、壁新聞展などを通して平和伝承の活動を行う。	研修やピースメッセンジャーの活動を通じ、平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証。	研修やピースメッセンジャーの活動を通じ、平和に対する理解が深まったか、保護者へのアンケート実施結果:100%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
04 浦添市	12	浦添市特定駐留軍用地等内 土地取得事業	H27 ～ R13	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、 牧港補給地区の土地の先行取得を実施するための基金 を造成する。	【R6成果目標】 特定事業の用に供する土地取得目標約 10,000 ㎡(達成率63.6%) H28～R5までの累計取得面積190,775㎡ ※達成率:先行取得目標累計面積(300,000㎡) に対する累積取得面積の割合	特定事業の用に供する土地取得約18,687㎡	◎
04 浦添市	13	てだこの都市・浦添「あまくま 歩っちゅん浪漫ウォーク」事業	H24 ～ R13	地域住民の健康意識の向上及び青少年の健全育成を図 り、本市の歴史・文化・地域特性を活かしたウォーキング イベント「てだこウォーク」を地域活性・経済効果の観点か ら盛り上げ、市外・県外の参加者増を目指し、本市の観光 客入域増に繋げる。	市外からの参加者:2,300人 市内からの参加者:2,700人	市外からの参加者:3,248名 市内からの参加者:2,775名	◎
04 浦添市	14	災害時備蓄食料及び保管倉 庫等整備事業	H31 ～ R6	災害時における住民及び観光客の安全確保を図るた め、未整備の避難所に備蓄倉庫を設置し、備蓄米、飲料 水及び災害用備品等を配備する。	備蓄倉庫、備蓄米、飲料水及び災害用備品等の 配備 ・浦添市内の公共施設2か所	備蓄倉庫、備蓄米、飲料水及び災害用備品等の 配備 ・浦添市内の公共施設2か所への配備を実施	◎
04 浦添市	15	浦添前田駅周辺地区賑わい 創出事業	H29 ～ R6	観光誘客並びに観光客と地域住民間及び地域住民相互 の交流機会の増加を図るため、沖縄都市モノレール浦添 前田駅周辺地域において、観光交流拠点施設等の整備 を行う。	多目的広場の付帯設備工事の完了。	—	繰
04 浦添市	16	浦添市都市計画マスタープラ ン改定業務事業	R5 ～ R6	牧港補給基地は2024年度以降に返還予定となっており、 それに合わせ、現在、牧港補給地区跡地利用基本計画 (以下、「跡地計画」)を策定中である。 その跡地計画と整合を図りながら、基地跡地の基盤整備 等に早期着手できるよう、浦添市都市計画マスタープラン を改定する。	浦添市都市計画マスタープラン改定	—	繰
04 浦添市	17	認可外保育施設こどものみら い緊急応援プロジェクト	R5 ～ R9	認可外保育施設におけるこどもの安全を確保するため、 給食業務の委託及び賃借料の補助を行い、慢性的な人 手不足を解決する。	1月当たりの「子どもを見る時間」や「保育従事者 の質の向上を図る時間」について、60時間以上 の増加	「子どもを見る時間」や「保育従事者の質の向上 を図る時間」の増加時間(1施設あたり月平均): +64.35時間	◎
04 浦添市	18	ありんくりんクリーン事業	H24 ～ R12	グスク時代の古城である「浦添城跡」や歴史の道「中頭 方西海道及び普天満参詣道」、信仰の場である御嶽や井 泉、歴史的人物の墓陵などを観光資源として活用するた めに、それらの文化財の環境整備を行う。	観光地としての安全・快適な景観形成を図れた か(85%以上)など、見学者へのアンケートによ り、本事業のあり方について検証する。	(見学者にとって安全快適な景観であったか。) 見学者へのアンケートにより「非常に良い～良 い」と答えた割合:95%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
04 浦添市	19	悠々ロマン漆に出会うまち浦添推進事業	H24 ～ R11	市民への文化の継承と観光振興を図るため、琉球漆器の歴史や文化等を紹介する市美術館において常設展の充実化や関連講座の実施、企画展等を実施する。	・常設展観覧者数目標:年5,000～6,000人台 ・企画展開催 年1回以上	・常設展観覧者数目標:14,611人 ・企画展開催:実施	◎
04 浦添市	20	浦添市観光振興計画改定事業	H28 ～ R7	本市における人の流れを把握し調査・分析を行うことにより、令和7年度に予定されている浦添市観光振興計画策定及び市内観光施設への効果的な観光振興施策を実施する。	市民アンケート調査を1,000件実施し2割回答 観光振興審議会2回開催 関係部署・団体ヒアリング10件実施	・市民アンケート調査回答:205件 ・観光振興審議会開催:2回 ・関係部署・団体ヒアリング実施:4件	○
04 浦添市	21	公共施設LED照明導入調査事業	R6 ～ R6	脱炭素島しょ社会の実現を目的とした市内公共施設への高効率照明機器(LED)導入について、計画的かつ効率的に実施するための調査を行う。	・既存設備の状況調査 ・温室効果ガス削減効果の試算	・既存設備の状況調査:実施 ・温室効果ガス削減効果の試算:実施	◎
04 浦添市	22	うらそえ特産品等振興事業	R6 ～ R13	浦添市の地域資源を活かした新たな商品の開発支援、マーケティング戦略・商品ブランディング等の販売スキル向上支援、販路開拓等の支援により、市内事業者の収益向上を図る。	セミナー参加者アンケートによる「商品開発の役に立った」旨の回答割合:80%以上 新商品開発件数:5件以上	・セミナー参加者アンケートによる「商品開発の役に立った」旨の回答割合:100% ・新商品開発件数:4件	○
04 浦添市	23	産業振興計画策定事業	R6 ～ R7	本市における産業振興の目指すべき姿とその実現方法を示す産業振興計画を策定するため、計画策定に必要な基礎調査の実施を行う。	産業振興計画策定に係る基礎資料の作成	産業振興計画策定に係る基礎資料の作成:実施	◎
04 浦添市	24	結の街施設機能強化事業	R6 ～ R7	スタートアップ企業に対する支援の拡充及び、起業の機運醸成のため、浦添市産業振興センター・結の街の機能を強化する。併せて、老朽化が進む本施設の長寿命化を図る。	整備計画策定及び防水化工事の完了	・整備計画:策定 ・防水化工事:完了	◎
04 浦添市	25	牧港補給地区地権者合意形成促進事業	R6 ～ R13	牧港補給地区返還後の跡地利用の円滑な推進を図るため、地主会若手組織による勉強会等の支援また市民向けのイベント等を開催することにより、地主・市民と行政の連携を強化する。	跡地利用計画への理解度についてアンケート調査を行い、その結果より本事業の在り方を検証する。 (肯定的な評価80%以上)	勉強会の参加者へのアンケート調査で肯定的な評価:94%	◎
05 名護市	1	① 学習指導支援者配置事業	H24 ～ R13	市内小中学校に学習指導支援者を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	沖縄県学力到達度調査における平均正答率(県と市との差) ①小学校 -4.0ポイント以内 ②中学校 -3.0ポイント以内	①-3.7ポイント ②-3.3ポイント	△

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
05 名護市	1	② 生徒指導支援者配置事業	H24 ～ R13	生徒指導支援者を配置し、特別な支援を要する不登校及び不登校気味の児童生徒個々のニーズに対応した支援を行う。	支援対象の不登校児童生徒の登校復帰人数の割合 9%	復帰割合2%	未
05 名護市	1	③ 小中学校英語支援員配置事業	H24 ～ R13	市内小中学校に英語支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	I)小学校英語学力調査 ・6年生:正答率82%以上 II)沖縄県学力到達度調査における 県平均正答率との差 ・中学2年生英語:-3ポイント以下	I)73.1% II)+0.4ポイント	○
05 名護市	1	④ 中学生海外短期留学派遣事業	H24 ～ R13	小さな世界都市をめざす本市の中学生を英語圏に短期留学派遣し、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合:100%	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合:100%	◎
05 名護市	1	⑤ 適応指導教室支援員配置事業	H24 ～ R13	適応指導教室へ支援員を配置し、心理的、情緒的要因による不登校児童生徒及び不登校気味の児童生徒に登校復帰のための指導・支援を行う。	①適応指導教室に通級している児童生徒のうち、学校復帰できた児童生徒の割合:50% ②適応指導教室に通級している児童生徒のうちチャレンジ登校できた児童生徒の割合:85%	①適応指導教室に通級している児童生徒のうち、学校復帰できた児童生徒の割合:27% ②適応指導教室に通級している児童生徒のうちチャレンジ登校できた児童生徒の割合:87%	○
05 名護市	1	⑥ 名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	H24 ～ R13	小・中学校の児童生徒や高等学校及び高等専門学校の生徒が各種大会参加による県外児童生徒等との競争・交流を通じ児童生徒の成長につなげるため、県外等で開催される各種大会へ参加する際の派遣費用を補助し、参加を支援する。	派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒が成長につながる機会が得られたと感じるか(80%以上)	派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒が成長につながる機会が得られたと感じるか:100%	◎
05 名護市	1	⑦ 特別支援教育支援者配置事業	R4 ～ R13	特別支援教育支援者を配置し、特別に支援を要する児童生徒個々のニーズに対応した支援を行う。	特別支援教育支援者配置事業に対する満足度についてのアンケートで、大多数が満足していると考えられる割合85%以上	満足度100%	◎
05 名護市	2	① ファイターズ・キャンプ支援事業	H24 ～ R6	北海道日本ハムファイターズのキャンプ受入体制を整えることで、見学者数の増を図る。また、観光誘客を図るため、エスコンフィールド北海道で名護市PRイベント「名護スペシャルデー」を開催する。	プロ野球キャンプ時における見学者数 29,345人	プロ野球キャンプ時における見学者数 23,286人	○
05 名護市	2	② 名護市観光プロモーション推進事業	R3 ～ R7	本市の関係人口増加に繋げるため、観光プロモーションを実施する。関係機関等と連携・協働して戦略的に情報発信を行い、本市の観光資源の認知度向上を図る。	観光入込客数 3,957,387人以上 (宿泊施設入込客数、観光施設入込客数)	観光入込客数 5,013,402人 (宿泊施設入込客数、観光施設入込客数)	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
05 名護市	2	③ 名護市地域商業グロウアップ支援事業	R1 ～ R6	県内外で開催される物産展や商談会への出展支援等を行うことにより、市内事業者等の販路拡大及び売上増加を図る。	・商談成約件数:3件/社 ・物産展等への出展にあたり役立つ支援内容であったか(80%以上)を含め、支援対象事業者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	・商談成立件数:3件/社 ・物産展等への出展にあたり役立つ支援内容であったか 100%	◎
05 名護市	2	④ 観光客誘致プロモーション事業	R5 ～ R7	観光需要回復に向けて安定した市内入城客増加を図るため、観光商品等の企画・造成に向けたセミナー・ワークショップ、情報発信基盤の再整備など観光協会、市内事業者が連携した観光客誘致プロモーションを実施する。	下期市内宿泊入込客数 463,541人	下期市内宿泊入込客数 595,522人	◎
05 名護市	2	⑤ 名護市スポーツ推進計画策定業務	R5 ～ R6	本市のスポーツに係る戦略的な計画を策定し、スポーツによる地域経済の活性化に繋げることを目的とする。令和6年度においては、基本計画を策定する。	名護市スポーツ推進計画策定の完了	名護市スポーツ推進計画策定の完了	◎
05 名護市	3	第3次名護市観光振興基本計画策定事業	R5 ～ R6	名護市観光産業の回復・発展を目的とした第3次名護市観光振興基本計画を策定する。	第3次名護市観光振興基本計画の策定完了	第3次名護市観光振興基本計画の策定完了	◎
05 名護市	4	① 優良繁殖雌牛導入事業	H27 ～ R8	農家の経営安定化に向けて、子牛の品質及び価格の向上を図るため、優良母牛導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 111%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 108%	○
05 名護市	5	① 救命処置普及強化支援事業	H27 ～ R6	急病や事故、災害等により観光客や市民が負傷した際の救命体制を確保するため、救命講習を実施する。また市内全てのコンビニエンスストアへAEDを設置する。	①救急救命士等の同等の資格を持つ人材の採用:3名 ②各種救命講習参加者へアンケートで「応急手当を実施することができた」と回答した割合:80% ③まちかど救急ステーション認定(更新):3件(3件) ④コンビニエンスストアへのAED設置:3店舗	①3名 ②97.8% ③4件(6件) ④3店舗	◎
05 名護市	5	② ハブ等対策事業	H27 ～ R13	観光客や地域住民のハブ等による咬傷被害を防止するため、危険なハブ等を捕獲・駆除する。	捕獲器設置箇所周辺における咬傷被害件数:0件	捕獲器設置箇所周辺における咬傷被害件数:0件	◎
05 名護市	5	③ 環境再生・活用整備事業	H29 ～ R9	喜知留川の集中豪雨による浸水災害防止を図り、地域の自然を活かした教育の場・憩いの場としての活用する河川に整備する。	・用地取得交渉及び合意形成 ・物件補償交渉及び合意形成 ・河川整備工事(磁気探査含む)の完了	ー	繰

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
05 名護市	6	スポーツ力向上促進事業	R1 ～ R13	児童生徒のスポーツへの興味・関心を高めるため、トップアスリート等を招聘した市民参加型のスポーツ教室や講演会を開催する。また、指導者の指導力を向上させるため、指導者講習会を開催する。	・スポーツ教室・講演会への参加児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識がさらに高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・講習会を受講した参加者(指導者)に対して、指導力が向上したと感じたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	・スポーツ教室・講演会への参加児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識がさらに高まったか:94.8% ・講習会を受講した参加者(指導者)に対して、指導力が向上したと感じたか:未実施	△
05 名護市	7	名護さくらのまち推進事業	R5 ～ R7	本市のシンボルであるカンヒザクラの環境整備として、後継樹の植栽及び既存桜の選定・防腐処理を行い、地域ブランドの強化及び観光客の誘客を図る	さくら祭り来場者数 136,000人	さくら祭り来場者数 169,812人	◎
05 名護市	8	名護自然動植物公園機能強化事業	R4 ～ R7	名護自然動植物公園は、動植物と直接触れ合える自然共生型動植物園である。令和3年7月に沖縄島北部が世界自然遺産に登録され、世界的にも注目されていることやアフターコロナを見据え、観光客の取り込み拡大及び滞在時間の伸長による観光振興を図る。	建築工事、備品購入の完了	－	繰
05 名護市	9	21世紀の森公園周辺エリア魅力向上推進事業	R4 ～ R7	これまでに策定してきた21世紀の森公園周辺エリアを含めた構想である「名護湾沿岸基本構想・基本計画」に基づく取組として、同エリアが市民と来訪者で賑わう空間として、魅力ある観光の目的地となる為に誘客施設を整備する。	工事の完了	－	繰
05 名護市	10	名護市総合交通ターミナル実施計画策定事業	R5 ～ R6	名護漁港周辺エリアのまちづくり及び賑わいを創出する取組として、名護市総合交通ターミナルの整備とその周辺エリアの施設配置等を具体化し、対象エリアの魅力の向上を図る。	実施計画の策定の完了	実施計画の策定の完了	◎
06 糸満市	1 ①	沖縄らしい風景づくり事業	H24 ～ R8	風景づくり計画に基づく景観形成事業を実施することにより、観光地としての魅力を図る。	・助成金による景観形成整備の完了(6件) ・修重点地区景検討基本計画業務の完了	－	繰
06 糸満市	2 ①	観光地危険生物駆除事業	H25 ～ R13	観光客等のハブ咬傷の危険性を除去し安全を確保するため、ハブ生息地域を把握し、ハブ捕獲・駆除を行う。	観光客のハブの咬傷被害件数0件	観光客のハブの咬傷被害件数4件	未

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
06 糸満市	2 ②	糸満イベント推進事業	H24 ～ R13	地域の伝統芸能の保存継承及び観光誘客を図るため、糸満ふるさと祭りへの支援を行う。	糸満ふるさと祭り 来場者数:33,000人	糸満ふるさと祭り 来場者数:23000人	○
06 糸満市	2 ③	観光地公園環境美化強化事業	R4 ～ R13	観光地及びスポーツ観光の一層の充実を図るため、公園の環境美化清掃を行う。	観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。:90%	◎
06 糸満市	2 ④	プロスポーツキャンプ推進事業	R5 ～ R13	プロスポーツキャンプ等実施の際、選手及び見学者等が安全・快適に過ごせるよう受入体制を構築し、チームと市及び観光協会や商工会をはじめとする関係団体と連携してキャンプ地として盛り上げ、観光客誘致と経済効果の波及を図る。	プロスポーツキャンプ見学・来場者:10,000名	プロスポーツキャンプ見学・来場者:3,310名	未
06 糸満市	3 ①	確かな学力を育むサポート事業	H24 ～ R13	学習支援や登校支援等を実施することで、基礎学力の向上と登校復帰を図るため、小中学校へ学習指導等支援員を配置する。	・県学力到達度調査の県平均との差 小学校(6年生)算数 +0.4ポイント ・県学力到達度調査の県平均との差 中学校(2年生)数学 +0.5ポイント	・県学力到達度調査の県平均との差 小学校(6年生)算数 +0.4ポイント。:-5.1% ・県学力到達度調査の県平均との差 中学校(2年生)数学 +0.5ポイント:-0.8%	未
06 糸満市	3 ②	英語指導事業	H24 ～ R13	英語における実践的コミュニケーション能力と基礎学力の向上を図るため、小中学校の英語授業における英会話指導、発音指導をサポートする英語指導助手を配置する。	・小学生 英語に対する興味・関心が高まったか(85%以上)を、英語担当教諭へのアンケートにより調査 ・中学生 県学力到達度調査の県平均との差 中学校英語:-0.3ポイント	・小学生 英語に対する興味・関心が高まったか(85%以上)を、英語担当教諭へのアンケートにより調査:100% ・中学生 県学力到達度調査の県平均との差 中学校英語:-0.3ポイント:-1.3%	△
06 糸満市	3 ③	適応指導教室設置事業	H25 ～ R13	心理的・情緒的要因による不登校の児童生徒の登校復帰を図るため、適応指導教室を設置し、授業支援・登校支援及び教育相談を実施する。	復帰率:35%(適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率)	復帰率:35%(適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率):85%	◎
06 糸満市	3 ④	障害児学習環境づくり事業(小中学校)	H24 ～ R13	児童生徒の障害による学習上又は生活上の支援をするため、小中学校へ特別支援教育支援員を配置する。また、学校・関係機関の多方面の支援、連携強化を図るため、教育委員会へ特別支援教育指導コーディネーターを配置する。	支援員の対応について、特別支援教育担当教諭へアンケートを実施(満足度85%以上)	支援員の対応について、特別支援教育担当教諭へアンケートを実施(満足度85%以上):100%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
06 糸満市	3 ⑥	情報教育環境づくり事業	H25 ～ R13	子どもたちの情報活用能力の育成や情報教育の充実を図るため、情報教育支援員を派遣する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったか(85%以上)の割合を確認する ・学校職員 情報教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったか(90%以上)を含め、教員へのアンケートにより本事業のあり方の検証	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったか(85%以上)の割合を確認する:93.3% ・学校職員 情報教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったか(90%以上)を含め、教員へのアンケートにより本事業のあり方の検証:98.2%	◎
06 糸満市	3 ⑦	糸満市小中学校ICT教育強化環境整備事業(電子黒板購入)	R4 ～ R7	液晶型電子黒板を整備し、保有するICT機器との連携強化をすることで、より効率的、効果的にICT教育を推進する。	・児童生徒にアンケート調査を実施し、液晶型電子黒板を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)	・児童生徒にアンケート調査を実施し、液晶型電子黒板を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上):84.8%	◎
06 糸満市	3 ⑧	糸満市スポーツ・文化活動の県内外等派遣費補助金	R5 ～ R13	県外等へ派遣される小・中学生等に対して補助金を交付して経済的負担を軽減することで、派遣参加を促進し、優れた人材を育成する。	・派遣された児童生徒等に対してアンケートを実施し、派遣されたことで視野が広がったとする回答割合80%以上	・派遣された児童生徒等に対してアンケートを実施し、派遣されたことで視野が広がったとする回答割合80%以上:90.72%	◎
06 糸満市	4 ①	運動公園・体育施設機能強化事業	H24 ～ R7	スポーツ観光の一層の充実を図るため、本市の拠点施設である運動公園・体育施設の機能強化を図る。	・合宿誘致件数13件 ・プロ野球や社会人野球キャンプの誘致。	—	繰
06 糸満市	5 ①	母子生活支援事業	H29 ～ R13	ひとり親家庭の子ども達の心身の健全な発達等を支援するため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親家庭に対して、民間アパート等を借上げし、地域の中で自立した生活が送れるよう支援する。	・支援終了者のうち自立につながった割合 ・就労率	・支援終了者のうち自立につながった割合:自立割合 75% ・就労率:75%	○
07 沖縄市	1 ①	新商品開発等支援事業	R4 ～ R13	市内の食品製造業者や飲食店、工芸作家等の事業者を対象に、新商品開発および販路開拓を総合的に支援するとともに、市産品の情報発信を行う。	新商品開発・販路開拓数(10商品)	新商品開発・販路開拓数:11商品	◎
07 沖縄市	1 ②	音楽観光誘客事業	H24 ～ R13	市内の音楽イベント情報などを発信し、音楽イベント等を開催することで、観光客の誘客を図る。	「おきなわ音楽月間」期間中における主要イベントの集客数:56,150人	「おきなわ音楽月間」期間中における主要イベントの集客数:29,569人	未
07 沖縄市	1 ③	国際交流事業	H24 ～ R13	多言語生活相談窓口を開設し、多国籍外国人住民や日本に一時滞在中の外国人観光客等が抱える生活上の困難の改善を図る。 語学講座や交流会、イベントを開催し、国際感覚をもつ人材の育成を図る。	来所者数4,000人	来所者数:4,530人	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
07 沖縄市	1	④ エイサーのまち推進事業	H24 ～ R13	エイサーのPRや振興等を通して、エイサーの保存継承や観光客の誘客拡大を図る。	①エイサー会館来場者数:24,503人 ②沖縄全島エイサーまつり来場者数:350,000人	①エイサー会館来場者数:25,094人 ②沖縄全島エイサーまつり来場者数:300,000人	○
07 沖縄市	1	⑤ 観光宣伝事業	H25 ～ R13	国内外での観光PR活動を実施することで、本市の認知度向上及び誘客拡大を促進するとともに、滞在型観光の推進を図る。	・主要ホテル宿泊延べ人数:172,807人	・主要ホテル宿泊延べ人数:307,280人	◎
07 沖縄市	1	⑥ 文化芸能推進事業	H25 ～ R13	本市の伝統芸能を中心とした公演を開催し、文化芸能に触れる機会を提供することにより、文化芸能への関心・理解を深めるきっかけとなり、鑑賞者及び後継者の育成へとつなげる。 また、本市の文化資源の魅力を効果的に発信し、観光誘客の拡大を図る。	イベント参加者数 4,500人	イベント参加者数:2,475人	未
07 沖縄市	2	① スポーツコンベンション推進事業	H24 ～ R13	プロスポーツチームの応援機運醸成による市民のチームに対する愛着醸成や、アウェイツーリズムの推進によるアウェイ観戦者の市内宿泊割合の増加、これらの取り組みによるホームゲーム年間来場者数の増加を図る。 また、スポーツコンベンションシティの推進に向け、アーバンスポーツパーク誘客等可能性調査および沖縄アリーナレガシー形成に取り組む。	①ホームタウンプロスポーツチームのホームゲーム年間来場者数:297,798人 ②スポーツツーリズムコンテンツの活用件数:8件 ③アウェイ観戦者の市内宿泊割合:30% ④アーバンスポーツパーク誘客等可能性調査の完了:1件	①ホームタウンプロスポーツチームのホームゲーム年間来場者数:273,685人 ②スポーツツーリズムコンテンツの活用件数:9件 ③アウェイ観戦者の市内宿泊割合:3% ④アーバンスポーツパーク誘客等可能性調査の完了:1件	○
07 沖縄市	2	② モータースポーツ推進事業	H27 ～ R13	モータースポーツ振興イベントを開催し、モータースポーツ愛好家等の観光誘客を図るとともに、モータースポーツの聖地化に向けた取組を推進する。	①イベント来場者数:29,400人 ②施設利用者数:6,651人	①イベント来場者数:28,000人 ②施設利用者数:5,805人	○
07 沖縄市	3	① 緑化景観推進事業	H30 ～ R13	沖縄市の玄関口である南インター前に四季折々の植物を配置することにより、沖縄らしい風景づくりを行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・魅力的な観光地としての景観形成を図られたとの回答:81.3%	◎
07 沖縄市	3	② リュウキュウマツ保全事業	R4 ～ R13	沖縄独自の景観を保全するため、在来種であるリュウキュウマツの幹に薬剤を注入し、松くい虫による枯死被害を防止する。	薬剤を注入した約180本のマツのうち、約174本(97%)の枯死被害を防止	薬剤を注入したリュウキュウマツのうち、枯死被害を防止した割合:100%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
07 沖縄市	4 ①	こども科学力等育成事業	H24 ～ R13	こどもたちが科学の面白さや学ぶことの楽しさを体験する科学イベントや学校等における出前科学教室の開催や科学クラブの設立に向けた支援を行う。 また、生活の中で実践に結び付くような環境出前教室や市民参加型の環境イベントを実施する。	①参加児童生徒の科学への興味・関心が高まったか(参加児童生徒へのアンケートで、満足度96%以上) ②参加者の環境保全への興味・関心が高まったか(参加児童生徒へのアンケートで、満足度80%以上)	①参加児童生徒の科学への興味・関心が高まったとの回答:97.8% ②参加者の環境保全への興味・関心が高まったとの回答:84%	◎
07 沖縄市	4 ②	児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業	H24 ～ R13	児童生徒のわかる・意欲・学ぶを支援するため、学習支援員、外国語指導助手等を配置することにより、きめ細やかな指導の充実に取り組む。	①全国学力調査において、国と本市との平均正答率の差 小学校:国との差-1ポイント以内を目指す。 中学校:国との差-6ポイント以内を目指す。 ②全国学習状況調査における設問、小学6年生「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え自ら取り組んでいましたか」、「中学3年生」「1、2年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え自ら取り組んでいましたか」における「取り組んでいた」とする回答の割合 目標:小中学生ともに全国水準を維持	①全国学力調査において、国と本市との平均正答率の差 小学校:国との差-5.6ポイント。 中学校:国との差-8.8ポイント。 ②全国学習状況調査における設問、小学6年生「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え自ら取り組んでいましたか」、「中学3年生」「1、2年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え自ら取り組んでいましたか」における「取り組んでいた」とする回答の割合 小中学生ともに全国水準-0.8ポイント	未
07 沖縄市	4 ③	気になる子等の学びを支援する事業	H24 ～ R13	特別な支援が必要な子に対し、幼稚園、小中学校までの継続的な支援を行う。 また、不登校や学力不振の児童生徒への登校支援、学習支援を行う。	・特別支援教育について、対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上 ・教員並びに関係者等にモデル事業への満足度を調査し有効性を確認する(目標値:満足度70%以上) ・不登校児童生徒登校復帰率 20%以上	・特別支援教育について、対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度:80.3% ・教員並びに関係者等にモデル事業への満足度:100% ・不登校児童生徒登校復帰率:7.9%	○
07 沖縄市	4 ④	青少年等支援事業	H25 ～ R13	青少年の健全育成を目的として、青少年教育相談指導員による相談支援や青少年指導員による夜間巡回指導等の取組を実施する。	①午前・午後巡回指導件数 前年度比 139%以下 ②夜間・合同街頭指導件数 前年度比 1.6%減 ③若者の主訴改善件数 前年度比 7.7%増 ④実施設計の完了	①午前・午後巡回指導件数 前年度比:18.6%増 ②夜間・合同街頭指導件数 前年度比:2%増 ③若者の主訴改善件数 前年度比:69.2%増 ④実施設計完了	○
07 沖縄市	4 ⑤	中学生海外ホームステイ派遣事業	H25 ～ R13	国際的な広い視野を持った人材を育成するため、市内中学校の生徒を対象にホームステイ活動を支援し、異文化交流体験をとおして、国際理解教育を推進する。また、事前・事後学習を行うことで個々の目標や理解を深める。	・保護者へのアンケートで、プログラム終了後、生徒の国際的な視野が広まったと感じた割合 90%以上	・保護者へのアンケートで、プログラム終了後、生徒の国際的な視野が広まったと感じた割合:100%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
07 沖縄市	4	⑥ 学校ICT活用支援事業	R4 ～ R13	児童生徒の情報活用能力の育成を図るため、ICT支援員を学校へ派遣し、授業等においてICT(校務用PC、教育用PC、電子黒板、デジタル教材など)が効果的に活用されるよう支援する。	・授業にICTを活用して指導できる割合:80%以上 ・ICT活用により、授業がわかりやすかったと答えた児童生徒の割合:80%以上	・授業にICTを活用して指導できる割合:93.9% ・ICT活用により、授業がわかりやすかったと答えた児童生徒の割合:97%	◎
07 沖縄市	4	⑦ 生活困窮者学習支援事業	R4 ～ R13	高校進学を促進し貧困の世代間連鎖を防ぐため、被保護世帯の中学1・2年生およびふたり親の準要保護世帯の中学3年生に対し、学習支援を行い、基礎学力や学習意欲の向上を図る。	①学習教室への出席率:85%以上 ②通学生徒の学力テスト点数増加率:10% ③通学生徒の高校進学率:95%以上	①学習教室への出席率:78.3% ②通学生徒の学力テスト点数増加率:44.9% ③通学生徒の高校進学率:100%	○
07 沖縄市	5	① 就労等支援事業	H24 ～ R13	若年者や子育て世代等に対する就労相談等を実施し、求職者の就職決定に繋げるとともに、実践的・専門的な技術に対応した人材の育成および就労機会の増加を図る。	①就職決定者数:257名 ②職場体験/デジタル人材等育成研修参加者へのアンケートで、職業理解/デジタル技術に関する理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	①就職決定者数:220名 ②職場体験/デジタル人材等育成研修参加者へのアンケートで、職業理解/デジタル技術に関する理解が深まったとの回答:75%	○
07 沖縄市	5	② 産業集積推進事業	R2 ～ R8	産業集積の取り組みを推進することにより、企業立地や創業効果を促進するとともに、企業による取引や情報交流、連携などの企業間関係の好循環を創出し、質の高い雇用の創出や市民所得の向上を図る。	①創業スクール卒業生:30名以上 ②創業者数:20名 ③スタートアップ企業誘致:5社 ④新規航路実証実験による年間取扱貨物量:10,095トン	①創業スクール卒業生:50名 ②創業者数:45名 ③スタートアップ企業誘致:14社 ④新規航路実証実験による年間取扱貨物量:4,223トン	○
07 沖縄市	6	① 地域防災対策事業	H24 ～ R13	地域防災力の向上を目的に、自主防災組織の結成を促進するため、資機材、倉庫の整備を行う。 また、災害時に住民や観光客への適切な情報発信として、防災行政無線設備の機能向上により、被害を最小限に抑える対策を講ずるため、防災行政無線の情報発信強化を行うとともに、防災関連公園の施設設計を行う。	①整備した防災資機材等を活用した避難訓練を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 ※防災訓練の回数については、各防災組織が1回以上訓練するものとする。 ②防災行政無線の実施設設計の完了 ③防災関連公園施設設計の完了	①整備した防災資機材等を活用した避難訓練回数:23回(36組織中23組織実施) ②防災行政無線の実施設設計完了 ③防災関連公園施設設計完了	○
07 沖縄市	7	① キャンプ瑞慶覧返還地区等跡地利用推進事業	R4 ～ R9	キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を推進するため、跡地利用整備計画推進支援事業を行う。	跡地利用整備計画推進支援業務の完了	跡地利用整備計画推進支援業務完了	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
07 沖縄市	8	① 東部海浜地区開発事業	H25 ～ R13	東部海浜地区の認知度向上を図り、同地区の利活用が円滑に行われることを目的として、市民や県民等に対して人工ビーチ部分使用を通して東部海浜地区開発事業のPRを行うとともに、竣功区域土地利用等検討業務、マリーナ整備検討業務、事業アドバイザー業務を行う。 また、効果的に東部海浜地区への企業誘致を図るため、県外企業等にヒアリングを行う。	①公募条件整理に向けたヒアリング(サウンディング)の実施6回(22件) ②来場者等へのアンケートによる認知度(58%以上)向上を含め、本事業のあり方について検証する。 ③竣功区域土地利用等検討報告書の作成 ④マリーナ整備検討報告書の作成 ⑤事業アドバイザー業務報告書の作成	－	繰
07 沖縄市	9	① 平和推進事業	H30 ～ R13	沖縄戦の体験や教訓を考える取組を行うとともに、沖縄戦への理解を深め、平和を発信する。	①参加者数 800人 ②アンケートにより、沖縄戦への理解が深まったか(80%以上)	①参加者数:852人 ②アンケートにより、沖縄戦への理解が深まったとの回答:99.4%	◎
07 沖縄市	10	① 商店街等活性化事業	R1 ～ R13	令和元年度に実施した調査等を基に、課題を整理し銀天街地域のコミュニティ形成に取り組むことの出来る人材を育成する。 イベント開催に向けての要望や相談等を含め支援し、商店街の魅力を高める。	交流拠点の来客・相談対応件数 400件	交流拠点の来客・相談対応件数:471件	◎
07 沖縄市	11	① 沖縄こどもの国施設整備事業	H24 ～ R8	沖縄県で唯一の本格的な動物園や科学館等を有し、広域的な児童・青少年のための人材育成拠点施設である沖縄こどもの国の機能強化のため、施設整備基本計画に基づき施設の整備をおこない、観光誘客及び人材育成拠点の充実を図る。	・科学館入退場ゲート新設整備の完了 ・池周辺環境演出整備の完了 ・正面ゲート動線計画の策定 ・Wi-Fiコンテンツ整備の完了 ・法面景観形成調査設計の完了 ・環境演出照明設計及び工事の完了 ・園内周遊モビリティ購入の完了 ・視察先を参考とした夜間コンテンツの開発1件 ・視察先を参考とした園路設計1件	－	繰
07 沖縄市	12	① ゼロカーボン推進事業	R6 ～ R7	二酸化炭素排出量の削減を図るため、道路照明を環境負荷の少ないLED照明への切り替えを実施する。 また、脱炭素化への転換を促進するため、市民・事業者に対する相談窓口の設置や情報発信等を行う。	①道路照明LED化整備計画策定完了 ②省エネ診断の実施事業所数:30か所 ③セミナー参加者数:120名	①道路照明LED化整備計画策定完了 ②省エネ診断の実施事業所数:30か所 ③セミナー参加者数:156名	◎
08 豊見城市	1	① とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタ事業	H25 ～ R13	県内外及び国外へ、本市の成長力、若い力及び市特産品を広くアピールするとみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタの開催に負担金を交付する。	とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタの来場者数:60,000人	・とみぐすく祭りの来場者数:67,855人	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
08 豊見城市	1 ②	豊見城市観光施設環境美化強化事業	R4 ～ R13	観光施設としての魅力的な景観形成を図るため、広場及び道路等の環境美化作業(清掃・剪定・植栽等)を行う。	施設利用者へのアンケート調査等を実施し、観光施設としてふさわしい景観形成とを感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	観光施設としてふさわしい景観形成とを感じるか(82%)	◎
08 豊見城市	1 ③	文化観光創出事業	H24 ～ R10	平成25年度策定の「豊見城城址跡地利用基本計画」を踏まえ、豊見城城址及びその周辺について、観光資源として活用するため、必要な施設等の設計や整備等を実施する。	・グスクゾーンに係る周辺及び園路整備工事の完了	完了	◎
08 豊見城市	1 ④	豊見城市産業振興計画策定事業	R6 ～ R7	柔軟かつ的確に対応した実効性の高い産業振興施策を実現するため、産業振興計画の策定に向けた基礎調査業務を実施する。	基礎調査報告書の策定	－	繰
08 豊見城市	1 ⑤	創業支援強化事業	R6 ～ R10	特定創業支援事業として実施している個別相談の他に、多様な創業者を掘り起こすことを目的とした創業セミナーを実施する事業者に対し補助を行う。	創業セミナーの参加者数5名/月 以上	創業セミナーの参加者数 平均10名/月 以上	◎
08 豊見城市	1 ⑥	豊崎海浜公園環境整備事業	R6 ～ R6	豊崎海浜公園における施設環境面を改善し、観光客等の施設利用者の利便性向上を図るため、コイン式シャワー取替工事を実施する。	コイン式シャワー取替工事了完了	完了	◎
08 豊見城市	1 ⑦	豊見城市観光PR事業	R4 ～ R6	首都圏在住者に対し、近場で沖縄県豊見城市の雰囲気を感じることで物産展及びPR展等を実施する。	実施場所における市ブースへの来場者数 6,000名以上	実施場所における市ブースへの来場者数 10,088名	◎
08 豊見城市	2 ②	発達支援保育事業	R4 ～ R13	支援を必要とする子を預かる施設を対象に、保護者が安心して預けることのできる環境の整備を行うため、公立保育所・認定こども園においては加配保育士を配置、また市内法人立認可保育園等においては受入れ体制の整備ができるよう、加配保育士等の人数に応じて補助金を交付する。	①加配保育士の対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる児童保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ②市内対象児に必要な加配保育士の人数に対する実際に配置できた人数(85%以上)	①89% ②100%	◎
08 豊見城市	2 ③	認可外保育施設給食委託事業	R6 ～ R8	認可外保育施設で行う給食提供を、業務委託することで、子どもへ対応する時間を増やし、保育の質の向上につなげる。	①給食内容に関して、認可外保育施設及び保護者の満足度80%以上 ②給食内容に関して、認可外保育施設及び保護者の満足度80%以上	①67% ②97%	△

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
08 豊見城市	3 ①	特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ R13	特別な支援を必要とする児童生徒に対し教育活動の支援を行うため、特別支援教育支援員を配置し、教育活動の充実を図る。	特別支援教育支援員の配置による対応満足度(80%以上)と今後の事業のあり方について保護者アンケートを実施する。	特別支援教育支援員の配置による対応満足度(82%)	◎
08 豊見城市	3 ②	学力向上サポート事業	H24 ～ R13	小中学校において担任教諭の授業補助を行い、個に応じたきめ細かい支援を行うため、学力向上推進補助員を配置し、学力向上へと繋げる。	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ①小学校: +2.5ポイント以上 ②中学校: +0.0ポイント以上	①小学校: +2.8ポイント ②中学校: +1.8ポイント	◎
08 豊見城市	3 ③	スクールソーシャルワーカー配置事業	H27 ～ R13	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境改善のため関係機関とのネットワーク構築を図るためスクールソーシャルワーカーを配置し、環境改善に向けた支援を行う。	支援対象ケース改善率: 61.4%以上 (改善ケース件数/支援対象ケース件数) × 100	支援対象ケースの改善率: 20.1%	未
08 豊見城市	3 ④	不登校等対策支援事業	H24 ～ R13	不登校や問題行動を抱える児童生徒に対し、各種支援員を配置し、生徒指導や教育相談、学習支援など適切な指導を行い学校復帰や社会的自立に向けて支援を行う。	不登校児童生徒復帰率: 20%以上 (学校復帰人数/新規不登校者数) × 100	・不登校児童生徒復帰率: 12.3%	未
08 豊見城市	3 ⑤	英語教育推進事業	H25 ～ R13	グローバルな社会情勢の変化に適応していく上で重要な素養と基礎知識を身に付けるため、中学校に外国人英語講師を配置し、小学校に日本人英語講師を配置する。	【小学校】 英語に対する興味・関心が高まった児童の割合: 80%以上 【中学校】 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差+0.0ポイント以上	【小学校】 英語に対する興味・関心が高まった児童の割合: 78.5% 【中学校】 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差+0.3ポイント	△
08 豊見城市	3 ⑥	ICT教育推進事業	H24 ～ R13	わかりやすい授業による児童生徒の学力向上と情報活用能力の向上に向けたICT機器等の整備及び情報教育指導補助員を派遣し、グローバル社会、情報社会に対応できる人材の育成を図る。	①教員にアンケート調査を実施し、情報教育指導補助員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。 ②児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。	①教員を対象としたアンケートでICT機器の熟読度が上がったと答えた割合: 87.78% ②自動生徒を対象としたアンケートでICTを活用した授業がわかりやすかったと答えた割合: 92.97%	◎
08 豊見城市	3 ⑦	児童生徒等派遣費補助事業(部活分)	H25 ～ R13	本市の児童生徒等がスポーツ及び文化活動において、県外及び離島大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	児童生徒の視野が広がったか(99%)	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
08 豊見城市	3 ⑧	児童生徒等派遣費補助事業 (部活外)	H25 ～ R13	本市の児童生徒及びその指導者がスポーツ及び文化活動において、県代表選手として県内離島及び県外等で開催される大会へ出場する際の必要な派遣費の助成を行う。	補助対象者の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	児童生徒の視野が広がったか(98%)	◎
08 豊見城市	3 ⑨	青少年国際交流事業	H25 ～ R13	市内在住の中学生をハワイ州へ派遣し、英語環境で生活することを通して、英語に対する興味関心を更に高め、主体的、意欲的に学習する機会を提供して、次代を担う国際的な人材を育成する。	派遣後、団員アンケートを実施し「将来、国際関係の仕事をしたいまたは国際科に進学したい」と回答した割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	将来、国際関係の仕事をしたいまたは国際科に進学したいか(100%)	◎
08 豊見城市	3 ⑩	お仕事体験事業	H30 ～ R13	豊見城市内の小中学生等を対象に、早期からの就労に対する意識付けや、将来の職業観を育むため、様々な職業が疑似体験できるイベントを実施する。	就業意識が向上したか(85%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	就業意識が向上したか(95%)	◎
08 豊見城市	4 ①	デジタル博物館事業	R2 ～ R11	地域の歴史・文化に育まれた地域知的資産情報を電子化・コンテンツ作成・集約・整理・連携を図り、公開・普及啓発を行う。	①webサイトアクセス数 70,400回/年 ②地域資料共有報告書発行種類 4種類	①webサイトアクセス数 74,650回/年 ②地域資料共有報告書発行種類 4種類	◎
08 豊見城市	5 ①	サッカーキャンプ誘致推進事業	R1 ～ R13	サッカーキャンプ受入の準備として芝生の維持管理委託を行い、サッカーキャンプ誘致に向けた施設の受入体制を構築することで継続的なサッカーキャンプ誘致を実現する。	サッカーキャンプ誘致件数: 2件/年	サッカーキャンプ誘致件数: 2件/年	◎
08 豊見城市	6 ①	豊見城市総合交通戦略推進等支援事業	R5 ～ R9	公共交通不便地域における移動手段の確保及び路線バス等の公共交通利用促進に向けた意識啓発、公共交通関係者で組織する協議会の開催支援を行う。	市内一周線バスの利用者数 前年度比1%増	市内一周線バスの利用者数 前年度比22.6%増	◎
08 豊見城市	6 ②	新たな公共交通システム導入検討調査事業	R6 ～ R9	本市や西海岸地域の交通渋滞解消のため、新たな公共交通システム(自走式ロープウェイ)の導入に向けた検討調査を行う。	検討調査の完了	完了	◎
08 豊見城市	6 ③	豊見城市優良母牛導入支援事業	H27 ～ R8	補助金により優良母牛の導入を促進し、畜産農家の生産基盤の確立及び経営の安定、農業振興を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合(110%)	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合(100%)	未

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
09 うるま市	1 ①	めんそーれうるま！キャンプ・合宿事業	R1 ～ R7	プロスポーツチームや実業団などのアマチュアスポーツ団体に対して、市が保有する施設等のプロモーションをし、合宿・大会等の誘致を図ると共に、受入環境を整備する。	うるま市スポーツコンベンション推進協議会の開催・運営(2回) ・新規誘致活動件数 5件以上 ・受入環境整備(与那城総合公園陸上競技場)の完了 ・受入環境整備(具志川野球場照明機能強化設計)の完了	－	繰
09 うるま市	1 ②	モータースポーツ振興推進事業	R4 ～ R6	モータースポーツの推進による観光産業の振興により、地域の活性化を図るため、本市におけるモータースポーツの振興に関する取組を実施する。	実証イベントの来場者数2,000人	実証イベントの来場者数1,144人	△
09 うるま市	1 ③	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	H24 ～ R8	世界遺産として登録されている勝連城跡は、周辺施設の整備が不十分であることから地域への経済波及効果は薄い状況にある。そこで、勝連城跡の世界遺産としての価値を保全しつつ、文化を軸とした地域振興を図るため、体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点の整備を実施する。	委託業務の完了 入場者数:10万人	委託業務の完了 入場者数:106,509人	◎
09 うるま市	1 ④	観光客誘客促進PR事業	R1 ～ R8	うるま市の魅力をPRをするため、県外でのプロモーション・市内イベントの実施・メディアを活用した情報発信を実施し、「観光のうるま」のイメージを定着させ、市外からの誘客促進を図る。	SNSフォロワー数、市YouTube登録者数:23000人 主要観光施設の入場者数目標値:301,000人	SNSフォロワー数、市YouTube登録者数:27,122人 主要観光施設の入場者数目標値:330,250人	◎
09 うるま市	1 ⑤	石川多目的ドーム機能強化事業	R4 ～ R7	主に闘牛大会の会場として活用されている石川多目的ドームについて、様々なイベントが開催できる施設への機能強化を図り、年間を通じてイベントの開催が可能となる施設整備を行う。	測量業務 設計業務 地質業務 磁気探査業務	－	繰
09 うるま市	2 ①	うるま市の頑張る農業を応援します事業	H30 ～ R7	生産施設の整備及び農業用機械の導入に必要な支援を行い、農作物の出荷量の向上を図る。	強化型パイプハウスの設置 農業用機械等の導入	強化型パイプハウスの未設置 農業用機械等の導入	△
09 うるま市	2 ②	病害虫防除資材補助事業	R4 ～ R8	県産農産物の安定的な県外出荷を維持するため、病害虫の蔓延予防を目的とした補助を行う。	病害虫の適期防除により蔓延予防を目的とする	病害虫の適期防除により蔓延予防	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
09 うるま市	2 ③	津堅島農業活性化事業	R1 ～ R7	島の5割が優良農地にも関わらず灌漑施設が未整備である津堅島において、散水作業を行う。また、有人離島における農業経営に必要な堆肥等の円滑な供給を図るため、海上輸送費の一部を補助することで津堅島農業の活性化を図る。	津堅ニンジン生産量 2.0t/10a 支援業務の完了	津堅ニンジン生産量 1.0t/10a 支援業務の完了	○
09 うるま市	3 ①	石川地域まちづくり推進事業	R4 ～ R7	石川IC周辺の交流拠点や交通結節機能の導入可能性調査を実施するとともに、石川庁舎周辺においては、地域住民や県内外の方々の目的地となるエリア開発を通して滞在や人流を生み出し、既成市街地への波及効果により石川地域全体の賑わい創出を図ることを目的に、事業化に向けたアドバイザー業務委託を実施する。また、県営石川団地再整備による用地を活用した周辺整備を検討する。	・石川IC周辺交流拠点形成基本計画の策定 ・石川庁舎周辺利活用事業化アドバイザー業務委託の完了 ・県営石川団地周辺整備における基本計画の策定完了	・石川IC周辺交流拠点形成基本計画の策定完了 ・石川庁舎周辺利活用事業化アドバイザー業務委託完了 ・県営石川団地周辺整備における基本計画の策定完了	◎
09 うるま市	3 ②	勝連・与那城地域まちづくり推進事業	R4 ～ R7	新たな産業創出や基盤の構築等産業振興を図る為、市場調査や、既存公共施設の活用における民間事業者との連携可能性調査等を行う。	利活用推進実施計画の策定に向けた庁内検討会の開催 地域住民及び地権者への説明・意見交換会の実施 民間事業者との対話	利活用推進実施計画の策定 地域事業者及び住民意見を盛り込んだトライアル事業の実施 伐採業務の実施	◎
09 うるま市	3 ③	企業誘致推進事業	H24 ～ R8	首都圏を中心とした企業誘致及び新たな産業の振興と雇用の創出を図るため、企業誘致推進員を起用し本市投資環境をPRする企業誘致活動を行うとともに、市内企業に対して、受発注の促進に関するマッチング支援を支援する。また、中城湾港新港地区の新たな産業用地の確保のため土地利用に係る可能性調査を実施する。	首都圏企業等へのアプローチ:10社 投資環境ツアーへの参加企業数:10社 マッチング件数:10件 産業用地調査の完了	首都圏企業等へのアプローチ:14社 投資環境ツアーへの参加企業数:14社 マッチング件数:12件 産業用地調査の完了	◎
09 うるま市	3 ④	中城湾港物流促進事業	H30 ～ R13	市内事業者の新たな物流モデル構築の取組に対して実証実験を実施し、取扱貨物量の増加を図るとともに、新たな航路を誘致することで、港湾物流機能の向上を図る。	東ふ頭を利用する新たな荷主企業の獲得 3件	東ふ頭を利用する新たな荷主企業の獲得 8件	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
09 うるま市	3	⑤ 市内事業者販売力向上支援事業	H25 ～ R13	市内事業者自ら事業拡大に向けた取り組みができるよう、新商品開発、テストマーケティング、品質向上に対する伴走支援を実施し、地域事業者のものづくり力の底上げを図る。また、販路拡大を目的として、県内外での商談会や物産展を行い市産品の認知度向上を図る。	・物産展の1事業者平均売上額:80,400円 ・市産品販売の機会創出(物産展の開催)3回 ・販路拡大講座参加者へのアンケートで講座内容が販路拡大等への参考となったか(79%以上)を含め、本講座のあり方を検証 ・県外量販店への市産品の販路の獲得実施 ・新商品(ブラッシュアップ)開発10品目以上	・物産展の1事業者平均売上額:37,867円 ・市産品販売の機会創出(物産展の開催)5回 ・販路拡大講座参加者へのアンケートで講座内容が販路拡大等への参考となったか90% ・県外量販店への市産品の販路の獲得実施 ・新商品(ブラッシュアップ)開発30品目	○
09 うるま市	4	就労支援事業	H24 ～ R13	合同企業説明会の開催や求人広告費用等の支援を実施し、求職者と企業のマッチングを図る。また、市内および近隣市町村の高校生等を対象に中城湾新港地区立地企業を中心とした見学バスツアーを実施。参加企業へは関心を持った学生への直接的な接点や地域人材の確保や育成、高校生等へは市内企業の興味関心や職業観の醸成、就職先の検討などの効果を図る。	①学生の訪問企業への興味・関心が湧いた80% ②参加企業の満足度70% ③参加企業数及び参加校(学生)数 40社及び13校1200名	①学生の訪問企業への興味・関心が湧いた80% ②参加企業の満足度55% ③参加企業数及び参加校(学生)数 38社及び21校2,045名	○
09 うるま市	5	① うるまベンチャースクール事業	R4 ～ R6	起業支援を行い、起業者を増やすことで、企業所得の増加及び雇用創出を図る。	起業者数(法人登記または開業届出)6組	起業者数(法人登記または開業届出)2組	未
09 うるま市	5	② スポーツ力向上促進事業	R1 ～ R13	スポーツを通じた人材育成のため、スポーツ教室の開催や外部指導員を活用した部活動顧問の指導力向上などに取り組み、部活動加盟率の改善を図る。	生徒等へのアンケート(生徒の満足度)80% 指導者へのアンケート(指導者の満足度)80% 部活動加入率 60%	生徒等へのアンケート(生徒の満足度)95% 指導者へのアンケート(指導者の満足度)100% 部活動加入率 43%	○
09 うるま市	6	① 教育ICT支援員派遣事業	R3 ～ R8	ICT機器を効果的に活用し、児童生徒の学習意欲の向上や情報活用能力の育成環境を整えるため、ICT支援員を各学校に派遣し、授業等でのICT機器の活用支援を行う。	ICT機器を活用した学習活動により、学習意欲が向上したと思うか(※児童生徒アンケート調査)80%	ICT機器を活用した学習活動により、学習意欲が向上したと思うか(※児童生徒アンケート調査)88%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
09 うるま市	6 ②	学力向上対策推進事業	H24 ～ R13	現状を改善するため支援員配置やデジタル教材・電子黒板等ICTを活用し、個別最適な学習、協働による学びを提供することで学力の向上を図る。	学習意欲の向上 (全国学力・学習状況児童生徒質問調査より) ・「算数／数学の勉強は好きですか」 ・「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていましたか」 自学自習力の育成 (全国学力・学習状況児童生徒質問調査の全国平均との差) ・「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」 「家で自分で計画を立てて勉強していますか」 ・学びの定着(全国学力・学習状況調査の平均正答率の全国との差:算数・数学)	・「算数／数学の勉強は好きですか」小-3.7 中-3.9 ・「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていましたか」小+2.3 中+1.1 ・「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」小+1.7 中-3.2 「家で自分で計画を立てて勉強していますか」小+2.3 中+1.1 学びの定着(全国学力・学習状況調査の平均正答率の全国との差:算数・数学)小学校 -10.4中学校-15.5	△
09 うるま市	6 ③	ICTを活用した特色ある学校づくり事業	R2 ～ R13	オンライン上での課外活動やオフラインでの探究型学習などを通じ、地域内外と協働し課題解決や価値創造に取り組める人材育成を学校の特色とすることで、生徒数の増加及びライフスキルの向上を図る。	参加した児童生徒のライフスキル自己評価10項目 平均10%増	参加した児童生徒のライフスキル自己評価10項目 平均8.8%増	○
09 うるま市	7 ①	伝統文化・民俗芸能伝承活動事業	R5 ～ R9	民俗芸能の継承や復活の契機を促すため、用具や芸能を発表する際の経費の補助をする。	伝統芸能やイベントへの出演回数:5回	伝統芸能やイベントへの出演回数:10回	◎
09 うるま市	7 ②	文化財環境整備事業	R6 ～ R6	うるま市内の文化財および文化財周辺の整備を実施し、市民の生涯学習や、地域振興を促進する。	①嘉手苺観音堂を中心とした文化講座の参加者:20名以上 ②嘉手苺観音堂への来訪者数:720名以上	嘉手苺観音堂を中心とした文化講座の参加者0名 嘉手苺観音堂への来訪者数:1,391名	△
09 うるま市	8 ①	ひとり親家庭生活支援事業	H25 ～ R13	支援が必要なひとり親家庭の中でも自立する意欲のある家庭に対し、民間アパート等の居室を提供するとともに、就労や児童生徒の学習支援等を実施し、自立に向けた総合的な支援を行う。また、各支援世帯に合った、より細やかな支援計画を作成し、支援の充実を図る。	・居室借上、転職・債務整理等により生活改善した世帯の割合:100% ・パソコン講座資格取得者:15名 ・保護者へのアンケートで、学習習慣の定着が図れたかを含め、当該支援のあり方について検証:90% ・高等学校卒業程度認定試験合格:2名	・居室借上、転職・債務整理等により生活改善した世帯の割合:79% ・パソコン講座資格取得者:5名 ・保護者へのアンケートで、学習習慣の定着が図れたかを含め、当該支援のあり方について検証:83% ・高等学校卒業程度認定試験合格:0名	未
09 うるま市	8 ②	教育相談事業	H24 ～ R13	与勝・具志川地区、石川地区相談室に相談員を配置し、幼児・児童生徒・教師・保護者の教育上の問題や悩みの相談に応じ支援し、課題の解決を図る。	相談件数実績に対するケース終結の割合:35%	相談件数実績に対するケース終結の割合:46.7%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
09 うるま市	8 ③	適応指導教室事業	H24 ～ R13	小中学生の心理的・情緒的要因による不登校児童生徒に対し、適応指導教室を開級し、児童生徒に自立心や社会性を高めることを目指す。	・体験活動に参加することができた割合91%以上 ・中学3年生の卒業後の進路決定割合82%以上	・体験活動に参加することができた割合62%以上 ・中学3年生の卒業後の進路決定割合92%以上	○
09 うるま市	8 ④	作業療法士巡回相談事業	R4 ～ R13	発達障がい等により、学校生活にうまく適応できず困り感のある児童生徒の行動と心を理解し、支援方法や指導方法、環境調整等を工夫改善し課題解決への対応を図る。	・問題改善率60% ・相談・支援件数60件	・問題改善率73% ・相談・支援件数172件	◎
09 うるま市	8 ⑤	中学校教育指導推進事業	H24 ～ R13	児童生徒及び家族が抱える様々な問題に対して、多様な支援方法を用い課題解決を図る。	・相談及び支援(延べ件数):1000件 ・問題等を解決した件数:40件	・相談及び支援(延べ件数):5,579件 ・問題等を解決した件数:283件	◎
09 うるま市	9	うるま市島しょ地域振興事業	R4 ～ R6	過疎化や高齢化が進み、活動できる人材が不足する離島において、離島を支える産業振興体制の構築とコミュニティ経済の振興に向け、多様な人材の関わりにより産業振興・地域経済の活性化を図る。	農作業等お仕事体験の参加世帯数10世帯 プロジェクト創出型の参加世帯数5世帯	農作業等お仕事体験の参加世帯数12世帯 プロジェクト創出型の参加世帯数5世帯	◎
09 うるま市	10	地域防災力強化事業	H25 ～ R8	災害時において、いち早く活動できる自主防災組織の活動強化のため、災害のしくみや、実践的な知識と技能を学ぶため、防災士の資格取得支援や防災資機材の点検及び整備等の活動支援を行い地域の組織力の醸成を目的とする。	・防災士資格取得者数:30人 ・防災資機材支援補助:17団体 ・防災活動支援補助:30団体 ・防災教育講座開催数1回100%	・防災士資格取得者数:7人 ・防災資機材支援補助:17団体 ・防災活動支援補助:8団体 ・防災教育講座開催数1回100%	△
09 うるま市	11 ①	うるま市公営墓地整備事業	R6 ～ R12	公益性、持続性のある公営墓地を整備するため、建設候補地を選定する。	公営墓地建設候補地(複数)の選定を行う:8地点	公営墓地建設候補地(複数)の選定を行う:8地点	◎
09 うるま市	11 ②	うるま市総合食育センター整備事業	R5 ～ R8	早世割合が非常に高い本市において、学校給食センター機能と、食育交流の推進拠点としての機能を有した総合食育センターを一体的に整備し、住民の健康増進の充実を図る。	実施設計、造成工事の実施	－	繰
10 宮古島市	1 ①	地下水保全調査事業	H29 ～ R6	本市の唯一の淡水資源である地下水の保全を行う。	①白川田地下水流域の境界位置精度向上調査の完了	完了(白川田地下水流域境界位置精度向上調査完了)	◎
10 宮古島市	1 ②	地下水質モニタリング調査事業	R6 ～ R10	本市の唯一の淡水資源である地下水の水質管理を行う。	1)有機フッ素化合物及びネオニコチノイド系農薬類検査の完了	有機フッ素化合物及びネオニコチノイド系農薬類検査の完了	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
10 宮古島市	2	① 観光地アクセス道路環境美化強化事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地へのアクセス道路の環境美化(除草・清掃)を行う。	観光地周辺について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であるか…80%	観光地周辺について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であるか…96.7%	◎
10 宮古島市	2	② 観光地公園環境美化強化事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地として利用されている公園の環境美化作業を行う。	観光地公園について、観光地としてふさわしい景観であるか…80%以上	観光地公園について、観光地としてふさわしい景観であるか…94.9%	◎
10 宮古島市	2	③ 宮古島市観光景観形成推進事業	R2 ～ R6	電線類を地中化することで、景観に配慮した風景を形成し更なる観光地としての魅力向上を図るため、無電柱化を推進する。	電線類地中化工事の完了	電線類地中化工事の完了	◎
10 宮古島市	2	⑤ 伊良部屋外運動施設整備事業	R6 ～ R6	伊良部屋外運動施設に新設された多目的屋内運動場の供用開始に伴い、備品等を整備する	・プロ野球キャンプ誘致 1団体以上 ・社会人・大学強豪チームのキャンプ誘致 1団体以上	・プロ野球キャンプ誘致 1団体 ・社会人・大学強豪チームのキャンプ誘致 1団体	◎
10 宮古島市	2	⑥ 賑わいのまちづくり事業	H28 ～ R7	中心市街地活性化を図るため、イベント等の開催の利用、まち歩き観光の休憩利用など、市民・観光客の交流拠点として賑わいの創出が可能となる広場整備を行う。	公有財産購入の完了	公有財産購入の完了	◎
10 宮古島市	3	① 持続可能な観光地域づくり推進事業	H24 ～ R8	宮古島市観光推進協議会による観光マネジメントを行い、官民連携して地域住民・環境に配慮した持続可能な観光地域づくりを推進する。	・観光客の満足度75% (沖縄県:観光統計実態調査)	未公表	未
10 宮古島市	3	② クルーズ船受入体制強化事業	H29 ～ R8	クルーズ船観光客の受入体制を強化し観光誘客を図るため、観光案内所の運営、歓送迎セレモニーの開催、情報の発信・収集等を実施する。	クルーズ船観光客観光消費単価13,400円	未公表	未
10 宮古島市	3	③ 観光循環バス自走化実証事業	R4 ～ R6	観光客受入体制としての公共交通強化のため、交通事業者や観光関連事業者等が連携・協働した民間主体による市内観光循環バスの自走化運行を実現する。	事業採算性の改善を図るため、過年度実証結果を基にしたルート・ダイヤの運行をした上で、本格運行を実施するルート・ダイヤの選定を行う。	事業採算性の改善を図るため、過年度実証結果を基にしたルート・ダイヤの運行をした上で、本格運行を実施するルート・ダイヤの選定。	◎
10 宮古島市	4	① 八重干瀬及び周辺地域自然環境保全活用促進事業	R4 ～ R9	国指定文化財(名勝及び天然記念物)となっている八重干瀬の国定公園等への指定を目指すため、八重干瀬とその周辺地域について自然資源の現況を把握し、保全活用体制の整備を図る。	①約3.9万haの対象地域のうち、約10m以浅の海域及び隣接沿岸域について、魚類・海藻類、池間湿地等を主とした生物群集特性を明らかにする。 ②R5年度業務の成果について、市民等を対象とした報告会を2回開催する。	①対象域の生物群集特性の把握 ②2回開催	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
10 宮古島市	4 ②	宮古馬利活用スタートアップ事業	R5 ～ R6	宮古馬を広く利活用していく上では、利活用従事者を増やし、観光に供する施設の整備が必要となる。本事業では、宮古馬を観光利用していくためのスタートアップとして、城辺長間の放牧場での観光客向けの利活用事業を開始し、アンケート調査などをおとして、充実した本利用に活かしていく。	宮古馬の利用者1000人	宮古馬の利用者2048人	◎
10 宮古島市	4 ③	宮古島市歴史文化活用推進事業	R5 ～ R9	宮古島市には芋麻績み文化や埋蔵文化財などの分野において、宮古島市独自の文化の形成が認めらる。本事業では、これらの独自の文化の魅力発信を行い、市民及び観光客へその歴史文化の周知と活用の促進を図る	宮古島市歴史文化資料館の入館者数:5000人	宮古島市歴史文化資料館の入館者数:3124人	未
10 宮古島市	4 ④	宮古島市総合博物館デジタル・ミュージアム推進整備事業	R5 ～ R7	宮古島市総合博物館における継続的なデジタルアーカイブの構築、公開、継続的な運用のための基盤を整備する。これに加え、博物館資料のデジタル化を行い、公開用コンテンツを作成、公開する。令和6年度は、令和7年度の公開・運用に先立ち、①データ整備とコンテンツ作成、②これらのデータを管理・公開するためのシステム導入、③公開のための具体的な運用方法を決定する。	①導入システムへのデータ移行完了 ②業務におけるシステム活用(120件) ③デジタル・ミュージアム運用方法の決定	①導入システムへのデータ移行完了 ②業務におけるシステム活用(57件) ③デジタル・ミュージアム運用方法の決定	○
10 宮古島市	5 ①	地産地消による地域内経済循環システム構築事業	R4 ～ R8	市内で消費する食料は、多くを域外から調達しており、地域経済の流出が生じていることから、地産地消による地域内経済循環促進と生産者及び関連事業者の所得向上を図るため、学校給食等における地産食材活用の推進、地産地消ムーブメントづくり、地域経済循環分析などに関するシステム作りを推進する。	学校給食における地産食材利用率の向上(20%以上)	学校給食における地産食材利用率…27%	◎
10 宮古島市	5 ②	“宮古島産の牛”生産推進事業	R4 ～ R13	肉用牛の生産拡大を図るため、素牛増産及び売上増加に向けた支援を行う。	○素牛の年間出荷頭数 3,806頭 ○素牛の平均販売価格 482千円	○素牛の年間出荷頭数 3,716頭 ○素牛の平均販売価格 473千円	○
10 宮古島市	6 ①	救命処置普及強化支援事業	H28 ～ R13	市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組み、観光客や市民の安全の確保を図る。	○救命講習会受講者数 1500人 ○救命講習受講者へのアンケートで適切な応急手当が理解できたか…80%	○救命講習会受講者数 1973人 ○救命講習受講者へのアンケートで適切な応急手当が理解できたか…88%	◎
10 宮古島市	6 ②	緊急車両(消防ポンプ自動車)導入事業	R6 ～ R6	緊急車両(消防ポンプ自動車)を更新し、災害時の被害軽減等、防災体制の向上を図る。	池間詰所緊急車両(消防ポンプ自動車)導入事業完了	－	繰

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「―」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
10 宮古島市	6 ③	下地島空港周辺観光地における津波避難困難地域解消手法検討事業	R6 ～ R6	下地島空港周辺観光地における津波避難困難地域の解消に向けた取組を行う。	津波避難困難区域解消基本計画策定完了	津波避難困難区域解消基本計画策定完了	◎
10 宮古島市	7 ①	選手派遣支援事業	H24 ～ R13	島外との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、スポーツや文化活動において、県大会や全国大会へ派遣される際の旅費の一部を補助する。	児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、回収した保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方を検証する	アンケートの実施・検証	◎
10 宮古島市	7 ②	課題を抱える児童生徒の支援事業	H24 ～ R13	生徒指導上課題のある児童生徒に対し、生活環境改善のため、個々に応じた支援の充実に向けて、スクールソーシャルワーカー及び社会福祉士を教育委員会に設置するとともに、課題を抱えた児童生徒に対しては、適切な指導・支援の取り組み強化のため、学習支援員を在籍する学校に配置する。	不登校児童生徒のうち、登校復帰または学びの場へ繋がった児童生徒の割合60%以上	不登校児童生徒のうち、登校復帰または学びの場へ繋がった児童生徒の割合35%	未
10 宮古島市	7 ③	学校ICT機能強化整備事業	R6 ～ R8	「個別最適な学び」・「協働的な学び」の推進を図る上で、機能強化として校内ネットワークへの接続や学習者用端末と連携が可能な電子黒板や書画カメラなどを整備する。	学校ICT機能強化に必要な機器の整備:125台	学校ICT機能強化に必要な機器の整備:125台	◎
10 宮古島市	8 ①	宮古島市ひとり親家庭生活支援事業	R5 ～ R9	ひとり親家庭世帯の自立を図るため、自立に向けた具体的な目標及び意欲のある世帯に対し、民間アパートを活用した住宅支援や就労支援、子育て支援等を原則1年間行う	本事業により自立に向けて生活改善した世帯の割合 100%	本事業により自立に向けて生活改善した世帯の割合 100%	◎
11 南城市	1 ①	スポーツツーリズム推進事業	H24 ～ R13	プロサッカーチームのキャンプ誘致を図るため、市陸上競技場における天然芝の適正管理を行い、プロサッカーチームのキャンプ受入に適した環境整備を行う。	・プロ・サッカーチームのキャンプ誘致件数:3チーム以上	2チーム	未
11 南城市	1 ②	デジタルアーカイブ事業	H30 ～ R13	観光誘客を図るため、南城市に所在する文化財等をデジタルアーカイブ化し、ウェブ上で公開する。	・「なんじょうデジタルアーカイブ」「南城アーカイブツーリズム」の利用者数:延べ9,000人以上 ・「なんじょうデジタルアーカイブ」「南城アーカイブツーリズム」の閲覧数:73,000pv以上	・19,215人 ・135,555pv	◎
11 南城市	1 ③	南城市歴史文化発信事業	R4 ～ R9	南城市の文化財の活用や伝統芸能を体験・体感を通じた地域振興を図るため、歴史文化発信拠点を整備する。	・収蔵庫造成工事の完了 ・収蔵庫基本・実施設計の完了	―	繰

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
11 南城市	1 ④	奥武島いまいゆ市場観光施設機能強化事業	R4 ～ R6	奥武島いまいゆ市場に飲食スペースの整備を行い、施設の利便性を向上させることで、更なる県内外の観光客を誘客し地域の活性化を図る。	建築工事の完了	—	繰
11 南城市	1 ⑤	観光地美化等環境整備事業	H28 ～ R8	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、東海岸を望む道路沿線や景勝地の環境美化作業を行う。	・環境美化作業による草木処分量:26t/年	・83t	◎
11 南城市	2 ①	学習支援員配置事業	H25 ～ R13	児童生徒の学力向上を図るため、市内の小中学校に学習支援員を配置し、児童生徒の習熟の程度に応じた学習支援を行う。	・小学校:児童生徒理解度調査の算数の満足度:80%以上 ・中学校:沖縄県学力到達度調査における中学1年生の数学の県と本市との平均正答率の差:＋0.5ポイント以上	・85% ・－1.5ポイント	△
11 南城市	2 ②	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R13	特別な支援を要する園児・児童・生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、市内のこども園、小中学校に特別支援教育支援員を配置し、それぞれに対応した支援を行う。	・特別支援教育支援員の対応への満足度:80%以上	・80%	◎
11 南城市	2 ③	ICT支援員派遣事業	R3 ～ R7	ICT機器を活用したわかりやすい授業の構築を図り、教育の質を確保するため、市内の小中学校にICT支援員を派遣する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合:85%以上 ・教諭にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合:70%以上	・97.75% ・98.5%	◎
11 南城市	2 ④	不登校児童生徒支援体制強化事業	R3 ～ R10	不登校児童生徒に対する更なる支援体制を強化するため、校務支援システムの導入、適応指導教室・校内自立支援教室の設置、不登校支援員の配置等を行う。	・適応指導教室、校内自立支援教室の運営完了 ・不登校支援員の配置完了	・運営完了 ・配置完了	◎
11 南城市	3 ①	優良繁殖牛導入支援事業	H26 ～ R8	市内の肉用牛繁殖農家の経営の安定化に向けて、農家が生産する子牛の品質及び価格の向上を図るため、優良繁殖牛を貸し付けるものに対して支援を行う。	・導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合:117.1%以上	・113.7%	○
11 南城市	3 ②	優良乳用牛リース支援事業	H27 ～ R8	酪農家の経営安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の確保を図るため、優良乳用牛を導入し、市内の酪農家に貸し付ける。	・生産乳量(1頭):7,988kg以上/年 ・乳質(脂肪率):3.87%以上	・8,003.8kg ・3.95%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
11 南城市	3	③ 南城市耐候性野菜栽培施設整備事業	H27 ～ R6	気象条件に左右されにくい耐候性ハウスを整備することで、農家の生産量の増加及び南城市産野菜の産地形成を図る。	・耐候性ハウスの整備完了	・整備完了	◎
11 南城市	4	① 低炭素なまちづくり推進事業	H28 ～ R6	二酸化炭素排出量の削減を図るため、公共施設の照明機器や空調機器を省エネ型の機器に切り替える。	・空調機器改修工事の工事完了 ・照明機器の省エネ化によるCO2削減量:49.7t	・工事完了 ・49.7t	◎
11 南城市	5	① なんじょう歴史文化保存継承事業	H24 ～ R13	南城市の歴史・文化について調査研究を行い、冊子や学習会等で普及し、その継承を図る。	・学習会等への参加延人数:100人以上	・147人	◎
11 南城市	6	① 南城市農畜水産物利用促進拠点整備事業	R5 ～ R6	地元農畜水産物の高付加価値化に向けた加工品の製造・販売を行う利用促進拠点機能を有する観光交流施設を民間資金も活用して整備するため、用地購入及びマスタープランの作成を行う。	・用地購入の完了 ・マスタープラン策定の完了	・購入完了 ・策定完了	◎
12 国頭村	1	① 木育推進による誘客促進事業	R6 ～ R6	木育推進による観光誘客の促進を図るため、現在進められている「やんばる森のおもちゃ美術館」の施設拡充にあわせて、県産木材を活用した木のおもちゃ等の備品を整備し、施設の更なる魅力向上に繋げる。	備品購入業務の完了	－	繰
12 国頭村	2	① やんばるの自然環境保全事業	R4 ～ R6	世界自然遺産の認定を受けたやんばるにおいて、在来種への影響が大きい外来種の防除や希少な動植物の密猟等を未然に防ぐ取り組みを実施する。	・村内観光施設の外来植物減少率:70%以上 ・村営林道における無許可で設置されたトラップ:0件	・95.6% ・0件	◎
12 国頭村	3	① 国頭村農林水産物販売強化事業	R5 ～ R6	国頭村産農林水産物の新たな市場を獲得するため、国頭村産農林水産物の魅力を発信し、都心部での販売促進など販売力強化を図る。	・マンゴー単価:1,590円/kg ・タンカン単価:455円/kg	・2,000円 ・1,500円	◎
12 国頭村	4	① 星空観光推進事業	R5 ～ R6	国頭村が有する自然資源の中でも、新たな観光資源として注目を浴びている「星空観光」の魅力を発信し、さらなる事業推進を図る。	・やんばる学びの宿泊者数:20,400人以上 ・奥ヤンバルの里年間利用者数:4,800人以上 ・国頭村森林公園年間利用者数:13,600人以上 ・安田くいなふれあい公園年間利用者数:4,800人以上	・8,262人 ・5,047人 ・16,879人 ・45,613人	○

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
12 国頭村	5	① スポーツコンベンション観光振興事業	H25 ～ R6	冬春季におけるスポーツ合宿の受入件数の増に向け、受け入れ環境の充実を図るため、施設備品の整備を実施することにより、合宿誘致件数の増加及び施設の機能強化を図る。	施設整備用機械(エアロベーター)の購入 陸上競技場照明改修実施設計及び工事の完了 陸上競技場倉庫建築実施設計及び工事の完了	—	繰
12 国頭村	6	① 国頭村交通不便地域における2次交通実証事業	R5 ～ R6	国頭村地域に訪れる観光客の2次交通に係る利便性を確保するため、持続可能で安定した2次交通の導入に向けたコミュニティバスの実証実験を行う。	・実証実験の実施、評価及び推進協議会の開催	・全て実施	◎
12 国頭村	7	① 国頭村減災地域社会形成事業	R6 ～ R6	国頭村が設置する2箇所の道の駅における、災害発生時の避難所及び緊急避難場所としての機能を発揮するためのBCP(事業継続計画)を策定する。	道の駅BCP(事業継続計画)の策定完了	—	繰
12 国頭村	8	① 水産物加工強化事業	R6 ～ R6	水産物を燻製して本村の特産品を商品化しているが、コスト削減と作業効率を高めるため機械を導入する。	燻製機備品購入 加工品の生産性の増 3回/月	—	繰
12 国頭村	9	① 国頭村森林公園機能強化事業	R6 ～ R7	国頭村森林公園施設にトイレ施設を整備し施設を充実させることで利用者のサービス向上を図る。	実施設計の完了	—	繰
12 国頭村	10	① 国頭村公共施設低炭素化推進事業	R6 ～ R9	二酸化炭素の排出量の削減を図るため、公共施設等の照明機器を省エネタイプのLED照明に切り替える。	調査設計業務の完了	—	繰
12 国頭村	11	① 国頭村移住・観光等コンテンツ制作事業	R6 ～ R6	国頭村広報のためのデジタル等コンテンツを制作することで、イベント等で本村を体験することができ、観光及び定住のきっかけを作る。	体験型デジタルコンテンツ制作の完了	—	繰
13 大宜味村	1	① 大宜味村観光情報発信事業	H24 ～ R13	観光資源(文化財、自然資源、特産品、体験事業)などの情報をより効果的に広く発信し、大宜味村産業まつりへの支援を行う。また、大宜味村の認知度向上を図るため、県内外でPRイベントを開催し、情報発信を図っていく。	各実施イベント来場者数11,000人 大宜味村産業まつり来場者数5,000人	各実施イベント来場者数407,700人 大宜味村産業まつり来場者数4,326人	○

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
13 大宜味村	1 ②	環境保全・美化推進事業	H28 ～ R13	地域住民や観光客の安全確保及び貴重な野生生物の保護を図るため、ハブ、野良犬、野良猫対策を行う。保護した猫については譲渡強化を図る。	ハブ咬傷被害:0 ヤンバルクイナの生息率:33.3%以上 保護した猫の譲渡:100件以上	ハブ咬傷被害:0 ヤンバルクイナの生息率:59.0%以上 保護した猫の譲渡:38件以上	○
13 大宜味村	1 ③	ふるさと河川環境再生・活用整備事業	H26 ～ R9	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、大川川とその周辺整備を行う。	累計河川工事整備率 85% (2,198m/全体延長2,600m)	累計河川工事整備率 85% (2,198m/全体延長2,600m)	◎
13 大宜味村	1 ④	塩屋湾周辺整備計画策定事業	R4 ～ R6	本村の観光産業の振興を図り、かつ定住促進を進めるため、沖縄八景として指定されている塩屋湾の活用・整備等を示す塩屋湾基本構想計画を策定する。	塩屋湾水環境再生調査完了	－	繰
13 大宜味村	2 ①	学習支援員配置事業	H25 ～ R13	学力の向上を図るため、村内小中学校に学習支援員を配置する。	令和6年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 0ポイント以上 令和6年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 中学校 0ポイント以上	令和6年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 3.6ポイント以上 令和6年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 中学校 -1.1ポイント以上	△
13 大宜味村	2 ②	地域支援員配置事業	H25 ～ R13	不登校および不登校気味の児童生徒のニーズに対応した支援を行うことで、不登校に至らない支援を行う。	不登校出現率が全児童数の10%以下(小学校) 全児童数 134人 不登校出現率が全生徒数10%以下(中学校) 全生徒数 69人	不登校出現率が全児童数の10%以下(小学校) 0% 不登校出現率が全生徒数10%以下(中学校) 2.9%	◎
13 大宜味村	2 ③	「ぶながやの里」地域人材育成支援事業	H25 ～ R13	本村の自然や文化等についての学習機会を拡充し、人材の育成を図る。	講座受講者数:240名以上	講座受講者数:132名以上	△
13 大宜味村	2 ④	児童生徒等県外派遣支援事業	H26 ～ R13	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外で開催される運動競技又は文化関係の大会等への参加を支援する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が県内ではできない経験をしたことができたとの回答割合が80パーセント以上	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が県内ではできない経験をしたことができたとの回答割合が100パーセント以上	◎
13 大宜味村	2 ⑤	大宜味村海外短期留学派遣事業	R6 ～ R13	語学力の向上や海外での生活や体験を通して、国際感覚豊かな人材を育成を図る。	派遣された中高生の保護者へのアンケートで、参加者が県内ではできない経験をしたことができたとの回答割合が80パーセント以上	派遣された中高生の保護者へのアンケートで、参加者が県内ではできない経験をしたことができたとの回答割合が100パーセント以上	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
14 東村	1 ①	特別支援教育支援員配置事業	H27 ～ R13	教育上、特別な支援を必要とする児童生徒が円滑な学校生活を送れるように、在籍する小中学校において学習支援員を配置し、適切な学習環境を保持する。	支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へアンケート調査を実施し、当該事業のあり方について検証する。	保護者に対するアンケート調査での支援員に対する満足度:75%	○
14 東村	2 ①	東村自然環境保全事業	R3 ～ R8	貴重な漁場及び観光資源となる海を保全するとともに産業振興を図るため、赤土等流出が著しい古島川流域における土木的対策の実施設計を行い、赤土等流出の抑制を図るため検証事業を実施する。	R5年度に実施した測量実施設計を基に工事を実施する	—	繰
14 東村	3 ①	東村健康づくり事業	R3 ～ R6	村民の健康増進を図るため、健康器具を設置し、日ごろから利用しやすい環境を整備する。	健康器具設置工事の完了	健康器具の設置工事を完了させた。	◎
14 東村	4 ①	環境保全・ネコの適正飼養推進事業	R4 ～ R9	地域住民の安全確保及び世界自然遺産登録された貴重な自然生態系の保全のため、R4年度に実施した実態調査の結果を踏まえ、本村における飼いネコの適正飼養及び飼い主不明ネコ・地域ネコの譲渡強化を図る。	R6ネコの捕獲頭数45頭	ネコの捕獲頭数:45頭	◎
14 東村	5 ①	東村コミュニティバスデマンド化実証実験事業	R5 ～ R6	現在、定時運行している東村コミュニティバスの利便性向上を図り、利用者の拡大を目指すためデマンド化実証実験を行う。	東村コミュニティバス利用者へアンケートを実施し、利便性の向上を実感したものの割合を60%以上とする。	東村コミュニティバス利用者へアンケートを実施し、利便性の向上を実感したものの割合:71%	◎
14 東村	6 ①	避難経路整備事業	R5 ～ R6	地域住民及び観光客等の安心安全を確保するため、地震・津波災害時の避難経路を整備する。	整備工事の完了	整備工事を完了した。	◎
15 今帰仁村	1 ①	教育環境充実事業	H25 ～ R13	児童生徒、個々に応じたきめ細かなサポートを行うため、各小中学校に支援員を配置する。	対象となる児童生徒が学校生活や学習上の困難の改善を図ることができたか(90%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	対象となる児童生徒が学校生活や学習上の困難の改善を図ることができた割合:95%	◎
15 今帰仁村	1 ②	児童生徒等の県外派遣事業	H25 ～ R13	県外の人との競争や交流により、児童生徒の主体的なスポーツ競技への参画を後押しするため、村内児童生徒が各種スポーツ大会等に参加するための県外派遣の費用を支援する。	・事業申請(相談)件数:(15件以上) ・県外の人との競争や交流を通じて、児童生徒の主体的なスポーツ競技への参画につながったか(90%以上)	・事業申請(相談)件数:31件 ・児童生徒の主体的なスポーツ競技への参画につながったかと回答した割合:98%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
15 今帰仁村	1 ③	キャリア教育推進支援事業	R2 ～ R13	農業が基幹産業の本村にとって高校卒業を機に村外へ出る生徒が少なくない。キャリア教育を通し基礎的・汎用的能力を育み、地域の良さと長所を違う場所から見たり、新しい環境に適応できる人材を育成するため、県外の世界を体験させ、より幅広い視野と選択肢を見つけることができるよう、県外インターンシップ事業、プロデューサー育成事業等を行い、以て将来地域貢献・社会貢献できる人材の育成に努める。	就業に対する意識が向上したか(90%以上)を含め、各プログラムに参加した児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	就業に対する意識が向上したと回答した割合: 98%	◎
15 今帰仁村	1 ④	教育支援事業	R2 ～ R13	特別支援教育の体制整備を推進し特別支援教育の充実を図るため、巡回相談員や教育支援指導員を配置する。	対象となった児童生徒のうち、問題の解消や症状が改善したと判断した割合(67%以上)を含め、養護教諭や特別支援員へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	問題の解消や症状が改善したと判断した割合: 100%	◎
15 今帰仁村	1 ⑤	教育相談事業	R2 ～ R13	児童生徒の不登校や問題行動等に対するカウンセリング機能の充実を図る。	対象となる児童生徒の不登校や問題行動等の課題解決につながったかを含め、学校及び保護者に対するアンケート(80%以上)により本事業のあり方を検証する。	対象となる児童生徒の不登校や問題行動等の課題解決につながったと回答した割合: 90%	◎
15 今帰仁村	1 ⑥	中高生海外語学留学支援事業	H25 ～ R13	海外でのホームステイ等を通じ、外国文化の交流を行うことで、国際的な広い視野を持つ人材育成を図る。	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか(90%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業を検証する。	生徒の国際的な視野がより広まったと回答した割合: 100%	◎
15 今帰仁村	1 ⑦	人材育成事業	H24 ～ R13	南国沖縄県にとって、日本の北に位置する東北地方はまさに「異文化」であり、異なる環境で生活している同年代との交流を行うことにより、児童の視野を広げ教養に対する意欲を高めることで、人材育成を図る。	交流を通じて児童の異文化に対する視野が広がったか(90%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する。	交流を通じて児童の異文化に対する視野が広がったと回答した割合: 94.2%	◎
15 今帰仁村	2 ①	環境保全美化推進事業	H24 ～ R13	観光地として魅力的な景観形成を図るため、観光地及び観光ルートの美化を行う。	今帰仁城跡及び観光地等の美化を行い、観光地として魅力的な景観が確保されているか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	観光地として魅力的な景観が確保されていると回答のあった割合: 95.5%	◎
15 今帰仁村	2 ②	今帰仁城跡ガイド強化事業	H25 ～ R13	今帰仁城跡における無料案内ガイドの実施。またガイド内容の質向上を図るため、講演会や研修会を実施する。	ガイドによる来訪者の案内 10,000名	ガイドによる来訪者の案内 9,468名	○

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
15 今帰仁村	2 ③	今帰仁村着地型観光推進事業	R1 ～ R13	本村の着地型観光を促進するため、民泊事業者の受け入れ態勢強化及び誘致活動を行い新規教育民泊客の増加及びリピート校の確保を図る。	・民泊次年度 予約数13,500人、70校 ・2泊5食プランの増加 2件 ・リピート校の増加 2件	・民泊次年度 予約数12,745人、68校 ・2泊5食プランの増加 20件 ・リピート校の増加 20件	○
15 今帰仁村	2 ④	今帰仁村体験・滞在型観光推進事業	R3 ～ R13	本村における宿泊日数は1泊の場合がほとんどで、多くは素通り観光である。宿泊を伴う自然体験や生活体験等の地域資源を活かした体験プログラムを創出し、長期滞在を含む村内宿泊者数の増加を図る。	ガイド(人材)育成:20件 提携企業3社	ガイド(人材)育成:18件 提携企業0社	未
15 今帰仁村	2 ⑤	観光力基盤強化事業	H24 ～ R13	「体験滞在観光を促進する」「着地型・周遊観光を实践する」を基本方針として、観光振興を強化する。観光誘客を図るため、村内で実施するイベントを支援する。	・現代版組踊「北山の風」来場者数:1,150人 ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり来場者数:30,000人/日 ・今帰仁まつり来場者数:10,300人 ・今帰仁ハーリー大会来場者数:770人	・現代版組踊「北山の風」来場者数:969人 ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり来場者数:34,351人/日 ・今帰仁まつり来場者数:12,000人 ・今帰仁ハーリー大会来場者数:850人	○
15 今帰仁村	2 ⑥	観光地安全強化事業	H24 ～ R13	世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全の確保を図るため、繁忙期に駐車場、横断歩道等へ交通整理員を配置する。	交通整理員が配置された箇所における事故件数0件	交通整理員が配置された箇所における事故件数0件	◎
15 今帰仁村	2 ⑦	今帰仁城跡周辺環境整備事業	H24 ～ R12	魅力的な景観形成を図る為、河川全体の自然環境を最大限に活かし、景観に配慮した河川を整備を行う。今帰仁城跡周辺の景観を阻害している電柱の抜柱を行う。	全体計画における3.2%整備 (累積整備率75.9%)	全体計画における2.6%整備 累計整備率72.7%	○
15 今帰仁村	2 ⑧	景観形成強化事業	H24 ～ R13	魅力的な景観形成を図る為、観光アクセスルート且つ、村の昔ながらの景観が残る集落内を対象に、景観に配慮した道路整備を行う。	排水溝改修工事の完了 測量設計委託の実施	排水溝改修工事の完了 測量設計委託の実施	◎
15 今帰仁村	3 ①	今帰仁村優良繁殖雌牛導入支援事業	H25 ～ R14	安定した素牛生産地の確立に向け、素牛ブランドかを推進するため、優良繁殖雌牛を導入する際に支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 105%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 98%	未
16 本部町	1 ①	ハブ咬傷防止事業	H25 ～ R13	地域住民の生活圏や観光施設周辺などにおいて、ハブが多く出没していることから、捕獲器設置による駆除を実施することで、地域住民や観光客の咬傷被害防止を図る。	・ハブによる咬傷被害件数0件	・ハブによる咬傷被害件数0件:1件	未

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
16 本部町	1 ②	伝統興行観光化事業	H25 ～ R8	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」、「古典・民謡」等を新たな観光資源として活用し、ナイター闘牛や闘山羊大会、伝統芸能等の夜間イベントを定期開催することで、観光客の誘致を図る。	伝統興行来場者数:742人	伝統興行来場者数:472人	未
16 本部町	1 ③	もとぶマイクロツーリズム推進事業	R4 ～ R6	本町を訪れる観光客等に対し地域資源を案内するガイドツアーの企画・運営等を行う事務局員を配置し、観光ガイドの養成とスキルアップ研修を行い、地域住民主体のマイクロツーリズムの推進を図る。	モニターツアーの実施:10回	モニターツアーの実施:12回	◎
16 本部町	1 ④	もとぶ観光地クリーンアップ事業	R3 ～ R13	本県は亜熱帯性気候に属し、年間をとおして至るところで雑草が繁茂している状況である。年間500万人(平成29年度)が訪れる観光立町として観光地や観光地アクセス道路の環境美化を図るため、作業員を配置し年間を通してクリーン作業を行う。	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客や町民へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。:80%	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客や町民へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。:89%	◎
16 本部町	1 ⑤	花いっぱい運動の推進事業	H24 ～ R13	観光地としての魅力的な景観形成を図るため、国道及び県道沿い等に花木の植付を行い、花いっぱいの環境づくりを行う。	観光地の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じたか(80%以上)を含め、観光客に対するアンケートにより、本事業のあり方を検証する。:80%	観光地の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じたか(80%以上)を含め、観光客に対するアンケートにより、本事業のあり方を検証する。:81%	◎
16 本部町	1 ⑥	本部町観光誘客周遊バス実証事業	R5 ～ R7	二次交通の整備による観光客の移動手段を確保するため、町内の観光施設等を巡る周遊バス運行に向けた実証実験を行う。	周遊バスの利用者数:13,400人	周遊バスの利用者数:16,234人	◎
16 本部町	2 ①	もとぶブランド牛改良促進事業	R4 ～ R7	肉用牛生産農家及び農業生産法人で生産する牛のブランド化に向けた改良を促進するため、採卵用優良雌牛の導入の支援及び人工授精等の支援を行う。	人工受精卵の移植1件以上	人工受精卵の移植1件以上:4件	◎
16 本部町	2 ②	メイドイン・もとぶ産品成長産業化推進事業	H28 ～ R8	本部町の地域の特性を活かしたもとぶ産品のPRや販売支援員の配置、町産品活用推進に向けた企画制作の販促支援、物産展等への出展等を支援し、もとぶ産品の新規取引先の拡大を図る。	新規取引契約数 10件以上	新規取引契約数 10件以上:18件	◎
16 本部町	3 ①	テレワーカー人材育成事業	R4 ～ R6	町民を対象にテレワークに関する講習から就労支援までを一体的に実施することで、テレワーカー人材の育成を図る。	テレワーカーとして就労した人数(受講者の29%以上)	テレワーカーとして就労した人数(受講者の29%以上):37.5%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
16 本部町	4 ①	本部町学力向上学習支援事業	H26 ～ R13	町内小・中学校に学習支援員等を配置し、国語、算数・数学、英語及びその他の主要教科において児童生徒の学力に応じた個々の学習指導等を行うことにより、学力の向上を図る。	令和6年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 -7.8ポイント以上 ・令和6年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 中学校 -5.6ポイント以上	令和6年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 -7.8ポイント以上:-8.3 ・令和6年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 中学校 -5.6ポイント以上:-4.07	△
16 本部町	4 ②	特別支援教育環境充実事業	H28 ～ R13	特別な支援を要する園児児童生徒(心身の障害及び発達障害)に対し、特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラーを配置することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、園児児童生徒の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、園児児童生徒の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。:84%	◎
16 本部町	4 ③	本部つ子短期留学チャレンジ事業	H27 ～ R13	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、夏休みを利用し町内中学生を英語圏へ短期間派遣または県内での宿泊英語学習を行う。	短期留学から帰国した生徒の国際的な視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する	短期留学から帰国した生徒の国際的な視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する:100%	◎
16 本部町	4 ④	児童、生徒の派遣費補助事業	R6 ～ R13	児童、生徒の県内離島又は県外での、スポーツ及び文化的活動での競争や交流の場を増やし、児童生徒に広い視野を持たせる。	派遣後の児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートより、本事業のありかたを検証	派遣後の児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートより、本事業のありかたを検証:100%	◎
16 本部町	5 ①	低炭素なまちづくり推進事業	R5 ～ R7	二酸化炭素の排出量の削減を図るため、公衆街灯路や公共施設等の照明機器を省エネタイプのLED照明に切り替える。	R6年度中に切り替えるLED照明による二酸化炭素排出量の削減19.51t-CO ₂ /年	R6年度中に切り替えるLED照明による二酸化炭素排出量の削減(19.51t-CO ₂ /年):16.59t-CO ₂	○
17 恩納村	1 ①	観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業)	H24 ～ R13	村全域において、ハブ等の危険生物が多く出没しているため、観光客や地域住民の咬傷被害防止を図るため、村南部地域(宇加地～仲泊地区)、名嘉真地域を重点的に村内全域に捕獲器を設置し、台湾ハブ等のハブ駆除を行う。	捕獲機設置周辺における咬傷被害件数:0件	捕獲機設置周辺における咬傷被害件数:1件	未
17 恩納村	1 ②	恩納村観光誘客・おもてなし推進事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、イベント及びプロモーション活動を実施する。また観光客の利便性確保を図るため、村の観光案内所である文化情報センターへ観光案内人を配置する。	・イベント入場者数:13,200人以上 ・村内主要ホテルへの年間宿泊客数:230万人以上 ・観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、観光案内所を訪れた観光客等にアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	・イベント入場者数:11,190人 ・村内主要ホテルへの年間宿泊客数:252万人 ・観光客の利便性が確保されたかと回答した割合:84%	○

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
17 恩納村	1 ③	赤間総合運動公園機能強化整備事業	R4 ～ R13	スポーツ合宿の受け入れ環境の向上などを目的に赤間総合運動公園の機能強化整備を行っていく。	2件の整備工事の完了	2件の整備工事の完了	◎
17 恩納村	2 ①	特別支援教育支援員配置事業	H29 ～ R13	特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。	特別支援員の対応について、保護者等を対象にアンケートを実施： 学校生活や学習上の困難の改善が図られた等の肯定的な回答80%以上 アンケート結果を含め、本事業のあり方について検証する。	学校生活や学習上の困難の改善が図られた等の肯定的な回答：83.9%	◎
17 恩納村	2 ②	学校ICT支援員配置事業	R5 ～ R13	小中学校にICT支援員を派遣し、教員がICT機器を授業等で活用できるようサポートを行い、教員のICT活用指導力の向上を図るとともに学校現場のICTを推進する。	ICT支援員の対応で教員のICT活用指導力の向上等が図られたか(80%以上)を含め、教員へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	ICT支援員の対応で教員のICT活用指導力の向上等が図られたと回答した割合：90%	◎
17 恩納村	2 ④	日本語通級指導教室補助員配置事業	R5 ～ R13	外国籍児童の学習や学校生活の対応のため、英語の堪能な日本語指導教室補助員を配置する。	日本語通級指導教室補助員の対応で学校生活や学習上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、対象となる児童生徒等の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	日本語通級指導教室補助員の対応で学校生活や学習上の困難の改善が図られたと回答した割合：100%	◎
17 恩納村	3 ②	恩納村防災事業	H24 ～ R13	大規模自然災害が発生したと想定し各自治会、観光事業所等と連携し、避難訓練及び避難所運営訓練を実施する。又、防災倉庫や備蓄品を整備し、災害に強いまちづくりを推進する。	・防災訓練の参加人数：100名 ・防災倉庫の設置、 備蓄食糧及び資機材等の整備：食料2,100食	・防災訓練の参加人数：159名 ・防災倉庫の設置、 備蓄食糧及び資機材等の整備：食料6,300食	◎
17 恩納村	5 ①	地域特産品等開発支援事業	R5 ～ R13	地域資源を活用した商品やレシピの開発、販売促進を支援することで地域経済等の活性化を図る。	開発された商品：5品	開発された商品：5品	◎
17 恩納村	5 ②	恩納村産業まつり実施事業	R5 ～ R13	本村で生産される農畜産物・水産物・加工品・お土産品・観光物産等を一堂に展示、販売、村内外へPRし、生産者及び事業者の売上向上に資することを目的に「恩納村産業まつり」の開催に係る運営費を実行委員会に補助する。	来場者数：4,500人	来場者数：4,110人	○
17 恩納村	6 ②	恩納村各種競技等の県外派遣に関する支援事業(部活外)	R5 ～ R13	本村の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表として県外大会へ出場する際の必要な派遣費の助成を行う。	派遣された生徒の自立や意欲、競争能力が向上したか(保護者アンケート)：80%以上	派遣された生徒の自立や意欲、競争能力が向上したか(保護者アンケート)：100%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
17 恩納村	6 ③	恩納村アメリカホームステイプログラム派遣費支援事業	R5 ～ R13	次代を担う中・高生をアメリカ合衆国へ派遣することで、国際性豊かな視野を身につけ、国際交流推進の担い手となる人材育成を図るとともに、国際共通言語といわれる英語を直接現地で体験することで、観光立県を目指す沖縄県全体の振興に資する次世代の人材育成を図る。	アンケートで帰国後、国際性豊かな視野を身に付けることができたかと回答した割合80%以上	アンケートで帰国後、国際性豊かな視野を身に付けることができたかと回答した割合:80%	◎
17 恩納村	6 ⑤	学力向上支援員配置事業	R5 ～ R13	授業における学習指導を補助し、学習内容の定着と思考力、判断力、表現力等の育成のために、恩納村内の小中学校5校に学力向上支援員各1名配置する。	各学校全国学力学習状況調査の結果を全国水準を目標とする。全国平均との正答率の差5%以内とする。	全国平均との正答率の差:-3.1%	◎
17 恩納村	8 ①	恩納村施設型共同墓新築事業	R6 ～ R7	個人墓の散在化を予防し、土地の有効活用や墓主の負担軽減、景観悪化の防止のため施設型共同墓(納骨堂)を整備する。	実施設計業務の完了	実施設計業務の完了	◎
18 宜野座村	1 ①	阪神タイガース春季キャンプ受入事業	H24 ～ R13	阪神春季キャンプ受入による観光誘客を図るため、テント、グラウンド等を整備し受入体制を強化する。	・阪神春季キャンプ見学者数(80,000人)	・阪神春季キャンプ見学者数:93,250人	◎
18 宜野座村	1 ②	宜野座村文化のまちづくり魅力発見事業	H24 ～ R13	村民が質の高い芸術公演に触れる機会の確保及び、村外からの誘客を図るため、宜野座村文化センターがらまんホールを中心に芸能文化・伝統芸能公演等の実施及び映像配信を行う。	・芸術文化・伝統芸能公演の集客数(3,061人以上) ・お出かけ公演対象者数(3,188人以上)	①芸術文化・伝統芸能公演の集客数:3,638人 ②お出かけ公演対象者数:7,179人	◎
18 宜野座村	1 ③	宜野座村着地型観光誘客推進事業	H25 ～ R13	本村の魅力ある観光資源の発信を目的としたプロモーション活動を実施するとともに、観光プログラムの開発や観光イベントの企画、人材育成の強化など着地型観光の推進に向けた取組を実施する。	宜野座村の観光入客数 (20万人)	宜野座村の観光入客数:21.7万人	◎
18 宜野座村	1 ④	宜野座村美ら島花火大会事業	H28 ～ R13	スポーツが盛んな秋の行楽シーズンに、プロ野球阪神タイガースのキャンプ施設等のある農村公園を中心とした場所で大花火大会を開催し、宜野座村の魅力を発信することにより観光誘客を図る。	美ら島花火大会集客数(15,150人/2日間)	美ら島花火大会集客数:16,236人	◎
18 宜野座村	1 ⑤	農村沿道景観向上事業	H31 ～ R12	村内の観光ホテル、民泊等の宿泊施設周辺の観光客散策ルートの除草等を実施し、安全で快適な散策ができ、観光地として魅力的な景観形成を図る。	安全で快適な散策ができ、観光地として魅力的な景観であったか(80%以上)を含め、観光客に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	観光客へのアンケート結果(安全で快適な散策ができ、観光地として魅力的な景観であったか):81%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
18 宜野座村	2 ①	小学校学力向上対策事業	H24 ～ R13	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながら授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を小学校に配置し、個々の児童の学力に応じた学習指導等を行う。	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上を目指す。(差0ポイント以上) 小学校 5年・6年(算数)	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の県平均との差 5年算数(-0.4) 6年算数(-3.0)	未
18 宜野座村	2 ②	中学校学力向上対策事業	H24 ～ R13	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながらチームティーチングによる指導を行い、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を中学校に配置し、生徒の学力に応じた個々の学習指導等を行う。	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上を目指す。(差0ポイント以上) 中学校2年(英語、国語、数学)	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の県平均との差 中2国語(-8.3) 中2数学(-1.8) 中2英語(-7.5)	未
18 宜野座村	2 ③	幼稚園預かり保育事業	H24 ～ R13	保護者が安心・安全に園児を預けることができ、育児における負担感の軽減を図るため、公立3幼稚園において預かり保育を実施する。	保護者が安心・安全に子どもを預け、育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、対象園児の保護者へネットアンケートを実施し、本事業の在り方を検証する。	保護者へのアンケート結果(安心・安全に子どもを預け、育児の負担感が軽減されたと感じたか):100%	◎
18 宜野座村	2 ④	宜野座村ジュニア海外語学研修派遣事業	H28 ～ R13	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、夏休み期間中に、中・高校生8名を英語圏へ派遣する。	帰国後、保護者へアンケートを実施し、生徒の国際的な視野がより広まったか(80%以上)を中心に、本事業のあり方を検証する。また、研修生OBへ追跡調査として、アンケートを実施し、本事業のあり方の検証を行う。	保護者へのアンケート結果(生徒の国際的な視野がより広まったか等):100%	◎
18 宜野座村	3 ①	有機の里宜野座村確立事業	H24 ～ R13	有機の里宜野座村を目指し、沖縄県環境保全型農業推進協議会の認証を受けたエコファーマーの増加並びにエコ農産物の販売量の拡大を図るため、減農薬や減化学肥料による環境保全型農業を推進する。	①エコファーマー認定数 (3名) ②エコ農産物販売目標 (116t)	①エコファーマー認定数:3名 ②エコ農産物販売目標:32.0t	△
18 宜野座村	4 ①	観光景観向上対策事業	H27 ～ R13	観光地の景観向上を図るため、監視カメラを設置及び観光ルートに専属の監視員を配置し、観光地に放置された不法投棄物の撤去等を実施する。	・観光地における不法投棄件数:0件/年	観光地における不法投棄件数:0件	◎
18 宜野座村	4 ②	危険生物駆除捕獲事業	H27 ～ R13	観光地におけるハブやハチ等の咬傷事故を未然に防ぎ、観光客や修学旅行生等の安全を確保するため、危険生物捕獲・駆除及びバトロールを行う。	観光客及び住民のハブの咬傷件数:0件	観光客及び住民のハブの咬傷件数:0件	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
18 宜野座村	5	① 宜野座村企業誘致推進事業	H28 ～ R13	定住人口増加の基盤となる雇用の創出を促進するため、企業誘致活動・広報活動等を行う。	①県内外のITイベントへのPRブースへの来場者数:200名 ②宜野座村への招聘セミナー及びワーケーションの実施。 20名/10社	①県内外のITイベントへのPRブースへの来場者数:292名 ②招聘セミナー及びワーケーションの参加者数:14名/13社	○
18 宜野座村	6	① 世界のギノザンチュ子弟研修生受入事業	H29 ～ R13	海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、宜野座村出身の海外移住者子弟を受け入れ、研修及び、村民との交流を行う。	受入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含めアンケートにより本事業のあり方を検証するとともに村人会へのアンケート調査も追加して本事業の成果を量る。	研修生及び村人会へのアンケート結果(受入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか):100%	◎
18 宜野座村	7	① 小中高キャリア教育支援事業	R3 ～ R13	児童生徒の就業意識の向上を図るため、産学官が連携したキャリア教育支援を行う。	対象校の児童生徒に事前・事後アンケートを実施し、就業意識が向上したと回答した割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	対象校の児童生徒へのアンケート結果(就業意識が向上したか):83%	◎
18 宜野座村	8	① 宜野座村新しい地域公共交通導入検討事業	R5 ～ R9	公共交通実証実験を行い、宜野座村内に居住する交通弱者の移動手段の需要を把握する。	交通弱者利用登録者累計 230名以上	利用登録者数:250名	◎
18 宜野座村	9	① 防犯灯脱炭素化推進事業	R5 ～ R10	環境に優しく、脱炭素化に寄与するLED照明器具を整備し、環境負荷を低減を図る。	年間CO2排出量を脱炭素化工事前と比較して約6割削減	年間CO2排出量削減割合:66.8%	◎
19 金武町	1	① プロスポーツ受入事業	H28 ～ R13	プロスポーツキャンプを継続して受け入れる基盤強化を図るため、体育施設の芝管理等を行う。	R6年度プロチームキャンプの受入4チーム以上受入チーム全体の観客数26,235名以上	R6年度プロチームキャンプの受入6チーム以上受入チーム全体の観客数33,655名	◎
19 金武町	1	② 金武町観光振興等推進事業	H31 ～ R8	観光誘客及び観光客の利便性向上を図るため、誘客プロモーションや観光案内・情報発信等を実施する。	①観光物産PR 6回以上 合計来店者数 3,300人 ②イベント7回以上 合計来場者数13,900人	①合計来店者数 4,530人 ②合計来場者数15,050人	◎
19 金武町	1	③ 金武町ベースボールスタジアム機能高度化事業	R3 ～ R7	金武町ベースボールスタジアムを活用した観光客誘客及び利用者の増加を図るため、周辺環境整備等の機能高度化を実施する。	周辺環境整備工事(外野スタンド改修工事)・サブグラウンド防球ネット設置工事の完了	工事の完了	◎
19 金武町	2	① 金武町就職活動支援補助事業	H27 ～ R8	町民の雇用拡大を図るため、求職者等に対する職業相談等を行う。また、求職者及び町内事業所の従業員のスキルアップを目的とした各種講座の開催や児童・生徒の就職意識向上を図るためのキャリア教育を行う。	・就業率10% ・資格取得率80%以上 ・キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%)を含め、当該事業のあり方を検証する。	・就業率5.96% ・資格取得率86% ・キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか97%	○

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
19 金武町	2 ②	観光地周辺環境美化事業	R5 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地及び観光地へのアクセス道路の環境美化を行う。	本町が観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	本町が観光地としてふさわしい景観であるか94.76%	◎
19 金武町	3 ①	小中学校学習等支援事業	H24 ～ R13	児童・生徒の学力(英語)の向上を図るため、日本人英語指導員・外国人英語指導助手・英語コーディネーターを配置する。	児童・生徒にアンケートを実施し英語の授業は楽しかったと回答した割合が95%以上	児童・生徒にアンケートを実施し英語の授業は楽しかったと回答した割合が86.9%	○
19 金武町	3 ②	特別支援教育支援事業	H24 ～ R13	支援を必要とする幼児・児童・生徒の学習、学校生活等における困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。	特別支援教育支援員の配置により学校生活や学習上の困難が改善されたか(80%)以上を含め、対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで本事業のあり方を検証する。	特別支援教育支援員の配置により学校生活や学習上の困難が改善されたか91%	◎
19 金武町	3 ③	金武町ハワイ短期留学派遣事業	R2 ～ R13	現地での授業やホームステイでの生活の中で、より実践的な英語を学ぶ・体験することにより幅広い視野と国際感覚を養うことで、時代のニーズに対応する人材の育成を図る。	短期留学から帰国した生徒の国際的な視野が広がったと感じたか(80%以上)を含め、生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	短期留学から帰国した生徒の国際的な視野が広がったと感じたか100%	◎
19 金武町	3 ④	金武町立学校ICT機器機能強化事業	R6 ～ R10	画面の明瞭さや円滑な画面の切り替えなどよりわかりやすい授業の実施を目指し、児童・生徒の学習習熟度の向上に寄与すること目的として、町内各小中学校へテレビ型電子黒板を整備する。	児童・生徒にアンケートを実施し、テレビ型電子黒板を活用した授業がわかりやすかったと回答した割合80%以上	児童・生徒にアンケートを実施し、テレビ型電子黒板を活用した授業がわかりやすかったと回答した割合97%	◎
19 金武町	4 ①	金武町海外移住者子弟等研修生受入事業	H29 ～ R12	海外と本町を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、海外移住者子弟等研修生を受け入れる。	研修生が所属する各国金武町人会にアンケートを実施し、「研修に参加した子弟が、帰国後本町と移住国におけるネットワーク強化に貢献できる人材として、活動できているか」について80%以上を目指し、当該事業のあり方を検証する。	研修生が所属する各国金武町人会にアンケートを実施し、「研修に参加した子弟が、帰国後本町と移住国におけるネットワーク強化に貢献できる人材として、活動できているか」について100%	◎
19 金武町	4 ②	金武町移民の日記念事業	H29 ～ R12	ウチナーンチュの移民のはじまりや移民事業に尽力された本町出身の當山久三の功績を伝えるため、金武町移民の日記念事業を実施し、移民の歴史を次世代に継承する。	①移民の日関連事業参加者数:延約500人以上	①移民の日関連事業参加者数:175人	未
20 伊江村	1 ①	伊江村ハブ対策事業	H27 ～ R13	本村に生息するハブによる健康被害から村民及び観光客を守るため、生息地となっている観光地や海岸沿いの清掃を行い、ハブが住処を作りにくい環境を整備する。また、捕獲器を設置しハブの捕獲駆除に取り組む。	・ハブ咬傷による健康被害0件	ハブ咬傷による被害件数0件	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
20 伊江村	2 ①	伊江村自動車航送コスト負担軽減事業	H26 ～ R13	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。そのため、自動車航送運賃コスト負担の軽減を目的に助成を行うことで定住条件を改善し、「住みよい村づくり」の振興を図る。	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、村民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(100%)	◎
20 伊江村	3 ①	村花・世界のゆり植栽推進事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、村花であるテッポウユリと世界のゆり球根を購入し、花の島づくりを推進する。	令和6年度第27回伊江島ゆり祭り来場者数 R6年 30,000人	令和6年度第27回伊江島ゆり祭り来場者数 R6年 12,300人	△
20 伊江村	3 ②	観光地クリーン事業	H27 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成及び観光客数の維持・増加を図るため、観光地の環境美化及び保全をし、観光客の受け入れ体制を強化する。	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	魅力的な観光地として景観形成が図れたか(100%)	◎
20 伊江村	3 ③	観光誘客整備事業	H26 ～ R13	県内外のイベントに参加し、本村の魅力を発信することで観光誘客を図る。また、夏場の観光客を呼び込むため観光誘客イベントの実施しや、観光誘導サイン整備を実施し来島者の満足度向上を図る。	①伊江村の入域観光客数13万人 ②観光客の利便性確保(アンケート満足度80%以上)	①93,000人 ②観光客へ利便性(満足度)が確保されたか(100%)	○
20 伊江村	3 ④	ゆり祭り活性化推進事業	R1 ～ R13	村の一大イベントである伊江島ゆり祭りを活性化させるため、祭りイベントの企画・運用及び会場までの無料送迎バスを活用した取り組みを行う。伊江島ファンを増やすことで、根強い魅力ある祭りへ展開することができる。	令和6年度第27回伊江島ゆり祭り来場者数 R6年 30,000人	令和6年度第27回伊江島ゆり祭り来場者数 R6年 13,000人	△
20 伊江村	4 ①	確かな学力を育む学習支援員配置事業	H25 ～ R13	学習支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	・小学校・中学校共に沖縄県学力到達度調査での県平均正答率を上回る。	・小学校・中学校共に沖縄県学力到達度調査での県平均正答率を上回る。	未
20 伊江村	4 ②	各種大会派遣費助成事業	H25 ～ R13	村外の児童生徒との競争や交流の機会を増やし、広い視野を持たせるため、本村の児童生徒のスポーツ活動・文化活動等において、地区大会や県大会等への派遣旅費について支援する。	・対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	対象児童の視野が広がったか(90%)	◎
20 伊江村	5 ①	伊江村型就業意識向上支援事業	H28 ～ R13	高校進学等のため、中学卒業と同時に親元を離れ、1人で生活することを余儀なくされる島の子どもたちへ、将来への習得や就業意識の向上を図るため、キャリア教育や職業人講話等を実施する。	・就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	就業意識が向上したか(92%)	○

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
20 伊江村	6	① 伊江村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業	R2 ～ R7	村内の戦跡保存及び周辺整備・安全柵・案内板・説明版等を設置し、歴史の生きた教材として平和学習に活用する。	整備工事の実施完了	完了	◎
20 伊江村	7	① ICT支援員配置事業	R3 ～ R7	教師がICT機器を活用した分かりやすい授業を行い、児童生徒の興味・集中力を高め、学力の向上を図る。 また、教員のICT機器の習熟及びICT機器を活用した授業や学習教材等を効果的かつ持続して実施できるよう、小中学校に教員をサポートするICT支援員を配置する。	①児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上) ②教員にアンケートを実施し、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)	①児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(87%) ②教員にアンケートを実施し、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(93%)	◎
20 伊江村	8	① ひとり親世帯等学童利用支援事業	R4 ～ R6	ひとり親世帯等の育児の負担軽減を図るため、学童保育施設がひとり親世帯等の学童利用者に対して利用料を減免した場合に補助を行う。	安全・安心に子どもを預けることができ、子育てへの負担が軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	安全・安心に子どもを預けることができ、子育てへの負担が軽減されたか(100%)	◎
20 伊江村	9	① 伊江村循環型農業促進事業	R4 ～ R6	堆肥製造体制を強化し、安定的な堆肥供給を行う事で循環型農業の促進を図る。	堆肥製造量 R6年 3,000t	堆肥製造量 R6年 2,500t	○
20 伊江村	10	① 優良繁殖雌牛預託増頭支援事業	R5 ～ R7	本村における肉用牛生産業基盤の維持並びに、繁殖雌牛飼養頭数の増頭を目的として、村内の肉用牛生産者が生産する子牛の品質及びセリ販売価格向上に繋がる、優良繁殖素牛(雌子牛・初妊牛)をセリ市導入する生産者に対し、本村畜産総合施設への預託を条件に、導入価格の支援を行う。	活動目標指数(年間:70頭導入)の達成 (優良繁殖雌牛70頭導入し、繁殖雌牛飼養頭数拡大及び優良遺伝素牛の増加が期待され、子牛市場上場頭数の拡大及び伊江村畜産総合施設の利用促進を図る。)	72頭導入	◎
20 伊江村	11	① 伊江村緊急車両(水槽付消防ポンプ自動車)導入事業	R6 ～ R6	伊江村緊急車両(水槽付消防ポンプ自動車)を導入し機能強化することにより、災害発生時における初動体制、防災体制の強化を図り、安心、安全に暮らせる地域づくりに取り組むことで、過疎地域における定住条件の整備を図る。	消防団訓練の実施 12回以上/年	1回	未
21 読谷村	1	① 危険生物駆除事業	H25 ～ R13	より安全な観光地を目指し、来村する観光客や村民をハブの咬傷被害から守るため、捕獲器を設置し継続的なハブの捕獲、駆除、注意喚起を実施する。	村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数:0件	村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数:2件	未

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
21 読谷村	1 ②	読谷村スポーツコンベンション 促進事業	H24 ～ R6	スポーツキャンプ等の誘致を促進し、地域への波及 効果を高める取り組みを行う。また、キャンプチーム 本拠地等でファン層に向けた観光・物産PRを実施 し、観光誘客を図る。	スポーツコンベンション受入件数18以上 県外誘客イベントPR観客数8,000名以上 キャンプ期間中の来場者数20,000人	スポーツコンベンション受入件数16 県外誘客イベントPR観客数50,768名以上 キャンプ期間中の来場者数27,000人	○
21 読谷村	1 ③	農村風景環境保全事業	R6 ～ R13	観光地周辺道路等の環境保全(除草・清掃・剪定) を行い、本村の魅力ある沖縄らしい農村風景を保全・ 活用することで、快適で魅力ある観光地づくりを図 る。	農村環境について、観光地としてふさわしい農村 風景になっているかについてアンケート等実施。 観光地としてふさわしいと回答した割合80%を目 標とする。	。観光地としてふさわしいと回答した割合100%	◎
21 読谷村	1 ⑤	残波岬ボールパーク機能強化 事業	R6 ～ R6	残波岬ボールパークの機能強化により、利活用の 向上を図るとともに、スポーツコンベンション誘致の 一層の充実を図る。	実施設計の実施 機能強化工事の実施	－	繰
21 読谷村	2 ①	特別支援教育支援員配置事 業	H26 ～ R13	村立幼稚園、村立小中学校に特別支援を要する幼 児・児童生徒の学校生活や学習上の困難を改善す るための支援員を配置する。	特別支援教育支援員及び特別支援ヘルパーの 支援により困難が改善された割合(80%以上)	特別支援教育支援員及び特別支援ヘルパーの 支援により困難が改善された割合82%	◎
21 読谷村	2 ②	中学生海外ホームステイ派遣 事業	H25 ～ R13	海外での生活や体験を通して、国際的な視野を持 つ人材を育成するため、村内在住の中学生を英語圏 へ派遣する。	保護者を対象としたアンケートを実施し、帰国後 に国際的な視野が広まったと回答した割合80%以 上	保護者を対象としたアンケートを実施し、帰国後 に国際的な視野が広まったと回答した割合93%	◎
21 読谷村	2 ④	人材育成施設整備支援事業	R6 ～ R7	本村が「知の拠点」として建築中の(仮称)読谷村総 合情報センターに、科学の持つ可能性を引き出す沖 縄科学技術大学院大学(OIST)スペースを創設す る。	補助の完了	補助の完了	◎
21 読谷村	2 ⑤	ICT機能強化事業	R6 ～ R6	児童生徒の学力向上及び情報活用能力の育成環境 を整備するため、中学校にICT機器等を整備する。	児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用 した授業が分かりやすかったと答えた割合が 80%以上	未実施	未
21 読谷村	3 ①	沖縄語(しまくとぅば)保存継承 事業	H25 ～ R13	現在では日常生活で会話することも少なくなった沖 縄語の保存継承に寄与するため、身近な生活の中で 語られてきた沖縄語をわかりやすく学び、親しむた めのデータベース及び辞典などを作成・公開する。	HP(データベース)アクセス数90,000回 辞典作成のための原稿執筆・確認 講座総受講者数550人および満足度80%	HP(データベース)アクセス数135,291回 辞典作成のための原稿執筆・確認実施 講座総受講者数2,176人および満足度87%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
21 読谷村	3 ②	歴史資料の整理活用事業	R4 ～ R13	沖縄や本村に特徴的な歴史を後世に継承していくため、本村が所蔵する種々の歴史資料や歴史公文書等を調査し、整理・保存する。また、貴重資料から順次デジタル化、データベース化をすすめ公開する。	村史収蔵貴重資料のデジタル化及びファイリング点数 ・デジタル化写真点数(A)2,700点 ・デジタル化資料数(B)100件 戦後復興資料のHP公開点数 16,000枚 村史編集室収蔵図書・資料の登録点数 100点 1980年頃からの読谷まつり映像データベース(検索システム)HP公開点数 10,000点 令和5年度作成HP運用 ・読谷村の歴史・文化への理解が深まったとする回答割合 80%以上(A) HPアクセス数8,500回以上(B)	(A)約12,500点(B)約300件 (約19,700枚) 100点 103点 約10,000点 約10,243点 (A)85.0% (B)43,466回	◎
21 読谷村	3 ③	フィールドミュージアム整備活用事業	R5 ～ R13	グスク時代開始期の遺跡である大湾アガリヌウガン遺跡と周辺環境を保全し、世界遺産座喜味城跡へと続く沖縄・読谷村の歴史と魅力を発信するフィールドミュージアムとして整備・活用することで、村内文化財及び文化観光施設の魅力の向上を図る。	基本設計の完了	基本設計の完了	◎
21 読谷村	3 ④	読谷まつり活性化事業	H26 ～ R6	観光誘客及び地域の伝統芸能・文化の継承・創造・発展を図るため、第50回読谷まつりの開催を支援する。	まつり来場者数93,500人	まつり来場者数89,849人	○
21 読谷村	4 ①	読谷村工芸品県外等プロモーション戦略事業	H26 ～ R8	本村工芸品であるヤチムン、読谷山花織、琉球ガラスの販路拡大とヤチムン等を活用した観光誘客を図るため、県外へマーケティングやプロモーションを行う。	陶器市の来場者数14,766人 物産展売上金額72,750円 展示会(見本市)商談数25件 やちむん市アンケートで県外初来場者数120名	陶器市の来場者数 開催中止 物産展売上金額887,327円 展示会(見本市)商談数45件 やちむん市アンケートで県外初来場者数242人	○
21 読谷村	5 ①	読谷補助飛行場跡地「大木地区」崖地対策事業	R1 ～ R7	読谷補助飛行場跡地(大木地区)の土地利活用を促進するため、区画整理地と境界が隣接する崖地法面の整備を行う。	区画整理地の開発可能区域増 約1,781㎡	区画整理地の開発可能区域増 約1,781㎡	◎
21 読谷村	5 ②	楚辺通信所跡地シムクガマ戦跡・カー森広場整備事業	H26 ～ R11	悲惨な戦争を引き継ぐとともに、ガマという特徴的な自然資源を保全し、均衡のとれた整備・保全により、戦跡・平和学習を核とした総合的な学習の場として新たな観光地づくりを図る。	整備基本設計の実施	－	繰

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
21 読谷村	6 ①	かんしょ生産振興事業	R5 ～ R7	特産品である紅いもの安定した生産体制を確保するため、かんしょ生産に係る機械を整備する。	農業用機械の購入整備 (いも類収穫機) 農業用機械の購入整備 (高圧蒸気滅菌器)	農業用機械の購入整備完了 (いも類収穫機) 農業用機械の購入整備完了 (高圧蒸気滅菌器)	◎
22 嘉手納町	1 ①	観光プロモーション事業	R3 ～ R13	観光誘客を図るため、観光関連イベント等においてプロモーション活動を行う。また、観光客の利便性の確保のため、町の観光主要施設等への誘導案内板等を整備する。	①町入域観光客数 540千人 ②誘客イベント来場者数 2.8千人	①633千人 ②6.7千人	◎
22 嘉手納町	1 ②	観光振興推進事業	R5 ～ R6	本町の観光振興を推進するため、第3次嘉手納町観光振興基本計画を策定する。	計画策定完了	完了	◎
22 嘉手納町	2 ①	学習支援員事業	H24 ～ R13	児童生徒の学力向上を図るため、小中学校に学習支援員を配置し、個々の学習内容の定着状況に応じた学習支援を行う。	①沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校:県平均並み、それ以上 中学校:県平均-5ポイント以内 ②小学校:正答率30%未満の児童の割合県平均より減少 中学校:正答率30%未満の生徒の割合県平均より減少	①小学校:-1.1 中学校:-3.9 ②小学校:県平均より減少 中学校:県平均より増	△
22 嘉手納町	2 ②	英語力強化事業	H24 ～ R13	小学生の英語への興味・関心の向上及び中学生の英語学力の向上を図るため、小中学校に英会話指導員を配置し、小学生の英語学習への関心・意欲を高めるとともに、中学生に対する実用的な英語教育を実施する。	英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、本人のアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	英語に対する興味・関心が高まった(86%)	○
22 嘉手納町	2 ③	生徒指導強化事業	H24 ～ R13	居場所づくりを中心として、対象生徒への支援の充実を図るために中学校へ生徒指導支援員を配置する。また、問題を抱えた児童生徒に対し、当該児童生徒が置かれた環境へ働き掛けたり、関係機関等とのネットワークを構築するために教育委員会へスクールソーシャルワーカー(SSW)を配置する。	不登校出現率 2.7%以下	5.4%	未
22 嘉手納町	2 ④	秋田交流学習体験事業	H26 ～ R7	小中学校における学習規律や授業の改善を図るため、本町の児童生徒及び教師を教育先進地である秋田県大館市内の学校へ派遣する。また、大館市の教師を招聘し、講話や授業研究会を通して、教職員の研修を行う。	①(派遣された児童生徒へのアンケート) ・「学習規律を学ぶことができたか」で80%以上ができたという回答 ②(授業改善に関するアンケート) ・「授業のねらいに合わせた学び合いの場の設定」に関する項目で80%以上の教師が取り組むでると回答	①(派遣された児童生徒へのアンケート) ・「学習規律を学ぶことができたか」でできたという回答100% ②(授業改善に関するアンケート) ・「授業のねらいに合わせた学び合いの場の設定」に関する項目で教師が取り組むでると回答90%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
22 嘉手納町	2 ⑤	特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ R13	学習や生活面で特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難への支援を図るため、町内の各小中学校に特別支援教育支援員を配置し、必要な支援を行う。	対象となる児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	対象となる児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(85%)	○
22 嘉手納町	2 ⑥	プログラミング育成事業	R5 ～ R6	情報通信関連産業と連携し、プログラミング出前講座を放課後時間に実施し、プログラミングの仕組みや思考を体験することによりプログラミング力を養い、プログラミングへの興味関心を高めることで、論理的思考力の習得やICTに親しむ機会を創出する。	参加者へ体験後にアンケートを実施し、プログラミングへの興味関心が高まったか(80%以上)を成果目標とする。	参加者へ体験後にアンケートを実施し、プログラミングへの興味関心が高まったか(89%)	○
22 嘉手納町	2 ⑦	嘉手納町の沖縄戦資料保存事業	R6 ～ R7	戦後70年以上経過し、戦争体験者が少なくなる中で、戦争の悲惨さや平和の大切さを後世に伝えていくため、戦争体験者が語る記録映像及びパネル、レブリカの製作を行う。	①インタビューの完了 ②パネル制作の完了	①完了 ②完了	◎
22 嘉手納町	3 ①	雇用促進事業	H25 ～ R6	求職者の就職促進を図るため、就職相談窓口を開設し、就職活動の支援を行う。	①相談者のうち就職が決まった人数:8人以上 ②相談者のうち就職が決まった人数の割合:2.2%以上 ※「就職が決まった人数」は、支援後に就職が決まった(内定を得た)人数。支援後の後追い調査(年2回)で確認。	①相談者のうち就職が決まった人数:4人 ②相談者のうち就職が決まった人数の割合:6.4%	△
22 嘉手納町	4 ①	廃棄物リサイクル事業	H25 ～ R13	沖縄県は離島県であり、土地利用には限りがあるため、ごみ処理処分場の長寿命化を図る必要があることから、町内から排出される草木をチップ化し、再資源化することで環境に負荷の少ない循環のシステムを構築する。	①草木の再資源化率 100% ②機器の購入	①排出された草木ごみの再資源化率100% ②購入	◎
22 嘉手納町	5 ①	避難施設防災機能強化整備事業	R5 ～ R13	沖縄県は島嶼県であり、自然災害による被害も多いことから、町民や観光客等の災害時の安全確保を図るため、防災非常食等の計画的な導入を図る。	年1回以上防災訓練及び防災啓発活動等を実施し、アンケートにより、備蓄の重要性を感じたとの回答割合:「80%以上」	年1回以上防災訓練等を実施し、備蓄の重要性を感じたか(97%)	◎
23 北谷町	1 ①	北谷町観光物産プロモーション事業	H24 ～ R13	北谷町の知名度を一層向上させ、本町への観光客誘客推進と観光資源の効果的なピーアール及び販路拡大支援を図るため、県外等において、プロモーション事業を展開する。	北谷町観光情報ポータルサイト(北谷日常)閲覧回数 R6年度目標値:150,000回	北谷町観光情報ポータルサイト(北谷日常)閲覧回数:99,000回	未

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
23 北谷町	1 ②	北谷町観光統計調査事業	R5 ～ R13	本町を訪れる観光客の動向等を調査・分析して実態を把握し、観光統計データの整備及び効果的な観光振興施策実施を図るとともに、町内観光関連事業者の事業推進に資する。	・観光統計調査による実態の把握 ・町内観光関連事業者へ報告書を提供	・観光統計調査による実態の把握:実施 ・町内観光関連事業者へ報告書を提供:実施	◎
23 北谷町	1 ③	第2次北谷町観光振興計画策定事業	R6 ～ R7	本町の観光の現状や課題の分析を行い、今後の観光振興の方向性を示す第2次北谷町観光振興計画を策定し、計画に基づく施策を推進する。	第2次北谷町観光振興計画策定に向けた検証の完了	第2次北谷町観光振興計画策定に向けた検証の完了	◎
23 北谷町	1 ④	サンセットビーチ改良事業	H29 ～ R7	観光客が多く訪れるサンセットビーチの環境改善や機能拡充を実施することで、更なる観光誘客の促進を図る。	サンセットビーチ改良工事のうち、園路工、植栽工、照明工、休養施設工の竣工。	園路工、植栽工、照明工、休養施設工の竣工:完了	◎
23 北谷町	1 ⑤	安良波公園整備事業	R6 ～ R8	人気スポットである安良波公園の園路を拡張し、利用する観光客や地元住民らの利用者による混雑を解消することで、安心して利用できる環境を整え、更なる観光誘客を図る。	安良波公園整備実施設計のうち、測量業務、公園設計の完了。	測量業務、公園設計:完了	◎
23 北谷町	2 ①	英語指導助手派遣事業	H24 ～ R13	小学校児童の英語への興味・関心を高めるため、英語指導助手(AET)を配置する。(隣接する幼稚園兼務) 中学校生徒の英語能力の向上を図るため、英語指導助手(AET)を派遣する。	小学校:児童の英語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 中学校:沖縄県学力到達度調査において、英語の県と本町の平均正答率の差1.4ポイント以上	小学校:児童の英語への興味・関心が高まったかアンケート(82.4%) 中学校:沖縄県学力到達度調査において、英語の県と本町の平均正答率の差△1.6ポイント	△
23 北谷町	2 ②	日本語指導学習支援員派遣事業	H25 ～ R13	日本語による会話能力の向上を図るため、日本語指導学習支援員を学校に配置し、日本語が十分に理解できない外国籍児童や帰国児童等への学習支援を行う。	日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合80%以上等を含め本事業のあり方を検証する。	日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合:96.0%	◎
23 北谷町	2 ③	学力向上学習支援員派遣事業	H26 ～ R13	児童生徒の学力の向上を図るため、学習支援員を全小中学校に各校1名(計6名)配置し、個々の学力に応じた学習指導を行う。	沖縄県学力到達度調査において、県と本町の平均正答率の差 小学校 0.3ポイント以上 中学校 △1.5ポイント以上	沖縄県学力到達度調査において、県と本町の平均正答率の差 小学校:△3.1ポイント 中学校:△3.1ポイント	未
23 北谷町	2 ④	北谷町ハワイ短期留学派遣事業	H25 ～ R13	海外での生活や体験を通して国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、本町の中高生をハワイへ短期留学させる。	学生へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合(80%以上)を含め、当該事業の充実を図る。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合:100%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
23 北谷町	2 ⑤	特別支援教育支援員派遣事業	R6 ～ R9	町立幼稚園、小学校及び中学校に在籍する心身の障がい及び発達障害等を有する幼児児童生徒に対し、学校における日常生活動作の介助や、学習活動上の支援を行うため支援員を配置する。	特別支援教育支援員の配置により、学校生活や学習活動における幼児児童生徒の困り感が改善されたとする割合が75%以上	特別支援教育支援員の配置により、学校生活や学習活動における幼児児童生徒の困り感が改善されたとする割合(アンケート結果):93%	◎
23 北谷町	3 ①	北谷町文化発信拠点整備事業	H24 ～ R6	北谷町の歴史、文化、自然の継承及び発信を行う事を目的に、文化発信拠点となる町立博物館整備を推進する。 博物館においては日本固有の縄文文化と沖縄特有の文化を体験できるサービスを町民や沖縄県民へ提供する。また、国内外から訪れる観光客にも同サービスを提供することにより、沖縄観光の新たなコンテンツ作りを目指す。	・年間利用客数25,000人 ・書架設置工事の完了	・年間利用客数:17,674人 ・書架設置工事:完了	○
23 北谷町	3 ②	北谷城跡活用促進事業	R5 ～ R7	駐留軍用地跡地に所在する国指定史跡「北谷城跡」の公開活用を促進するため、課題の整理や各種調査を実施する。	・課題整理報告書の作成	・課題整理報告書の作成:完了	◎
23 北谷町	4 ①	北谷町特定駐留軍用地内土地取得基金事業	H25 ～ R11	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、基金を造成し、キャンプ桑江(南側地区)の土地の先行取得を実施する。	特定事業の用に供する土地取得目標 7,877.11㎡(達成率72%) ※達成率:先行取得目標面積(133,000㎡)に対する累積取得面積の割合	特定事業の用に供する土地取得目標 達成率:72%	◎
23 北谷町	4 ②	跡地利用推進事業	H24 ～ R10	今後返還が予定される駐留軍用地の有効かつ適切な跡地利用計画策定に向けた跡地利用推進調査及び説明会等を実施する。	(桑江第一タンクファーム地区) ・調査報告書の作成 (インダストリアル・コリドー) ・調査報告書の作成	(桑江第一タンクファーム地区) ・調査報告書の作成:完了 (インダストリアル・コリドー) ・調査報告書の作成:完了	◎
23 北谷町	5 ①	里海プロジェクト事業	R3 ～ R7	本町に残された自然の保全・活用を図るため、本町の沿岸、河川及び緑地に生息する生物の全体把握を行う。また、それら結果を活用し展示公開等を行い自然保全の意識醸成を図る。	北谷町陸域生物調査報告書の作成を完了。	北谷町陸域生物調査報告書(その1)の作成:完了	◎
24 北中城村	1 ①	北中城まつり活性化事業	H24 ～ R13	伝統芸能プログラムを中心とした「青年エイサーまつり」、「北中城まつり」を開催し観光誘客を図り、伝統芸能の担い手不足解消のために文化資産の魅力を多くの方に発信することを目的とする。	・青年エイサーまつり来場者数:9800名 ・北中城まつり来場者数:12100名	・青年エイサーまつり来場者数:26,420名 ・北中城まつり来場者数:12,430名	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
24 北中城村	1 ②	観光誘客プロモーション事業	H26 ～ R13	ウェブやSNS等のICTを活用したプロモーションや、データ収集分析などDXの推進を図る。また、観光案内や観光イベントでのプロモーションを実施するとともに、観光ガイドの育成及びWebマッチングをおこない、さらなる誘客を図る。	・観光イベントPRブース来場者数:4,447人 ・観光案内ページの閲覧数:17,876回/月 ・Googleを活用したデジタルマーケティング支援25事業所以上 ・Googleマップ経路検索数前年度比120% ・テレビ取材、映画撮影等ロケーション受け入れ:1件以上	・観光イベントPRブース来場者数:5,470人 ・観光案内ページの閲覧数:47,813回/月 ・Googleを活用したデジタルマーケティング支援25事業所以上:30事業所 Googleマップ経路検索数前年度比:112% ・テレビ取材、映画撮影等ロケーション受け入れ:4件	○
24 北中城村	1 ③	コミュニティバス実証事業	H30 ～ R7	村内への観光誘客を図り、観光客をはじめとする交通弱者の利便性を高めるため、コミュニティバスによる実証実験を行う。	年間利用者数:14,600人	年間利用者数:20,718人	◎
24 北中城村	1 ④	ウェルネスツーリズム推進事業	R4 ～ R13	女性長寿日本一の健康長寿ブランドを活かしたウェルネスツーリズムの推進を図る。	・ウェルネスイベントへの総参加者数:200人 ・ウェルネスワークショップへの総参加者:100人 ・国際ウェルネスツーリズムEXPOでの商談実績:5件	・ウェルネスイベントへの総参加者数:91人 ・ウェルネスワークショップへの総参加者:130人 ・国際ウェルネスツーリズムEXPOでの商談実績:10件	○
24 北中城村	2 ①	キャンプ瑞慶覧特定駐留軍用地推進基金事業	H25 ～ R6	キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を促進するため、これまで積立てた基金を活用し、公有地の先行取得を行う。	全体用地取得率:100%	全体用地取得率:100%	◎
24 北中城村	2 ②	キャンプ瑞慶覧返還地区等跡地利用推進事業	R3 ～ R9	キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を推進するため、土地利用計画(案)の検討を行う。	・跡地利用整備計画(案)の見直し及び必要に応じ修正	・跡地利用整備計画(案)の見直し及び修正を実施	◎
24 北中城村	2 ③	喜舎場住宅地区跡地利用推進事業	H25 ～ R6	キャンプ瑞慶覧喜舎場住宅地区の跡地利用を推進するため、返還予定区域の跡地利用の検討を行う。	・本地区における跡地利用の検討に対する地権者や村民等の「肯定的な評価」80%以上	未検証	未
24 北中城村	3 ①	雇用サポートセンター事業	H24 ～ R13	地域に密着した就業支援による雇用機会の創出を図るため、雇用サポートセンターを設置する。	・就業者数:3人 ・職業訓練校マッチング人数:3人 ・相談件数130件以上	・就業者数:3人 ・職業訓練校マッチング人数:0人 ・相談件数153件以上	△
24 北中城村	3 ②	グッジョブ連携推進事業	H27 ～ R13	児童生徒の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験、キャリア教育講演会等を実施する。	就業に対する意識が向上したか(80%)以上を含め、アンケート調査により本事業の検証を行う。	就業に対する意識が向上したか(向上したとの回答:73%)	○
24 北中城村	4 ①	営農支援強化事業	H24 ～ R13	本村農業の生産力向上を目的に、栽培施設整備や技術的対応等の営農支援を実施する。	JA等への出荷数量:野菜6.9t 果樹2.2t	JA等への出荷数量:野菜12.8t 果樹1.6t	○

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
24 北中城村	4 ②	農を活かした健康・福祉の里 づくりに向けた推進事業	H30 ～ R7	耕作放棄地を利活用するため、民間事業者による 医食同源・農福連携・健康長寿への取組支援及び円 滑な事業展開を図るためのエリアマネジメント組織設 立に向けた支援を実施する。	・民間事業者による第一段階整備(循環型農業・ 体験農業ゾーン)のバイオガス発電等の開始(仮 稼働) ・第二段階及び第三段階整備の実現に向けた施 設変更計画の策定 ・第四段階整備の実現に向けた事業計画の策定	・民間事業者による第一段階整備(循環型農業・ 体験農業ゾーン)のバイオガス発電等の開始(仮 稼働):仮稼働開始 ・第二段階及び第三段階整備の実現に向けた施 設変更計画の策定:策定継続 ・第四段階整備の実現に向けた事業計画の策 定:計画策定準備	△
24 北中城村	5 ①	総合英会話指導支援事業	H24 ～ R13	生きた英語に触れることで、児童生徒の英会話へ の興味・関心を高めるため、村立小中学校に英会話 指導員を配置する。	・英語検定の受験者数:237人 ・児童生徒へのアンケートにより英会話が楽しい と感じる割合80%以上	・英語検定の受験者数:193人 ・児童生徒へのアンケートにより英会話が楽しい と感じる割合:90.2%	○
24 北中城村	5 ②	国際人材育成事業	H24 ～ R13	英会話力、英作文力、英文読解力の向上を図るた め、IT機器を活用した小・中学生向けの英語講座を 実施する。	・受講者の英語検定4級、3級の取得率70%以上	・受講者の英語検定4級、3級の取得率:64%	○
24 北中城村	5 ③	海外移住者子弟研修生受入 事業	H24 ～ R13	南米3カ国(ペルー、ブラジル、アルゼンチン)から海 外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため研 修生を受け入れる。	・受入れした研修生が、沖縄の文化や歴史により 興味を持ったか(80%)を含め、アンケートで本事 業のあり方を検証する。	・受入れした研修生が、沖縄の文化や歴史により 興味を持ったとの回答:100%	◎
24 北中城村	6 ①	歴史まちづくり計画策定事業	R4 ～ R6	本村の歴史風致資産を核にしたまちづくりを推進す るため、歴史まちづくり計画を策定する。	歴史まちづくり計画書の認定	歴史まちづくり計画書の認定	繰
24 北中城村	6 ②	米国統治下の北中城村実態 調査事業	R4 ～ R8	米国統治下における本村の歴史的経過(集落復 興、村行政の歩み、教育、産業、軍用地施設の推移 など)を明らかにするため、各種調査を実施する。	・村関連資料のデータ化(2課) ・住民保管資料のデータ化(3集落) ・原稿作成(2課)	・村関連資料のデータ化(4課) ・住民保管資料のデータ化(3集落) ・原稿作成(0課)	△
24 北中城村	7 ①	特別支援教育支援員配置事 業	H25 ～ R13	特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応し た支援を行い、学校生活や学習上の困難の改善を 図るため、支援員を配置する。	支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象 となる児童生徒の保護者へのアンケート調査に より、ニーズ・課題の把握を行う。	保護者へのアンケートにより、支援員に対する満 足度:89%	◎
24 北中城村	7 ②	学習支援員配置事業	H27 ～ R13	学習の遅れがちな児童生徒に対する学習支援を行 うため、村立小中学校に学習支援員を配置する。	沖縄県学力到達度調査における平均正答率30% 未満の割合及び無答率の減少 ○正答率30%未満の割合 小学5年生:算数(21.9%以下) 中学2年生:数学(41.6%以下) ○無答率 小学5年生:算数(9.8%以下) 中学2年生:数学(11.6%以下)	沖縄県学力到達度調査における平均正答率30% 未満の割合及び無答率の減少 ○正答率30%未満の割合 小学5年生:算数(43.7%) 中学2年生:数学(64.8%) ○無答率 小学5年生:算数(17.1%) 中学2年生:数学(17.4%)	未

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
24 北中城村	7 ③	児童生徒の県外派遣旅費等支援事業	H29 ～ R13	児童生徒が学校教育の一環として県外に派遣される場合に、その派遣費用について補助を行う。	派遣された児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	保護者へのアンケートにより、派遣された児童生徒の視野が広がったとの回答:80%	◎
24 北中城村	7 ④	小中学生県外派遣支援(社会教育関連)事業	H29 ～ R13	県外大会への参加を村内に在住する小中学生に等しく機会を与え、子ども達の視野を広げるため、社会教育の一環として派遣されるスポーツや文化活動に係る大会派遣に対して航空運賃を補助する。	保護者アンケート「子どもの視野が広がったか」80%	保護者アンケート「子どもの視野が広がったか」との回答:80%	◎
24 北中城村	8 ①	屋宜原地区避難道路整備事業	R4 ～ R5	北中城村の大型宿泊施設へのアクセス道路である仲順屋宜原線について災害時の村民や観光客等の安全を確保するため、災害に強い避難道路としての整備に必要な予備設計を実施する。	実測図を用いた道路改良範囲の決定の完了	実測図を用いた道路改良範囲の決定完了	◎
25 中城村	1 ①	民間事業者の活力を活かした新たなまちづくり促進事業	R4 ～ R13	地域課題や住民ニーズに即した商業施設を誘致することで、良好な住環境の確保、村内雇用の創出、村内農家の販路拡大、更に本村内にこれまでなかった交通結節点を整備し商業施設と連携させることで、交通弱者対策や多世代交流の促進など、魅力的で持続可能なまちづくりを推進する。	①誘致戦略策定の完了 ②住民ニーズ調査に係る報告書策定の完了	①完了 ②完了	◎
25 中城村	1 ②	防災体制整備事業	H27 ～ R5	沖縄県は地震や台風等の自然災害が多く、本村は津波被害や土砂災害の危険性の高いことから、自然災害に強い村づくりを推進していくため防災基盤の整備を実施する。また、災害時に支援物資が届くまでの対応として食糧を備蓄し、住民の安心・安全を確保する。	①防災無声難聴地域の解消:1地区 ②非常食の備蓄率:100%	①防災無声難聴地域の解消:1地区 ②非常食の備蓄率100%	◎
25 中城村	2 ①	吉の浦公園等機能強化整備事業	H28 ～ R5	ごさまる陸上競技場におけるキャンプ誘致を推進し、スポーツコンベンションを通じた観光メニューを実施するとともに、スポーツ振興の拠点である吉の浦公園等施設の機能強化を行う事で、スポーツを活かした観光振興を図る。	①プロサッカーチームの合宿誘致件数3件、・大学チーム等のキャンプ受入 ②吉の浦野球場照明LED整備に係る調査の完了 ③防犯カメラ設置の完了	ー	繰
25 中城村	2 ②	プロサッカーキャンプ支援事業	H25 ～ R13	スポーツキャンプを通して、観光地としての魅力を発信し観光誘客を図るため、プロサッカーチームの冬季キャンプ誘致活動並びにキャンプ受入の歓迎イベントの開催及び円滑なキャンプ実施のための警備を行う。	キャンプ見学者数:9,000人	キャンプ見学者数:2,837人	未

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
25 中城村	2 ③	観光地周辺環境美化事業	H29 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地及び観光地へのアクセス道路の美化清掃等を行う。	魅力的な観光地としての景観となっているか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	魅力的な観光地としての景観となっているか(76%)	○
25 中城村	2 ④	中城護佐丸まつり事業	H25 ～ R11	地域経済の活性化を図り村の発展に資することを目的に、地域資源や文化遺産等を活かした観光振興事業として住民参加型イベントを開催する。	来場者数:10,000人(1日5,000人)	来場者数:7,646人	○
25 中城村	3 ①	海外移住者子弟研修生受入事業	H26 ～ R8	海外に移住した中城村出身者の子弟を研修生として受け入れ、沖縄の歴史や文化に触れ、村民との交流を通じ、ナカグスクンチュアイデンティティの確立を目指す。社会の発展に寄与する人材を育成するとともに、国際交流思想の高揚、移住国と中城村との友好親善に資することを目的として実施する。	沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含め、子弟へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する	沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(100%)	◎
25 中城村	4 ①	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ～ R13	ICTを使用したわかりやすい授業を実施することによる学校教育の質の確保及び教員のICT機器活用の習熟を図るため、授業支援やICT機器活用に向けた環境整備を行う。	①児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上 ②教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合:80%以上	①ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:83.6% ②ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合:91.8%	◎
25 中城村	4 ②	きめ細かな児童生徒支援事業	H24 ～ R13	特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、村内幼小中学校に特別支援員を配置し支援を行う。 また、不登校など課題のある児童生徒の不登校の改善を図るため、教育相談員と心理相談員を配置し支援を行う。	①特別支援員の対応への満足度(70%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ②不登校児童生徒復帰率37%以上	①特別支援員の対応への満足度の保護者へのアンケート:94% ②不登校児童生徒復帰率:27%	△
25 中城村	4 ③	学力向上のための学習支援事業	H29 ～ R13	生徒の学力向上を図るため、村内中学校に学習支援員を配置し授業の支援や補習等を行う。	沖縄県学力到達度調査(数学)において、県との平均正答率差-2.4ポイント以上	県との平均正答率差:-1.2ポイント	◎
25 中城村	4 ④	子育て保育支援事業	H29 ～ R13	特別な支援を要する子の保育園での生活の困難の改善を図るため、対象児を預かる保育園による保育士の加配に対する支援を行う。	保育園での生活の困難が改善されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	保育園での生活の困難が改善されたかについて、保護者へのアンケート結果:92%	◎
25 中城村	4 ⑥	オンライン英会話学習支援事業	R5 ～ R13	村内の小学生・中学生を対象として、外国人講師とオンラインによる実用的な英会話学習を実施する。	英語習熟度(期末テスト)で講座を受けた生徒全員80点以上(100点中)の割合:100%	英語習熟度(期末テスト)で講座を受けた生徒全員80点以上(100点中)の割合:70.58%	○

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
25 中城村	5 ①	歴史的資料整理公開活用事業	R4 ～ R9	NPO法人 琉米歴史研究会が中城村に一括寄贈した沖縄戦直後から戦後間もないころにかけて米軍関係者が撮影した1万5千点近い写真・映像・発刊物などの各種資料を公開活用するため、これらの整理を行う。	①公開優先度の高い資料のタイトル付与作業の完了 ②展示会の開催：来場者数4,000人	①完了 ②展示会の開催：来場者数3,633人	○
25 中城村	5 ②	文化財整備事業	R1 ～ R5	村内文化財の更なる活用を図るため、サイン工事と見学者用スペース確保などの環境整備工事を実施する。	「県道開削記念碑」案内板の設置工事の完了	完了	◎
25 中城村	6 ①	中城村農業振興推進事業	H30 ～ R8	本村の主要品目の生産振興及び新たな推奨品目の検討にむけ栽培試験を行う。また、営農指導員による営農指導により生産技術の普及を図る。	①農業指導員及び補助員の配置 ②主要品目の栽培試験の実施 ③新たな推奨品目の栽培試験の実施 ④バックホーの稼働率	①配置 ②実施 ③実施 ④86.64%	○
25 中城村	7 ①	PFI導入による地元小規模事業者等経営安定化事業	R2 ～ R11	教育施設の再整備及び維持管理にPFIを導入することにより、沖縄の主要な産業のひとつである建設業における地元小規模事業者等の長期にわたる安定的な資金の確保を支援する。	①教育施設整備に向けた実施設計の完了 ②建築工事着手	①完了 ②完了	◎
25 中城村	7 ②	中城村中学生平和体験学習事業	R5 ～ R13	中城中学校全生徒を対象とした平和体験学習(校外学習)を実施し、平和や戦争について考える機会を与える。学年ごとでコース内容が異なり、段階的に各地域で起こった戦争について学べるプログラム内容とする。	平和体験学習を今後も継続して実施した方がよい(80%以上)を含め、参加した中学生・教員へアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	平和体験学習を今後も継続して実施した方がよい(98%)	◎
26 西原町	1 ①	観光地美化・緑化等環境整備事業	H24 ～ R13	沖縄らしい風景を保全するため、公園の芝刈り、樹木剪定、植栽等を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	観光客や地元住民に対し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含めアンケートにより本事業のあり方について検証する。	観光客や地元住民に対し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか：85%	◎
26 西原町	1 ②	文化財環境整備活用事業	H25 ～ R13	西原町内にある文化財及び文化財周辺の環境美化・整備や文化財ガイドの育成及び文化財巡り等イベントを開催し、観光誘客に向けた基礎的環境整備を図る。	文化財巡り等イベント参加者数170名	歴史講演会：71名 歴史の道を歩く：43名 地域散策事業：40名	○
26 西原町	2 ①	小学校外国語活動指導員派遣事業	H24 ～ R13	外国語活動指導員を小学校に派遣し、外国語教育の充実を図り、外国語への興味・関心を高める。	児童の外国語への興味・関心が高まったか(82%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検討する。	児童の外国語への興味・関心が高まったか：91%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
26 西原町	2 ②	教育相談員配置事業	H24 ～ R13	町教育相談室に教育相談員を配置し、学校生活等に悩みを抱える児童生徒及び青少年やその保護者等に対して支援を行うことで、学校生活等の困難の改善を図る。	相談員が関わった児童生徒のうち、学校生活への適応や状況改善に向けて変容が確認できた児童の割合67%以上	相談員が関わった児童生徒のうち、学校生活への適応や状況改善に向けて変容が確認できた児童の割合:79%	◎
26 西原町	2 ③	学習支援員配置事業	H25 ～ R13	学習支援員を小中学校に配置し、各児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより、児童生徒の学力向上を図る。	沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 ・小学校 国語 2.8以上 算数 2.8以上 ・中学校 国語 4.0以上 数学 4.1以上 英語 0.6以上	・小学校 国語 2.7 算数 3.3 ・中学校 国語 -1.0 数学 -1.5 英語 -5.4	△
26 西原町	2 ④	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R13	特別支援教育支援員を小中学校に配置し、特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	年度末に実施する支援対象児の状況調査において、改善した児童数86%以上	年度末に実施する支援対象児の状況調査において、改善した児童数:69.5%	○
26 西原町	2 ⑤	幼稚園特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R13	幼稚園特別支援教育支援員を幼稚園に配置し、障がいや発達の遅れにより特別な支援を要する園児に対応した支援を行うことで、学園生活や学習上の困難の改善を図る。	対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度:98.93%	◎
26 西原町	3	親子通園事業	H28 ～ R13	乳幼児健診等の結果から、支援の必要性が高い発達の子と保護者の受け入れを行い、日常生活における基本動作の指導や集団生活への適応の訓練及び保護者に対する療育上の助言等を行うことで、保護者の育児不安の軽減を図る。	対象となる児童の保護者へのアンケートで、育児不安の軽減が図られたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	対象となる児童の保護者へのアンケートで、育児不安の軽減が図られたか:100%	◎
26 西原町	4	西原町雇用サポートセンター活性化事業	H27 ～ R13	求人企業に既存支援制度の活用に向けた助言等を行い、求職者と企業のマッチングや、就職セミナーやスキルアップ講座を開催することで、雇用の拡大を図る。	新規雇用割合50%以上	新規雇用割合45.8%	○
26 西原町	5	輸入感染症対策推進事業	R2 ～ R13	麻しん風しん(MR)予防接種率の向上を図るとともに、外国人観光客受入に起因する感染症の蔓延を防ぐため、予防接種の費用を助成する。	外国人観光客受入に起因する麻しん風しん集団感染の発生件数0件	外国人観光客受入に起因する麻しん風しん集団感染の発生件数0件	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
26 西原町	6	平和の約束運営事業	R5 ～ R13	西原町平和事業の一環として、音楽文化を通して平和の尊さを考え、平和の心を醸成するとともに平和意識の高揚に努めることを目的に、西原町平和事業「平和の約束2024」を実施する。	○「平和コンサート」イベント来場者350名 ○「平和バスツアー」参加者1回20名を2回実施(2回合計:40名) ○「チョコレート制作事業」作品数20作品 ○「平和の語り部アーカイブ動画企画制作」戦争体験者1名の語り動画を制作	○「平和コンサート」イベント来場者:360名 ○「平和バスツアー」参加者:26名 ○「チョコレート制作事業」作品数:10作品 ○「平和の語り部アーカイブ動画企画制作」戦争体験者3名の語り動画を制作	○
26 西原町	7	西原町観光PR促進事業	R4 ～ R13	交流人口の増加、歴史・文化の継承、ブランド力の強化を実現するため西原劇場への人員の配置、観光PR、町産品のPR業務、観光・歴史・文化情報等の発信事業にかかる経費として計上する。また、西原町に観光をPRするためのコンテンツ等の作成及び整備を行う。	○誘客イベント実施:6回 ○観光キャラクター出動:100回 ○町産品PR事業:6回 ○観光PRコンテンツの作成	○誘客イベント実施:6回 ○観光キャラクター出動:135回 ○町産品PR事業:8回 ○観光PRコンテンツの作成	◎
26 西原町	8	緑のリサイクル事業	R4 ～ R13	各家庭や地域清掃で排出された木枝廃棄物の収集・処理を行い、焼却ごみを削減する。	木枝の収集量の増加(R4比5%)を図る… 226,941kg	木枝の収集量の増加(R4比5%)を図る… 201,480kg	○
26 西原町	9	シェアサイクル活用推進事業	R5 ～ R7	観光客等の新たな移動手段の充実を図り、町内観光資源への誘因を図るとともに、本県の課題とされている過度な自動車依存からの脱却による脱炭素化の取組を進めることを目的とし、将来的には自走化を目指すための実証実験を行う。	①シェアサイクル利用件数6,000件/年 ②シェアサイクルを活用した観光資源周遊ルートの確立	①シェアサイクル利用件数6,952件/年 ②シェアサイクルを活用した観光資源周遊ルートの確立	◎
26 西原町	10 ①	地域防災強化事業	R5 ～ R9	防災体制強化のため住民・観光客用の飲料水等の備蓄を行い、災害に強いまちづくりを推進する。	・備蓄用飲料水をR9までの5年間で避難所最大想定避難者数(8,400人分)の1日分の飲料水を確保することを目標とし、R6は備蓄率59.7%整備することを目標とする。	備蓄率59.7%	◎
26 西原町	10 ②	西原町防災情報発信強化事業	R6 ～ R8	災害発生時に住民や観光客等に対して、迅速で適切な情報発信を行うため、防災行政無線の機能強化や、屋外子局(スピーカー)の性能向上や、聞こえづらい地域等の見直しを行う。	実施設計の策定完了	－	繰
26 西原町	11 ①	学校DX推進支援事業	R5 ～ R13	学校においてICT機器、校務支援などのシステム、アプリ・サービスなどの利用について日常化(学校DX)を進め、児童生徒・教職員のICT技術利活用力を高めることを目的にその支援員を配置する。	○教職員のアンケートにてICT機器を活用した授業を自ら行えるとする回答を全員(100%)とする。 ○児童生徒アンケートにて昨年よりもICT技術の利活用能力が向上したとする回答を70%とする。	○教職員のアンケートにてICT機器を活用した授業を自ら行えるとする回答を全員(100%)とする。…88% ○児童生徒アンケートにて昨年よりもICT技術の利活用能力が向上したとする回答を70%とする。…91%	○

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
26 西原町	11 ②	学校教室ICT環境整備事業	R5 ～ R10	町立小中学校の教室に大型提示装置等のICT機器を整備し、授業におけるデジタル教科書(含む独自教材などの教材)の活用、GIGAスクール構想にて整備されたタブレットの効果的な活用など授業でのICT活用の促進を図る。	大型投影装置29式の整備	大型投影装置29式の整備	◎
26 西原町	12	西原町ひとり親家庭等放課後児童クラブ利用支援事業	R5 ～ R13	ひとり親家庭等の児童が放課後児童クラブを利用した場合の経済的負担を軽減するために、利用料を減免する放課後児童クラブへ減免に要した費用の一部を助成する。	【利用料減免に対する満足度】 助成対象世帯(保護者)に対し、アンケート実施。「利用支援を受けたことで、役に立った」等の回答80%以上	【利用料減免に対する満足度】 助成対象世帯(保護者)に対し、アンケート実施。「利用支援を受けたことで、役に立った」等の回答97%	◎
26 西原町	13	西原町公園照明LED化事業	R5 ～ R8	本町の公園の既存照明のLED化を行うことにより、二酸化炭素排出量(消費電力)を削減し、低炭素社会の実現を目指す。	公園照明LED化の実施 ・西原運動公園体育館 ・テニスコート ・運動公園内外灯 ・西原町都市公園	公園照明LED化の完了 ・西原運動公園体育館 ・テニスコート ・運動公園内外灯 ・西原町都市公園	◎
26 西原町	14	緊急避難路整備事業	R5 ～ R6	交通弱者等を含めた観光客や町民の安全かつ円滑な避難行動の実現を図るため、未舗装の下水路管理用道路を緊急時の避難路としても活用できるようアスファルト舗装を行う。	整備工事の完了	整備工事の完了	◎
26 西原町	15	西原町和牛生産推進事業	R6 ～ R13	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援及び優良種付経費の一部を支援する。また、農家の生産意欲を高めるため、畜産共進会を開催する。	導入母牛の子牛とそれ以外の牛から生まれた子牛との価格差の割合 110%以上	未上場	未
27 与那原町	1 ①	与那原町魅力発信事業	H26 ～ R13	与那原町の魅力を県内外に発信し、また観光客の誘致を図る為、各種事業により整備した新たな観光資源等を活用し、事業を実施する。	・与那原大綱曳まつりへの50,000人誘客とアンケートによる満足度70%の達成(ぜひ、次回も参加したい人の割合) ・その他事業(地域活性化イベント・ゆかたまつり)での8,000人の誘客。 ・軽便与那原駅舎来館者数7,000人の誘客。	・与那原大綱曳まつりの誘客数:60,000人 ・アンケートによる満足度:77% ・その他事業(地域活性化イベント・ゆかたまつり)の誘客数:15,398人 ・軽便与那原駅舎来館者数:6,800人	○
27 与那原町	1 ②	美化・緑化きれいなまちづくり事業	H24 ～ R13	コンパクトな町域を活かして、町内を安心・安全で気持ちよく回遊・散策できるように公共空間(道路等)の美化・緑化を促進し、環境を整え、町民のみならず町外・県外の方々が訪れた際にきれいなまちという印象を与えられるような景観・美観の創出を図る。	・本事業による取組の結果、散策しやすききれいなまちとしてふさわしい景観及び環境であるを含め、再度訪れたいと概ね肯定的な回答(80%)について、アンケートで検証する。	・散策しやすききれいなまちとしてふさわしい景観及び環境であるを含め、再度訪れたいと概ね肯定的な回答:83%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
27 与那原町	2 ①	きめ細かな児童生徒支援事業 (小学校・中学校)	H24 ～ R13	学習に遅れのある児童生徒や、特別な支援を要する児童生徒や保護者に対する支援等のきめ細かな支援を行うための各種支援員を配置する。	・沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校:県との差0.3ポイント以上 中学校:県との差0.9ポイント以上 ・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度80%以上	・沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校:県との差2.4ポイント 中学校:県との差4.5ポイント ・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度(満足したとの回答:92%)	◎
27 与那原町	2 ②	国際理解人材育成事業	H24 ～ R13	英語の授業の指導助手及び小中学校の教職員とALTとの授業に関する連携・助言・支援の補助を行う。	・英検合格率50%	・英検合格率:55%	◎
27 与那原町	2 ③	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ～ R13	児童生徒の学力向上の為、ICT教育の環境を整備する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上	・ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%	◎
27 与那原町	2 ④	不登校対策等事業	R6 ～ R13	不登校児童生徒に対する登校復帰、不登校となる状況を未然に防ぐために、校内自立支援室を小中学校に設置、校内自立支援員の配置、学校カウンセラーの配置等を行い、学校現場に支援体制を構築し、不登校率の改善を目的とする。	児童生徒の不登校復帰率: 小学校10%	児童生徒の不登校復帰率: 小学校16%	◎
27 与那原町	3 ①	きめ細かな児童生徒支援事業 (幼稚園)	H30 ～ R13	特別な支援を要する児童に対し支援をする事により、幼稚園における集団生活での対応や先に控える小学校生活のスムーズな促しを図るため、個に応じたきめ細かな支援を行うことが出来るよう特別支援教育支援員及び特別支援教育コーディネーター、臨床心理士を配置する。	・対象となる園児の保護者へのアンケート調査を実施し、「特別支援員の対応への満足度」(80%以上)を成果目標とする。	・アンケート調査の、「特別支援員の対応への満足度」:100%	◎
27 与那原町	3 ②	ひとり親家庭等放課後児童クラブ利用支援事業	R4 ～ R13	ひとり親家庭等の児童が放課後児童クラブを利用した場合の経済的負担を軽減するために、利用料を減免する放課後児童クラブへ減免に要した費用の一部を助成する。	対象家庭(保護者)へアンケートを行い、80%以上が「利用料減免により放課後児童クラブを利用することができた」等の回答を成果目標とする。	・アンケート調査の「利用料減免により放課後児童クラブを利用することができた」等の回答割合:100%	◎
27 与那原町	4	与那原町海外友好親善大使 人材育成事業	H27 ～ R13	文化交流を推進するため、与那原町出身の海外移住者子弟を本町で研修生として受け入れ、日本語研修及び文化研修等を通して、本町及び本県と移住先国とのネットワークを強化し、友好親善並びに沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育成する。	・交流会の開催:1回 ・帰国後に現地で報告会:1回 ・与那原町における交流会でのアンケート:国際交流に関心がある人の割合:91% ・帰国後の研修報告会でのアンケート:沖縄・与那原に関心がある人の割合:100% (PR大使としての活動の実施)	・交流会の開催:1回 ・帰国後に現地で報告会:1回 ・与那原町における交流会でのアンケート:国際交流に関心がある人の割合:94% ・帰国後の研修報告会でのアンケート:沖縄・与那原に関心がある人の割合:100%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
27 与那原町	5	新しい公共交通検討事業	H31 ～ R6	高齢者や障がい者、妊婦等の交通弱者に配慮した移動手段を確保するため、福祉型町内バスの導入検討のために実証実験を行う。	町内バスの導入可否の決定	町内バスの導入可否未決定	未
27 与那原町	6	与那原町防災力強化事業	H28 ～ R10	いつ起こるかかわからない災害に対して、防災士の資格取得の支援や備蓄食料及び資機材を整備することにより防災力の強化を図る。	令和6年度備蓄食料カバー率 100%	令和6年度備蓄食料カバー率 100%	◎
27 与那原町	7	与那原町伝統文化発信事業	R4 ～ R7	与那原町の伝統文化の魅力を町民向けに発信することにより、その継承発展につなげ後継者の育成を図る。また合わせて県内外へ発信することにより、観光客の誘致につなげる。	・網曳資料館への4,000人誘客	－	繰
27 与那原町	8	与那原町豊かな暮らしを支える交通環境構築事業	R4 ～ R13	町民の豊かな暮らしを支え、新たなまちづくりを達成するためには、町内外への移動について、安心安全で円滑に移動できる、交通環境を整える必要がある。そのため、本事業で交通環境を整えるための各種施策を実施する。	①公共交通教育の理解 参加人数の80%が理解 ②シェアサイクル導入の実証実験開始	①公共交通教育の理解、参加人数に対する理解割合:92% ②シェアサイクル導入の実証実験開始	◎
27 与那原町	9	運玉森「平和学習広場」整備事業	R1 ～ R6	運玉森での平和学習の機会を増やすため、山頂付近での掲示板や床敷の表示板及び山頂までの散策路等の整備を行い、登山者の安全及び受入環境を確保する。	平和学習広場駐車場整備工事の完了	平和学習広場駐車場整備工事完了	◎
27 与那原町	10	市街地拡大地区可能性調査事業	R5 ～ R7	与那原町都市計画マスタープランにおいて「市街地拡大検討地区」と位置づけられた「上与那原町道前の井線」周辺において、地権者等への市街化に対する意向調査及び市街地拡大の事業手法等を検討するとともに、都市拠点としての当該地区における都市機能の充実や良好な住宅市街地の形成を目指すための可能性を模索する。	可能性調査業務の完了 (まちづくり基本計画の策定)	－	繰
27 与那原町	11	与那原町青少年人材育成交流事業	H24 ～ R13	町内の児童生徒及び青少年が、風土・文化の異なる地域での経験を通し広い視野を持つことで、これからの町の発展に寄与する人材となることを目的とする。県外へ派遣し現地にて交流事業等を実施し、異文化に触れることでより一層の郷土愛、地元愛を育む。	・事後アンケートの実施。達成度の回答80% ・報告会の開催 1回 ・ジュニアリーダークラブまたは準会員としての登録 5名以上	・事後アンケート達成度の回答割合:98% ・報告会の開催 1回 ・ジュニアリーダークラブまたは準会員としての登録:10人	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号		事業名	計画期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
28 南風原町	1	1	青少年国際交流事業	H24 ～ R13	海外移民者との交流や海外での生活体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、青少年を海外へ派遣し、教育・文化・歴史・産業などの視察学習、ホームステイ、及び現地の学校への体験入学を実施する。	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。:100%	◎
28 南風原町	1	2	小学校英語指導助手配置事業	H24 ～ R13	小学生のうちから英会話に触れさせ、英会話や英語圏の文化について興味を持たせ英語力を向上させるため、小学校に英語指導助手を配置する。	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う児童の割合:80%以上	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う児童の割合:80%以上:81.05%	◎
28 南風原町	1	3	学力調査等事業	H24 ～ R13	学力調査等により個々の学力を把握することで、一人ひとりの課題を明確にし、学習の目的意識の醸成をはじめ、「わかる授業」の強化や家庭学習の習慣化を通して「確かな学力」の向上に繋げるため、学力調査等を実施する。また、リーディングスキルテストにより読解力の課題を把握するとともに、分析と指導法を研究・共有しながら、読解力の向上を取り入れた授業改善に取り組む。	・標準学力調査の平均回答率が目標値以上の科目数 小学2年:2科目/2科目 小学3年:2科目/2科目 ・沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差の合計 小学校:算数-1.0ポイント以上 ・沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差の合計 中学校:数学+1.0ポイント以上	・標準学力調査の平均回答率が目標値以上の科目数 (小学2年:2科目/2科目、小学3年:2科目/2科目):小学校:2年/1科目、3年/1科目 ・沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差の合計(小学校:算数-1.0ポイント以上):小5 算数 -1.1、小6 算数 +0.2 ・沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差の合計(中学校:数学+1.0ポイント以上):中1 数学-0.2、中2 数学+0.9	△
28 南風原町	1	4	学習支援員配置事業	H24 ～ R13	通常の授業についていけない児童生徒の学力向上を図るため、小・中学校に学習支援員を配置する。	・小学校 沖縄県学力到達度調査の県と本町との平均正答率の差の合計(算数-1.0ポイント以上) ・中学校 沖縄県学力到達度調査の県と本町との平均正答率の差の合計(数学+5.1ポイント以上)	・小学校 沖縄県学力到達度調査の県と本町との平均正答率の差の合計(算数-1.0ポイント以上):算数-0.5ポイント ・中学校 沖縄県学力到達度調査の県と本町との平均正答率の差の合計(数学+5.1ポイント以上):数学+0.1ポイント	△
28 南風原町	1	5	特別支援教育支援員配置事業	H24 ～ R13	特別な支援を要する障害がある児童生徒への学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上:97%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
28 南風原町	1 6	学校ICT推進事業	H24 ～ R13	学校におけるICT機器を活用した授業を支援するため、ICT支援員を配置する。また、電子黒板一式や指導者用デジタル教科書などのICT機器等を整備し、授業環境の効率化を図る。	・①教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合:80%以上 ・②児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすいと答えた割合:80%以上	・①教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合:80%以上:83% ・②児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすいと答えた割合:80%以上:81.27%	◎
28 南風原町	1 7	教育相談支援事業	H24 ～ R13	不登校児童生徒数の改善を図るため、小中学校に教育相談員等を配置し、不登校または不登校傾向にある児童生徒及び不登校や発達障害等の子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対して相談等の支援を行う。また、学校に作業療法士を派遣し児童生徒の多様性に対応した学習環境を構築し、不登校の未然防止に取り組む。	・不登校児童生徒復帰数(14名)	・不登校児童生徒復帰数(14名):46名	◎
28 南風原町	1 8	中学校外国人英語指導助手配置事業	H24 ～ R13	中学校英語学力の向上を図るため、中学校に外国人英語指導助手を配置する。	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 ・中学校1年・2年(英語+1.0ポイント以上)	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 ・中学校1年・2年(英語+1.0ポイント以上):1年:-1.3 2年:-2.9	未
28 南風原町	1 9	南風原町県外等派遣支援事業	H25 ～ R13	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、町内に在住する小学生・中学生及び地域青年会等が運動競技及び文化活動参加のため県外や国外へ派遣される場合に必要派遣費用の支援を行う。	対象児童等の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者等に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	対象児童等の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者等に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。:100%	◎
28 南風原町	1 10	南風原町幼稚園体育活動充実事業	H28 ～ R13	幼少期に運動する楽しさを実感してもらうことにより、その後の運動習慣を身に付けられるよう、南風原町内の幼稚園児を対象とし、専門的な知識を持つ講師による体育指導を実施する。	運動する楽しさを実感したか(80%以上)を含め、アンケートによる本事業のあり方を検証する。	運動する楽しさを実感したか(80%以上)を含め、アンケートによる本事業のあり方を検証する。92.8%	◎
28 南風原町	1 11	南風原町各種大会派遣支援事業	H25 ～ R13	県外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、町内の小・中学校の児童生徒が、学校を代表し、中学校体育連盟等が主催する県外で開催される運動競技大会又は文化関係大会に参加する際の大会派遣費用を支援する。	保護者アンケートで児童生徒の視野が広がったと実感した割合:80%以上)	保護者アンケートで児童生徒の視野が広がったと実感した割合:80%以上):100%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号		事業名	計画期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
28 南風原町	1	12	南風原町学校プール日よけ設置事業	R4 ～ R6	プール授業において児童生徒が安全に授業を行うことができるよう、熱中症対策のために日よけ設備の設置を行う。	日よけ設備の設置により、整備箇所において熱中症者0人。	日よけ設備の設置により、整備箇所において熱中症者0人。:0人	◎
28 南風原町	2	1	南風原町観光景観美化整備事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光ルートとなる道路及び公園等の美化整備を行う。	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。:81%	◎
28 南風原町	2	2	ヒーローのまちづくり事業	H25 ～ R13	南風原町が輩出した人材の功績を継承するとともに、観光客を本町へ誘客するため、南風原町が輩出した人材の功績や経歴、所有品の展示等のイベント等を実施する。	イベント(上映会、風上げ、金城哲夫展等)来客者数(2,884人)	イベント(上映会、風上げ、金城哲夫展等)来客者数(2,884人)3,411人	◎
28 南風原町	2	3	シマじまガイド事業	H24 ～ R13	住民が地元の歴史や文化を学ぶ機会を創出するとともに観光誘客を図るため、地域ガイドを活用したまち歩きツアー等を実施する。	シマじまガイド事業参加者(983人)	シマじまガイド事業参加者(983人):2,465人	◎
28 南風原町	2	4	黄金森公園スポーツ施設活性化事業	H25 ～ R13	陸上、サッカー等合宿利用者数の増加及びJリーグキャンプ誘致による誘客を図るため、黄金森公園スポーツ施設のJリーグキャンプ受入体制等の整備を行う。	・陸上、サッカー等合宿利用者数:560人(実人数) ・Jリーグキャンプ・全国大会等来場者数(2,600人)	・陸上、サッカー等合宿利用者数:560人(実人数):583人 ・Jリーグキャンプ・全国大会等来場者数(2,600人):2,132人	○
28 南風原町	2	5	南風原町観光PR促進事業	H25 ～ R13	本町の認知度向上と地域資源の情報発信を図るため、イメージキャラクターのはえるんや野菜のお友達を活用し、様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを実施する。また、観光PRコンテンツを制作及び活用し観光誘客につなげる。	・SNS(インスタグラム)閲覧数(102,000件)	・SNS(インスタグラム)閲覧数(102,000件):243,865件	◎
28 南風原町	2	6	南風原町商品展開力強化支援事業	H24 ～ R8	本町の地域資源を活用して製造及び販売する商品のブラッシュアップ、企業マッチングを支援するとともに、販路開拓を図る。また、優れた特産品については、町内ブランド「はえるる良品」の認証を行う。	・商品改良の実施 ・「はえるる良品」の認証の実施	・商品改良の実施:実施 ・「はえるる良品」の認証の実施:実施	◎
28 南風原町	2	7	南風原町和牛改良支援事業	H27 ～ R13	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛と導入牛以外の牛から生まれた子牛との価格差の割合(牝)110%、(去勢)110%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛と導入牛以外の牛から生まれた子牛との価格差の割合(牝)110%、(去勢)110%以上:(牝)94.68%(去勢)85.35%	○

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号		事業名	計画期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
28 南風原町	2	8	南風原南インターチェンジ周辺企業集積推進事業	R1 ～ R9	南風原南インターチェンジ周辺地区を「新規産業集積ゾーン」として企業誘致等により産業拠点の形成を目指す。本事業は国道507号の西側にある津嘉山地区、東側にある照屋地区において土地利用構想の作成、地権者組織の支援及び実現化に向けた検討、都市計画決定図書の作成を行い、土地利用の早期実現に向けて取り組む。	津嘉山地区北エリア:地区計画の策定	津嘉山地区北エリア:地区計画の策定:地区計画図書作成完了	◎
28 南風原町	2	9	ふるさと博覧会事業	R4 ～ R12	ふるさと博覧会を開催し町の知名度を向上させ観光客の誘客を図る。	来場客数:9,000人	来場客数(9,000人):21,894人	◎
28 南風原町	3	1	草木リサイクル事業	H24 ～ R13	焼却ごみを減らし、環境に負荷の少ない「循環のシステム」を構築によりごみ処理処分場の長寿命化を図るため、町内から排出される草木を細かく破碎し再利用する。	・家庭系草木のリサイクル量(堆肥化):522t ・町内一斉清掃等草木のリサイクル量(堆肥化):104t	・家庭系草木のリサイクル量(堆肥化)522t:351t ・町内一斉清掃等草木のリサイクル量(堆肥化)104t:73t	未
28 南風原町	3	2	環境保全3R推進事業	R1 ～ R13	環境負荷の少ない循環型社会の形成と、ごみ処理処分場の長寿命化を図るため、本町の一般世帯から回収された資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、廃食油、ペットボトル、古着)を細分化した上で分別作業を実施しリサイクルを推進する。	・資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、ペットボトル、古着)の収集分別量888t ・廃食油の収集分別量 16,000ℓ	・資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、ペットボトル、古着)の収集分別量(888t):844t ・廃食油の収集分別量(16,000ℓ):12,560ℓ	○
28 南風原町	4	1	放課後児童の居場所づくり支援事業	H24 ～ R13	安心・安全に子供を預けることができ、保護者の子育てへの負担感を軽減するため、民間の賃貸住宅等を利用している本町の学童クラブに対して、家賃の補助を実施する。また、学童クラブが生活保護世帯及びひとり親家庭・非課税世帯等の学童利用者に対し利用料を減免した場合の補助を実施する。さらに、デジタル技術の活用で学童クラブの質の向上を図り、安心して児童を預ける環境を整備する。	安心・安全に子どもを預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか、本事業により、就労できた又は就労を継続できたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	安心・安全に子どもを預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか、本事業により、就労できた又は就労を継続できたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。:97%	◎
28 南風原町	4	2	認可外保育園支援事業	R1 ～ R13	出生率の高い沖縄の課題である待機児童の受け皿となっている認可外保育園の保育の充実、児童の福祉向上を図るため、本町の認可外保育園に対して運営費補助等を行うとともに、町外の認可外保育園利用者に対し、保育料の一部助成を行う。	園児の保護者に対し、保育の質が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。	園児の保護者に対し、保育の質が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。:100%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号		事業名	計画期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
28 南風原町	4	3	輸入感染症対策推進事業	R2 ～ R13	新型コロナウイルス感染症対策の為に入国制限措置が段階的に緩和され、麻しん及び風しんに感染した観光客が来県した場合でも、当該感染症の蔓延を予防するとともに沖縄観光や経済への影響を最小限にするため、麻しん風しん(MR)予防接種の受けやすい体制の構築により接種率の向上を図る。	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数(0件):0件	◎
28 南風原町	5	1	陸軍病院壕公開活用事業	H24 ～ R13	南風原町の歴史継承及び観光誘客を図るため、沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行うとともに、整備・公開している20号壕を訪れる県内外の見学者に対して、壕内外のガイド案内を実施する。	見学者数8,000人	見学者数(8,000人):7,684人	○
28 南風原町	5	2	子ども平和学習交流事業	H24 ～ R13	子どもたちが平和について理解を深めるため、戦争と平和、差別や人権等について、施設を訪ねたり交流や研修を重ね学習する。	・参加児童の保護者へのアンケートにおいて、「子どもにより変化がみられた」の回答:90% ・参加児童の保護者へのアンケートにおいて、「参加後、平和や戦争、人権や差別等について、社会の問題に興味があった児童」の回答:90%	・参加児童の保護者へのアンケートにおいて、「子どもにより変化がみられた」の回答(90%):100% ・参加児童の保護者へのアンケートにおいて、「参加後、平和や戦争、人権や差別等について、社会の問題に興味があった児童」の回答(90%):100%	◎
28 南風原町	5	3	伝統芸能保存育成事業	H24 ～ R13	伝統芸能の継承を図るため自治会への道具・衣装・楽器・面具などの購入や修繕に対して補助金を交付する。	補助団体による伝統芸能上演回数(12回)	補助団体による伝統芸能上演回数(12回):年内の活用ができなかったため未検証	未
28 南風原町	5	4	資料の公開活用事業	H24 ～ R11	南風原町独自の資源を活用した地域づくりを図るため、南風原文化センターに収蔵されている貴重な歴史資料等をデータベース化して整理し、公開活用を行う。	・写真、レコード資料整理5,000点 ・染織資料1,100点、南風原町史掲載写真資料550点の公開のフォーマットに合わせたデータ整理 ・資料公開システム導入	・写真、レコード資料整理5,000点:5,258点 ・染織資料1,100点、南風原町史掲載写真資料550点の公開のフォーマットに合わせたデータ整理:染織1,210点 写真556点 ・資料公開システム導入:システム導入	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
28 南風原町	5	5 南風原町海外移住者子弟研修生受入事業	H24 ～ R12	それぞれの生まれ育った国や地域への理解を深め、海外と本町を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、南風原町出身の海外移住者子弟を研修生として受け入れ、移民の歴史をはじめとした、相互の文化と歴史の学習を実施する。	研修後、研修生・ホームステイ先・研修関係者に対してアンケートを実施 ①研修終了後、移民史に興味があった:80%以上 ②日本語をさらに習得したい:80%以上 ③日本や沖縄の文化や歴史に以前より関心を持つようになった:80%以上 ④海外の子弟と交流ができてとても良かった:80%以上 ⑤ホストファミリーとしてまた研修生を受け入れた:70%以上	研修後、研修生・ホームステイ先・研修関係者に対してアンケートを実施 ①研修終了後、移民史に興味があった:80%以上:100% ②日本語をさらに習得したい:80%以上:100% ③日本や沖縄の文化や歴史に以前より関心を持つようになった:80%以上:100% ④海外の子弟と交流ができてとても良かった:80%以上:100% ⑤ホストファミリーとしてまた研修生を受け入れた:70%以上:—(今回ホストファミリーではなく民宿に宿泊のため評価無し)	○
28 南風原町	6	1 長寿県復活食の応援事業	H25 ～ R13	将来の生活習慣病の予防に向けて、食生活や生活習慣の改善に係る知識の普及を図るため、生活習慣病予防健診及び健診結果説明会を実施する。	中学2年生の継続受診率60%(令和3年度小学5年生で受診した者のうち、中学2年生でどれだけ健診を継続して受診できたか)	中学2年生の継続受診率60%(令和3年度小学5年生で受診した者のうち、中学2年生でどれだけ健診を継続して受診できたか):67.3%	◎
28 南風原町	7	1 南風原町防災情報発信強化事業	R5 ～ R7	災害時に住民や観光客への適確な情報発信として、防災行政無線の屋外子局(スピーカー)の機能向上や増設、複数メディアへの同時配信機能整備等により、被害を最小限に抑える対策を講ずるため、防災行政無線の情報発信強化を行う。	整備工事	—	繰
28 南風原町	8	1 国際交流拠点ネットワーク推進事業	H27 ～ R6	観光・経済・文化等の様々な多角的交流を行い、世界のウチナーネットワークの継承・発展及び交流ネットワークを生かす国際交流拠点の形成を図る。	・式典開催後、南風原町及び沖縄に興味があった:80%以上 ・南風原町及び沖縄の文化や特産品に以前より関心を持つようになった:80%以上 ・カナダ及びレスブリッジ市に以前より興味、関心を持つようになった:80%以上 ・国際交流に興味、関心を持つようになった:80%以上	・式典開催後、南風原町及び沖縄に興味があった:80%以上:88% ・南風原町及び沖縄の文化や特産品に以前より関心を持つようになった:80%以上:83% ・カナダ及びレスブリッジ市に以前より興味、関心を持つようになった:80%以上:100% ・国際交流に興味、関心を持つようになった:80%以上:92%	◎
29 渡嘉敷村	1	① 渡嘉敷村観光総合推進事業	H24 ～ R13	観光需要の回復を図るため、県内外の観光イベントにおけるPR活動や、各種広告媒体を活用した情報発信を継続し、多様な観光ニーズに対応する、withコロナ時代の新しい観光地づくりに取り組む。	・年間入域観光客数 134,800人以上 ・観光客を対象としたアンケートを実施し、利便性が確保されているか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	・年間入域観光客数 134,800人以上:142,153人 ・観光客を対象としたアンケートを実施し、利便性が確保されているか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する.:84%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
29 渡嘉敷村	1 ②	渡嘉敷村美化清掃事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、村内の海浜、道路、公園などの清掃作業及び花木等の植栽を実施する。	観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。:86.6%	◎
29 渡嘉敷村	1 ③	渡嘉敷村観光振興事業	H29 ～ R13	渡嘉敷村の観光振興を図るため、イベント実行委員会等への支援や案内業務や誘致活動に取組む観光協会への支援を行う。	・年間入域観光客数(134,800人) ・各種イベントの開催(実施)	・年間入域観光客数(134,800人):142,153人 ・各種イベントの開催(実施):実施	◎
29 渡嘉敷村	1 ④	渡嘉敷村海域安全確保事業	R1 ～ R13	村内の2ビーチ(阿波連ビーチ・渡嘉志久ビーチ)において、ビーチ利用者の水難事故防止及び安全確保を図るため水難救助員等を配置する。	・監視員配置期間中の水難死亡事故(0件)	・監視員配置期間中の水難死亡事故(0件):0件	◎
29 渡嘉敷村	2 ①	自動車航送コスト負担軽減事業	H28 ～ R13	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図るため、渡嘉敷港～那覇泊港間の車輛航送利用者に対し運賃の半額を補助する。	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、住民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、住民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。:99%	◎
29 渡嘉敷村	2 ②	渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業	H25 ～ R13	渡嘉敷村営定期船の欠航時、または予定運行時刻に変更が生じた場合の補完的手段として、那覇空港～渡嘉敷ヘリポート間のヘリコプターチャーター便の利用者の運賃負担を支援することで、利便性を確保する。	渡嘉敷村営定期船の欠航時等に代替手段となるヘリコプターの運賃補助を行うことで、利便性が確保されていると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する	渡嘉敷村営定期船の欠航時等に代替手段となるヘリコプターの運賃補助を行うことで、利便性が確保されていると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する:100%	◎
29 渡嘉敷村	3 ①	小学校学習支援配置事業	H24 ～ R13	児童の学力に応じた個々の学習指導を行うため、小学校に学習支援員を配置する。	沖縄県学力到達度調査において、県の平均正答率との差、3.1ポイント以上	沖縄県学力到達度調査において、県の平均正答率との差、3.1ポイント以上:-8ポイント	未
29 渡嘉敷村	3 ②	児童・生徒派遣支援事業	H25 ～ R13	村外で開催されるスポーツ及び文化的教育活動等の大会に参加する児童・生徒に対し、交通費等の補助を行い、教育意欲の向上を図る。	児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対してアンケートを実施し、事業のあり方を検証する。	児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対してアンケートを実施し、事業のあり方を検証する。:100%	◎
29 渡嘉敷村	3 ③	家庭教育支援事業	H28 ～ R13	村内に在籍する小学校5年生から中学校3年生までを対象とし、オンライン学習塾を実施することにより教育環境格差の大きい離島地域において環境を整備する。	・オンライン学習塾への参加率 60%以上 ・中学3年生の志望校合格率 80%以上	・オンライン学習塾への参加率 60%以上:65% ・中学3年生の志望校合格率 80%以上:100%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
29 渡嘉敷村	4 ①	渡嘉敷村農村整備振興事業	R4 ～ R13	農業(農家の利便性、安全性の確保及び新規農業従事者獲得に向けたアピール)、観光(自然を感じられる散策コースとしてアピール)、環境(動植物保護のための保全活動)の3つの総合的な観点から農村地域の整備を行い、魅力と活力のある継続可能な農業振興を図る。	農業者へのアンケート (農環境が改善した80%以上)	農業者へのアンケート (農環境が改善した80%以上):87%	◎
29 渡嘉敷村	5 ①	渡嘉敷村防災体制強化事業	R5 ～ R6	安心安全に暮らせる村及び災害にも強い観光地づくりを推進するために、災害情報や避難情報伝達を取りこぼす事無く、情報伝達を出来るよう無線放送と防災監視カメラの機能強化を行う。	・防災用スリムスピーカーの設置、防災監視カメラの設置	・防災用スリムスピーカーの設置、防災監視カメラの設置:設置完了	◎
30 座間味村	1 ①	座間味村海域安全隊事業	H24 ～ R13	村内指定の3ビーチにおいて、観光客の増加する4月中旬から11月中旬の期間、海洋事故防止及び安全確保並びに自然環境の保全活動を図るためライフセーバー員等を配置する。	ライフセーバー配置期間中の死亡事故0件	ライフセーバー配置期間中の死亡事故0件:0件	◎
30 座間味村	1 ②	座間味村がんばる観光支援事業	H24 ～ R13	観光客誘致を図るため、各イベント実行委員会へ補助金を交付するとともに、PR素材を活用した県内外へのプロモーション展開施策を実施する。	入域観光客数112,000人	入域観光客数112,000人:104,346人	○
30 座間味村	1 ③	座間味村観光受入拠点事業	H24 ～ R13	観光客の利便性確保及び観光誘客を図るため、座間味村観光協会が実施する観光誘客活動及び観光案内業務等の取り組みに対して補助を行う。	・観光客の利便性向上が図られたか(80%以上)を含め、観光客へのアンケートにより本事業のあり方について検証する ・観光客へのおもてなしに活用できると感じたか(80%以上)を含め、講習会に参加した観光事業従事者へのアンケートにより、本事業の在り方を検証する。	・観光客の利便性向上が図られたか(80%以上)を含め、観光客へのアンケートにより本事業のあり方について検証する:83% ・観光客へのおもてなしに活用できると感じたか(80%以上)を含め、講習会に参加した観光事業従事者へのアンケートにより、本事業の在り方を検証する.:未実施	△
30 座間味村	1 ④	座間味村戦跡及び戦争記念碑等整備	H29 ～ R6	平和学習を目的とした修学旅行・観光客誘致、住民利用促進を図るため、村内に点在する戦跡や記念碑等の周辺環境整備を行う。	平和の塔進入路の整備工事の完了	平和の塔進入路の整備工事の完了:完了	◎
30 座間味村	1 ⑤	座間味村防災力強化事業	R6 ～ R7	災害時の備えや発災時において、住民及び観光客の安心・安全を確保するため、老朽化している消防車庫を改築し機能性を高める。また、備蓄倉庫を設置し、住民及び観光客への緊急時の対応強化も図る。	設計業務の完了	設計業務の完了:完了	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
30 座間味村	2 ①	座間味村島ちやび解消移動手段安定化対策事業	H24 ～ R13	定期船欠航時等の沖縄本島への移動手段を確保し、離島の不利性解消を図るため、那覇～座間味村間のヘリコプターチャーター便利用に係る運賃負担に補助を行う。	利用者アンケートを実施し、「利便性が確保された」との回答80%以上を目標とする。	利用者アンケートを実施し、「利便性が確保された」との回答80%以上を目標とする。:100%	◎
30 座間味村	2 ②	座間味村自動車航送運賃低減化事業	H25 ～ R6	離島住民の利便性向上を確保するため、高額である座間味村⇄沖縄本島間のフェリー車両航送にかかる運賃補助を実施し、高い交通コストの改善を図る。	利用者へアンケートを行い、フェリーの自動車輸送費補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により当該事業の在り方を検証する。	利用者へアンケートを行い、フェリーの自動車輸送費補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により当該事業の在り方を検証する。:91.2%	◎
30 座間味村	2 ③	座間味村冬季船舶運賃低減化実証実験事業	R4 ～ R7	観光客誘客を図り、観光客の増加＝旅客の増加により、村民生活に欠かすことのできない航路事業の安定化を図るため、冬季(1月～3月)の閑散期における那覇発の船舶運賃を低減化する。	1月～3月旅客数:9,500名以上 1月～3売上:40,000千円以上	1月～3月旅客数:9,500名以上:16,717名 1月～3売上:40,000千円以上:73,092千円	◎
30 座間味村	2 ④	座間味村大型2種免許取得助成事業	R4 ～ R6	座間味村内唯一の公共交通機関である村営バスについて、大型2種免許保有者が村内に少数である為、今後のバス運行継続の為に運転手の確保が喫緊の課題である。免許取得費用並びに取得期間における宿泊費や交通費の支援を行い、運転手不足の解消、雇用拡大に繋げ、住民ならびに観光客の交通手段の確保、観光客の利用拡大、公共交通の安全性確保を図る。	助成人数:8名	—	—
30 座間味村	2 ⑤	預かり保育事業	R6 ～ R13	自営業者が多く保護者が共働きの家庭が多い本村において、多様な保育ニーズに対応するため預かり保育を実施する。	預かり希望日数に対しての受入れ実績日数50%以上	預かり希望日数に対しての受入れ実績日数50%以上:55.7%	◎
30 座間味村	2 ⑥	児童・生徒派遣支援事業	R6 ～ R13	村外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会、県大会や全国大会等に参加する児童生徒に対し、交通費、宿泊費等の補助を行う。	児童生徒が各種スポーツ大会及び文化活動等に、意欲的に取り組んでいるか等を結果を見て、本事業のあり方を検証する。:県大会出場	児童生徒が各種スポーツ大会及び文化活動等に、意欲的に取り組んでいるか等を結果を見て、本事業のあり方を検証する。:3大会/12名派遣	◎
31 栗国村	1 ①	環境美化促進事業	H24 ～ R13	魅力的な景観地としての景観形成を図るため、観光地及び観光アクセス道路の美化・緑化活動を実施するとともに、外来植物の駆除を行う。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか…80%以上	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか…70%	○

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
31 粟国村	1 ②	粟国村「ア」の国づくり推進事業	H26 ～ R13	イベントを通して、地域の伝統芸能の保存継承を図るとともに、観光誘客を図るため、粟国村「ア」の国まつりの開催及び広報周知活動を実施する。	○粟国島芸能:出演演舞者50人(むんじゅる節、むんじゅる太鼓、マースヤー、エイサー) ○イベント来場観光客数:100人(2日間) ○広報周知活動【フェア出展】 5,000人に観光PR用の配布物を提供する。 ○粟国村観光PR活動の実施	○粟国島芸能:出演演舞者41人 ○イベント来場観光客数:79人 ○広報周知活動 5000人に観光PR用配布物を提供した。 ○粟国村観光PR活動を実施した。	○
31 粟国村	1 ③	ハブ対策事業	R2 ～ R13	地域住民や観光客の安全確保の為、ハブの捕獲・駆除を行う。	【ハブの捕獲等】 ハブ咬傷被害 0件 【学校施設工事】 ハブ侵入対策の測量設計業務完了 (学校施設)	【ハブの捕獲等】 ハブ咬傷被害 0件 【学校施設工事】 ハブ侵入対策の測量設計業務完了 (学校施設)	◎
31 粟国村	2 ①	国際交流支援事業	H27 ～ R13	海外での生活体験を通して外国語への学習意欲の向上と豊かな国際性を身につけた人材を育成するため、本村中学生を対象に海外短期留学を実施する。	○帰国後、派遣対象生徒へ「ホームステイ実施後、授業等への取組姿勢などが向上した」…80%以上 ○英語検定受験者の増加(生徒の70%以上が受検)	○帰国後、派遣対象生徒へ「ホームステイ実施後、授業等への取組姿勢などが向上した」…100% ○英語検定受験者の増加(生徒の70%以上が受検)…53%	○
31 粟国村	2 ②	学力向上支援事業	H27 ～ R13	島内の児童生徒の学習環境の充実を図り、生徒の学力向上を図るため、村営塾を実施する。	○沖縄県学力到達度調査での県平均値以上 ○対象児童生徒の「授業等への取組姿勢などが向上したか」…80%以上	○小6算:+18.2p 小5算:+2.9p 中1数:+2.5p 英:+11.6p 中2数:+5.5p 英:-4.8p ○対象児童生徒の「授業等への取組姿勢などが向上したか」…100%	○
31 粟国村	2 ③	児童・生徒派遣支援事業	H25 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される大会等及びその指導者等に対し、運賃等の補助を行う。	対象児童生徒及び保護者に対してアンケートを取り、児童生徒の視野が広がったか…80%	対象児童生徒及び保護者に対してアンケートを取り、児童生徒の視野が広がったか…100%	◎
31 粟国村	3 ①	粟国村交流人口航空運賃コスト負担軽減事業	R3 ～ R13	粟国村へ来訪する人の渡航費負担を軽減させ、観光入域者数の増加を図るため、航空事業者が観光客等に対して運賃を割り引いて販売した際の差額分を補填する。	粟国村への観光入域客数:3,300人以上	粟国村への観光入域客数:3,208人	○
31 粟国村	3 ②	粟国村自動車航送運賃低減化事業	R2 ～ R13	村民が沖縄本島と粟国間の移動しやすい環境を構築することで離島における定住環境の改善を図る為、粟国～那覇間の車両構想利用者に対して往復運賃の半額補助を行う。	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか…80%以上	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか…89%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
31 粟国村	3	④ 粟国村交通移動手段低減化対策事業	R5 ～ R13	本村への来島者の利便性の確保及び島民との交流増加を図るため、那覇泊港発フェリーの往復運賃を一部支援する。	アンケートにおいて満足度を80%以上とする	アンケートにおける満足度98%	◎
31 粟国村	3	⑤ 離島空航路チャーター運航支援事業	R5 ～ R13	那覇・粟国間航空路線の確保・維持により定住条件の整備を図るため、村民の生活路線として運航するチャーター便の運航に伴い生じた欠損額に対し、県と協調して補助を行う。	那覇⇄粟国間航空路線の確保・維持	那覇⇄粟国間航空路線の確保・維持	◎
31 粟国村	3	⑥ 粟国村拝所整備事業	R6 ～ R8	伝統行事の保存を行うために、各種拝所について整備を行う。	基本計画の完了	基本計画の完了	◎
31 粟国村	3	⑦ 第2次粟国村観光振興計画策定事業	R6 ～ R6	本村の既存の観光振興計画を改訂することにより、施策の総合的且つ、計画的な観光推進を図る。	第2次粟国村観光振興計画の策定	第2次粟国村観光振興計画の策定完了	◎
31 粟国村	4	① 和牛改良支援事業	H25 ～ R8	本村畜産業の振興を図るため、県内外から母牛となる素牛としての優良雌牛の導入をして、付加価値の高い子牛の生産ができるよう支援する	優良雌子牛導入5頭	優良雌子牛導入2頭	未
31 粟国村	4	② 粟国島農業活性化事業	R5 ～ R13	干ばつ時の灌水対策や台風の追加後の塩害対策に向けた散水車両の導入により、離島地域の経済を支えているさとうきびを含めた農作物の増産に向けた取組を推進する。	○サトウキビ収穫量:1,822トン以上 ○もちきび収穫量:1,995kg以上 ○タマネギ収穫量:360kg以上	○サトウキビ収穫量:2,750トン ○もちきび収穫量:517kg ○タマネギ収穫量:0kg	△
31 粟国村	4	③ 集出荷場施設整備事業	R3 ～ R6	本村の特産品であるもちきびの安定的な出荷運用ができる施設設備の機能強化を行う。	集出荷施設における選別器・集塵装置の整備完了。	—	繰
32 渡名喜村	1	① 環境保全美化推進事業	H24 ～ R12	集落内及び観光地周辺の清掃美化、外来植物の駆除及び在来植物の保全育成を行う。	集落内及び観光地周辺の環境及び景観形成について、魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	集落内及び観光地周辺の環境及び景観形成について、魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(アンケート結果):87%	◎
32 渡名喜村	2	① 離島苦解消移動手段安定化対策事業	H25 ～ R13	島民及び来島者の交通手段を安定的に確保するため、フェリーの欠航時等に代替手段となるヘリタクシーを利用した場合の運賃を一部支援する。	フェリー欠航時に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	遂行困難 (フェリー欠航時において、本事業以外の利用者からのヘリタクシー利用が集中した結果、予約が取れずに搭乗が不可能となり、本事業の遂行が困難となった。)	－

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
32 渡名喜村	2 ②	渡名喜村自動車航送運賃 低減化事業	R6 ～ R13	村民が沖縄本島及び久米島町へ移動しやすい環境 を構築することで離島における定住環境の改善を 図るため、渡名喜村～久米島町～泊港間の車両航送 利用者に対し運賃を半額補助する。	沖縄本島及び久米島へ移動しやすい環境の構 築が図られたか(80%以上)を含め、住民へのアン ケートにより本事業のあり方を検証する。	沖縄本島及び久米島へ移動しやすい環境の構 築が図られたか(アンケート結果):98.3%	◎
32 渡名喜村	3 ①	環境衛生処理事業	R5 ～ R5	循環型社会の形成を図るため、生ごみ処理機を導入 し、生ごみの島内処理体制を構築する。	循環型社会の形成を図るため、生ごみ処理機及 び関連機器を導入し、生ごみ処理の島内処理体 制を構築する。	生ごみ処理機及び関連機器を導入し、生ごみ処 理の島内処理体制を構築:導入・構築(1基)	◎
32 渡名喜村	4 ①	多用途住宅整備事業	H24 ～ R10	農漁業をはじめ多様な産業・各種団体職員等のた めの住宅を確保し、地域雇用の創出と定住人口の増 加を図るため、集落内に集落景観に配慮した多用途 住宅を整備する。	基本設計:3件の完了 実施設計:2件の完了	基本設計:完了(3件) 実施設計:完了(2件)	◎
32 渡名喜村	5 ①	観光振興整備事業	H27 ～ R8	アフターコロナ以降の観光客のニーズ等に応え、本 村の魅力を再発掘するため、渡名喜村観光島計画 づくり(仮称)を策定し、新たな観光振興政策を推進 する。	・渡名喜村観光島づくり計画(仮称)の策定完了	・渡名喜村観光島づくり計画(仮称):策定完了	◎
33 南大東村	1 ①	健康診査専門スタッフ派 遣渡航費用支援事業	H24 ～ R13	住民検診が安定的に実施できる環境整備を整えるた め、集団検診(がん検診)で派遣される専門の医師、 保健師、看護師、検査技師等の来島渡航費用を支 援する。又、検診等に使用する胸部レントゲンを南大 東村診療所より保守管理料の1/2を2年に1度使用料 として折半する。	・集団検診受診率:38%	・27.6%	○
33 南大東村	1 ②	専門病院受診渡航費助成 事業	H25 ～ R13	定住促進を図る為、沖縄本島で専門の治療や検査 の受診を余儀なくされている住民や、40歳以上の胃 がん及び乳がん(マンモグラフィ)検診受診者の渡航 費を支援する。	・渡航費支援実施による離島苦の改善(渡航費 支援を要望する人への支援率:100%)	・100%	◎
33 南大東村	1 ③	遠隔離島定住促進住宅整 備事業	R5 ～ R6	1ターン・Uターンによる移住者等の定住促進を図 るため、定住促進住宅を整備する。	住宅用地・基本設計・建築工事・住宅(ユニットハ ウス)を取得完了(6世帯)。	—	繰
33 南大東村	1 ④	南大東村住生活実施計画 策定事業	R6 ～ R6	安心して生活できる住まいづくりやまちづくりの実 現のために具体的かつ計画的な施策を示す実施計画 を整備する。	住生活実施計画の策定完了	—	繰

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
33 南大東村	1 ⑤	エコライトでつながる健康・交流促進事業	R6 ～ R8	エコライト(省エネ型LED照明)の導入によって、夜間でも安全かつ快適に利用できる南大東村国民運動場を整備する。	南大東村国民運動場照明接尾設置工事(実施設計作成完了)	—	繰
33 南大東村	2 ①	花いっぱいクリーン環境整備事業	H26 ～ R13	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。	・観光客を対象に、観光地としての魅力向上が図られたか:80%以上	・85%	◎
33 南大東村	3 ①	人材育成派遣事業	H25 ～ R13	子供達の多様な能力と心身の発達や育成を図るため、島外で開催される各種大会の派遣費を支援する。	・派遣された児童生徒が広い視野を持てたか:80%以上	・100%	◎
33 南大東村	4 ①	文化の継承と観光の拠点機能強化整備事業	R5 ～ R7	南大東ふるさと文化センターは、村の歴史や文化の品々などを展示し、観光や学習の場の役割を担っている。既存の施設を更に活用する場として整備し、多くの観光客や島民の学習の場として機能強化を図る。	・展示に向けた各種整理の実施 ・施設改修実施設計完了	—	繰
33 南大東村	5 ①	南大東村ビジターセンター施設機能強化事業	R5 ～ R7	南大東村ビジターセンターの施設機能強化を行うことで天然記念物を地域の貴重な財産として活用することにより、生涯学習や環境教育の場として、更なる人々の交流、地域活性化を図ることを目的とする。	・展示に向けた各種整理の実施 ・実施設計の完了	—	繰
33 南大東村	6 ①	南大東村無電柱化推進計画策定事業	R6 ～ R6	安全・安心に暮らせる地域づくりの実現のために具体的かつ計画的な施策を示す無電柱化推進計画を整備する。	無電柱化推進計画の策定完了	—	繰
33 南大東村	7 ①	循環型農業推進事業	R4 ～ R7	南大東島のサトウキビ収量および糖度に、土壌の何が強影響しているかが明らかにされていない為、これらの収量及び糖度に影響する土壌要因を検証する。	・土壌実態調査及び土壌改良材の農場散布施用試験の完了	・完了	◎
33 南大東村	8 ①	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	R6 ～ R6	児童生徒の学力向上の為、ICT教育の環境を整備する。	・ICT機器を活用した児童生徒の満足度(授業が分かりやすかったと答えた割合):80%以上	・96%	◎
34 北大東村	1 ①	観光アクセス道路美化緑化推進事業	H24 ～ R13	観光地周辺・重要アクセス道路の修景及び美化を実施し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	魅力的な景観形成が図られたか85%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
34 北大東村	1 ②	地域の観光文化資源の担 い手育成事業	H24 ～ R13	伝統文化である大東太鼓の担い手を育成・確保し、 魅力を積極的に発信することによって観光誘客を図 るため、島外の文化交流イベント等に参加する演者 の渡航費を補助する。	島の観光入客者数:1,000人以上	島の観光入客数は沖縄県地域・離島課の「離島 関係資料」の公表時期の関係上毎年1年遅れで の公表になる	未
34 北大東村	2 ①	オンライン双方向授業支 援モデル事業	H25 ～ R13	村営塾を開講し、児童生徒の個々の学力に応じた 学習支援員による指導、及びICTを活用した現役東 大生によるオンライン双方向授業を実施することによ り、児童生徒の学力向上を図る。	①小学校 県平均以上 ・5年生:算数、国語 ・6年生:算数、国語 ①中学校 県平均以上 ・1年生:数学、国語、英語 ・2年生:数学、国語、英語	①小学校平均以下(県56.1%・村55.9%) ②中学校平均以下(県41.9%・村41.4%)	○
34 北大東村	3 ①	離島の定住促進に向けた 子育て基盤構築事業	H24 ～ R13	安心・安全に子育てできる環境を整備するため支 援員を配置し、認定こども園を実施することで、保護 者の育児への負担感を軽減する。	対象となる幼児の保護者へのアンケートで、安 心・安全に子供を預けることができ、育児の負担 感が軽減されたと感じた割合(80%以上)を含め事 業のあり方を検証する。	安心・安全に子供を預けることができ、育児の負 担感が軽減されたと感じた割合92%	◎
34 北大東村	3 ②	離島の児童生徒の交流促 進事業	H24 ～ R13	児童生徒の島外・県外へのスポーツや交流学习に おける派遣渡航費の補助を行い、児童生徒に広い視 野を持たせる。	派遣された児童生徒が広い視野を持てたか(80% 以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本 事業を検証する。	派遣された児童生徒が広い視野を持てたか 100%	◎
34 北大東村	3 ③	離島特別医療質確保推進 事業	H24 ～ R13	島内で対応できない専門医療を受ける際の渡航費 の一部助成を行うとともに、専門医療従事者を招聘し て相談や検診を行うことにより村民の心身の健康に 関する不安を解消する。	渡航費支援が必要な人への支援率:100% 心身の健康に関する不安が解消されたか(80% 以上)を含め、受診者へのアンケートにより本事 業のあり方を検証する。	渡航費支援が必要な人への支援率:100% 心身の健康に関する不安が解消されたか100%	◎
34 北大東村	4 ①	北大東村景観形成事業	H26 ～ R13	北大東村特有の地域性にあった景観づくりに向け て、海岸道路沿いの周辺環境に配慮した景観整備を 行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	村一周海岸道路の植樹環境整備 植樹工事等の完了:300m 魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含 め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事 業のあり方について検証する。	植樹工事等の完了:300m 魅力的な景観形成が図られたか(85%以上)	◎
34 北大東村	5 ①	土づくり推進事業	R3 ～ R13	大東島の土壌は、特殊な土壌であり作物栽培を行 う上での悪条件な土壌であることから、圃場ごとに土 壌カルテの作成を行い、圃場ごとに適した土壌作りを 促進し、農産物生産量を増加させる。	土壌カルテ作成(完了)	土壌カルテ作成(完了)	◎
34 北大東村	6 ①	北大東村深層地下海水利 活用事業	R4 ～ R8	水産業振興や新たな産業の創設を図るため、深層 地下海水の利活用を行う。	追加試掘、成分分析、利活用計画	－	繰

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「―」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
34 北大東村	7 ①	低炭素社会構築事業	R6 ～ R8	環境負荷を低減させた省エネルギー化社会を目指し、本村の有する公共施設の空調機器等を省エネ機器への切り替えを行い、温室効果ガスの削減を図る。	実施計画作成完了	実施計画作成完了	◎
34 北大東村	8 ①	重要文化的景観拠点エリア活用・修景事業	R6 ～ R9	北大東村の地域振興、文化財活用及び観光振興のため、歴史資源である重要文化的景観の範囲内において、拠点エリアの活用・修景整備を行う。	基本設計作成	基本設計作成	◎
34 北大東村	9 ①	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	R6 ～ R6	ICT機器を活用したわかりやすい授業を展開することで、児童生徒の学力向上を図る。	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったかと答えた割合(80%以上)を含め事業のあり方を検証する。	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったかと答えた割合(82%以上)	◎
35 伊平屋村	1 ①	商工観光産業支援事業	H24 ～ R13	民泊利用者の増加を図るため、伊平屋島観光協会の活動を支援する。	民泊利用者数:2,696人以上	民泊利用者数:1,575人	未
35 伊平屋村	1 ②	観光地イメージアップ推進事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地や観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施する。	アンケート調査により、観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じる回答:80%以上	アンケート調査により、観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じる回答:80%	◎
35 伊平屋村	1 ③	誘客イベント推進事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、イベントの開催支援等を行う。	村内入域観光客数19,000人以上	村内入域観光客数22,569人	◎
35 伊平屋村	1 ④	離島景観創出活用事業	R6 ～ R7	観光誘客を目的に、外来植物の繁殖を抑制し、管理性に優れた在来植物による景観を形成するとともに、観光客等の利便性、快適性を高めることを目的に基本計画の策定を行う。	基本計画の策定完了	―	繰
35 伊平屋村	2 ①	病害虫防除事業	H24 ～ R13	さとうきびの生産量低下の原因となっている病害虫の防除を図るため、ほ場に薬剤を設置する。	さとうきびの生産量:5,110t 病害虫の発生件数の抑制:平均6.00匹/日以内	さとうきびの生産量:5,616t 病害虫の発生件数の抑制:平均0.06匹/日	◎
35 伊平屋村	2 ②	伊平屋村優良繁殖牛導入事業	H26 ～ R13	本村の畜産業の振興を図る為、畜産農家へ優良繁殖牛導入を支援する。また、農家へ導入費用の一部を助成し、経営の安定化を図るとともに計画的な優良繁殖牛導入を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:103%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:107%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
35 伊平屋村	3 ①	伝統文化継承支援事業	H24 ～ R13	伝統芸能及び文化の保存継承を図るため、保存会及び各集落の活動に対して支援を行う。	・伝統文化教室への参加率:100% ・伝統芸能演舞者数:80名、来場者数:140名	・伝統文化教室への参加率:100% ・伝統芸能演舞者数:0人(中止)、来場者数:0人(中止)	△
35 伊平屋村	3 ②	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R13	特別な支援を要する児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。また、児童生徒の学力に応じた学習指導を行うことで学力及び学習意欲の向上を図る。	・対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したか(80%以上)を含め、当該事業の在り方を検証する。 ・沖縄県学力到達調査における、県と本村との平均正答率の差 小学校 -5.0ポイント以上 中学校 -4.3ポイント以上	・対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したと回答した割合:100% ・沖縄県学力到達調査における、県と本村との平均正答率の差 小学校 -14.325ポイント 中学校 2.58ポイント	△
35 伊平屋村	3 ③	英語学習支援事業	H25 ～ R13	海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、国際的な視野を持つ人材を育成する。	保護者へのアンケートで、海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、児童生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	保護者へのアンケートで、海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、児童生徒の国際的な視野がより広まったと感じたと回答した割合:100%	◎
35 伊平屋村	3 ④	伊平屋島児童・生徒島外派遣等支援事業	H26 ～ R13	島外のひととの競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で実施される各種大会への参加を支援する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検討する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が広い視野を持てたと回答した割合:100%	◎
35 伊平屋村	3 ⑤	キャリア教育支援事業	H26 ～ R13	児童生徒の就業意識の向上を図るため、キャリア教育を実施する。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(60%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたと回答した割合:61.5%	◎
35 伊平屋村	3 ⑥	福祉従事者人材育成事業	R4 ～ R6	介護事業所の改革や研修実施、収益改善など効率化を行う。また、施設管理者向けのマネジメント等、施設改善に繋げる。	・福祉人材3名以上 ・村内外での福祉人材育成確保研修の完了による資格取得・スキルアップ:4名	・福祉人材:4名 ・村内外での福祉人材育成確保研修の完了による資格取得・スキルアップ:4名	◎
35 伊平屋村	3 ⑦	琉球弧に関する広域調査・文化資源創出事業	R5 ～ R7	一つの島と他の琉球弧の島々を連結させていた文化・風土の文脈を共有・感覚しやすいように見える化する出版・展示内容の制作によって、地理的なハンデを越え、全国区に独自の魅力を配信可能とする。地域独自の環境の価値を活用可能にし、未来の環境SDG's及び交流事業の活性化と関係人口の創出に資する。	・調査委託の完了 ・展示会の実施 ・出版物・展示のアンケート調査により、風土・環境の魅力が伝わったか(70%)、本事業のあり方について検証する。	・調査委託の完了 ・展示会の実施 ・出版物・展示のアンケート調査により、風土・環境の魅力が伝わったと回答した割合:90%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「―」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
35 伊平屋村	4 ①	幼稚園預かり保育支援事業	H24 ～ R13	保護者の育児における負担軽減を図るため、預かり保育を実施する。	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児における負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方を検証する。	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児における負担感が軽減されたと感じたと回答した割合:100%	◎
35 伊平屋村	4 ②	適正飼養推進事業	R4 ～ R8	本村の住みよい住環境の提供を図るため、猫の適正飼養に向けた条例などを策定する。	・避妊去勢手術実施済猫:50頭	・避妊去勢手術実施済猫:108頭	◎
35 伊平屋村	4 ③	自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ R13	村民が沖縄本島へ移動しやすい環境を構築することで離島における定住環境の改善を図るため、自動車航送に係る運賃の支援を行う。	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっていると回答した割合:93%	◎
35 伊平屋村	4 ④	伊平屋村緊急体制機能強化事業	R3 ～ R6	消防団の防災体制強化を図り、住民及び移住定住者、観光客等が安心安全で住みよい村づくりを目指すため、コンパクト且つ貯水量の確保、放水能力の高さをもった消防車両を整備する。	緊急車両(消防車)1台の導入完了	―	繰
36 伊是名村	1 ①	観光地等クリーンアップ事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地として景観形成を図るため、観光施設等の美化作業を実施する。	観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検討する。	アンケートにより、観光地としてふさわしい景観であると感じるか(感じるとの回答:84%)	◎
36 伊是名村	1 ②	いぜな尚円王まつり支援事業	H24 ～ R13	伝統文化の継承と観光客の誘致を図るため、いぜな尚円王まつりの開催を支援する。	来場者数 2,500人以上	来場者数 2,275人以上	○
36 伊是名村	1 ③	いぜな88トライアスロン大会支援事業	H24 ～ R13	観光客の誘致を図るため、いぜな88トライアスロン大会の開催を支援する。	大会参加者の満足度(80%以上)を含め、当該事業のありかたについて、アンケート調査により検証する。	アンケートによる大会参加者の満足度:100%	◎
36 伊是名村	1 ④	「尚円王(金丸)生誕の村」整備事業	H24 ～ R8	観光誘客を図るため、尚円王に関する旧蔵品などの修復を行う。	旧蔵品(復元資料)を活用した催事への来場者数:80人	旧蔵品(復元資料)を活用した催事への来場者数:75人	○
36 伊是名村	1 ⑤	伊是名モータースポーツ支援事業	H26 ～ R13	観光客の誘致を図るため、モータースポーツ大会の開催を支援する。	来場者数 1,263人以上	来場者数 1,020人	○
36 伊是名村	1 ⑥	伊是名海岸環境整備事業	R3 ～ R7	地域資源を活かした心安らぐ魅力的な観光地を目指すため、伊是名海岸周辺整備を行う。	伊是名海岸環境整備工事の完了	伊是名海岸環境整備工事完了	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
36 伊是名村	1 ⑦	伊是名村出店事業者販路 拡大支援事業	R6 ～ R13	村外で実施される各種イベントへ出店する伊是名 村内事業者の増加及び販路拡大を支援する。	各フェア終了後に売上額の報告を行い、前年度 対比及び社会情勢等を鑑み、費用対効果を検証 する。また出店された事業者からアンケートを頂 き、今後の事業のあり方を検証したい。	アンケートにより、出展料の補助金が妥当である か(妥当と回答した割合:100%)	◎
36 伊是名村	2 ①	伊是名村自動車航送コス ト負担軽減事業	H24 ～ R13	島民に対し、フェリー自動車航送費へ支援を行い、沖 縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られた か(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより 本事業のあり方を検証する。	アンケートにより、沖縄本島へ移動しやすい環境 の構築が図られたとの回答:92.6%	◎
36 伊是名村	3 ①	人材育成事業(日高小との 交流事業)	H24 ～ R13	伊是名小学校6年生を北海道に派遣し、日高小学 校との交流学習・体験学習を実施する。	・児童の協調の精神等の向上についてまとめた 報告書の作成 ・保護者アンケートを行い、県外での交流により、 児童の視野が広がったと感じたか(80%以上)を含 め、当該事業の在り方について検証する。	・児童の協調の精神等の向上についてまとめた 報告書作成 ・保護者アンケートにより、児童の視野が広がっ たと感じたとの回答:92%	◎
36 伊是名村	3 ②	児童生徒島外諸教育活動 支援事業	H24 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児 童生徒に広い視野を持たせるため、島外で実施され る各種大会への参加を支援する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケート で、児童・生徒が島内ではできない経験をするこ とができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり 方について検証する。	保護者アンケートにより、児童・生徒が島内では できない経験をすることができたとの回答94%	◎
36 伊是名村	3 ③	幼稚園預かり保育支援事 業	H24 ～ R13	預かり保育の実施により保護者の育児における負 担感の軽減を図る。	保護者へのアンケートで預かり保育により育児 の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含 め、当該事業の在り方を検証する。	保護者アンケートにより、預かり保育で育児の負 担感が軽減されたと感じたとの回答:100%	◎
36 伊是名村	3 ④	学習支援事業	H24 ～ R13	児童生徒の学力向上を図るため、村営学習塾及び 放課後教室の開講、学習支援員の配置を行う。	平成30年度～令和4年度までの沖縄県学びのた しきめ調査での村と県の平均正答率の差 小学校 -9.3ポイント以上 中学校 -9.5ポイント以上	平成30年度～令和4年度までの沖縄県学びのた しきめ調査での村と県の平均正答率の差 小学校 8.4ポイント 中学校 -6.3ポイント	◎
36 伊是名村	4 ①	伊是名村土づくり支援事 業	H24 ～ R13	安定的な有機肥料の供給による土づくりの促進及 び農作物の生産性の向上のため、沖縄本島からの 堆肥購入費用及び海上輸送費用を支援する。	さとうきびの反収:5,500kg	さとうきびの反収:5,764kg	◎
36 伊是名村	4 ②	農地の地力強化推進事業	R4 ～ R8	浚渫土砂から礫を取り除き、農地へ作土として供給 することで地力強化を推進するとともに、資源循環に よる環境負荷の低減を図る。	作土造成量:13,410t	作土造成量:1,510t	未

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
36 伊是名村	5	① 幼保連携型総合施設整備事業	R6 ～ R6	保育と教育を連携させ幼児教育の充実を図ることを目的とした幼保連携型総合施設の整備に係る基本設計を策定する。	幼保連携型総合施設基本設計の策定完了	－	繰
36 伊是名村	6	① 伊是名村公営墓地整備事業	R6 ～ R7	近年墓地の継承者問題等により村外転出が続いている。そのため公営墓地を整備し、解決に努める。	墓地建設に係る基本調査・設計、実施調査・設計の完了。	墓地建設に係る基本調査・設計、実施調査・設計完了。	◎
37 久米島町	1	① 優良雌牛導入事業	H26 ～ R13	肉用子牛の品質及びセリ価格を向上させることで、畜産農家の経営の安定化を図るため、畜産農家に優良繁殖雌牛の貸付を行う団体にこの牛の導入に係る経費を支援(補助)する。	導入した優良雌牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:107以上(%)	導入した優良雌牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:106%	○
37 久米島町	2	① 久米島紬販売促進事業	H24 ～ R13	久米島紬及び関連商品の売上増加を図るため、久米島紬事業協同組合が実施する久米島紬の新商品開発や販促開拓等の活動を支援(補助)する。	・久米島紬及び関連商品の年間売上高 反物売上額:6,500万円以上 ・久米島紬及び関連商品の年間売上高 小物売上額:1,400万円以上	・久米島紬及び関連商品の年間売上高 反物売上額:6,900万円 ・久米島紬及び関連商品の年間売上高 小物売上額:1,600万円	◎
37 久米島町	2	② 久米島特産品販路開拓事業	H25 ～ R13	久米島産の特産品の売上の向上を図るため、久米島商工会が行う特産品の販促活動やPR活動を支援(補助)する。	開催、出展した物産展における島特産品の販売額:2,560万円以上	開催、出展した物産展における島特産品の販売額:3,096万円	◎
37 久米島町	2	③ ブランディングサポート事業	R4 ～ R6	久米島産の特産品を製造・販売する事業者の売上の向上を図るため、特産品等のブラッシュアップやブランディングを行う機会を設け、事業者の経営の底上げに取り組む久米島商工会の活動を支援(補助)する。	・事業継続していく上で効果があったと回答した研修参加事業者の割合:80%以上	・事業継続していく上で効果があったと回答した研修参加事業者の割合:100%	◎
37 久米島町	3	① 観光誘客促進事業	H26 ～ R13	久米島の知名度向上、観光客の利便性向上及び観光閑散期における観光誘客を図るため、久米島観光の日イベントの開催や、県内外におけるプロモーションの実施、久米島空港内、兼城港ターミナル内に観光案内所の開設を行うほか、観光閑散期のチャーター便就航によるツアー造成、MICE受入に向けた受入体制の強化に取り組む。	・久米島に旅行でいま訪れてみたいと回答した割合:80%以上 ・MICE年間受入件数:36件	・久米島に旅行でいま訪れてみたいと回答した割合:99% ・MICE年間受入件数:2件	△
37 久米島町	3	② 体験交流型観光商品開発販売促進事業	H26 ～ R13	観光消費額の増加を図るため、観光閑散期における教育旅行等の団体客誘致に向けて、誘致活動や、体験プログラムのガイド育成、販売促進に取り組む。	・一般:観光体験プログラム売上額:1,607,174円以上 ※教育旅行以外 ・教育旅行:観光体験プログラム売上額:7,245,752円以上	・一般:観光体験プログラム売上額:1,268,780円 ※教育旅行以外 ・教育旅行:観光体験プログラム売上額:16,359,640円	○

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
37 久米島町	3	③ 久米島観光ブランディング事業	R4 ～ R6	観光消費額の増大を図るため、「食」をテーマとした久米島観光のブランド化による久米島の認知度や、食の満足度の向上に向けて、ご当地グルメの県内外でのプロモーション活動や、販売促進、飲食店組合の設立等に取り組む。	・観光消費額 食事・お酒:13,351円 ・観光消費額 お土産・買い物:8,829円	・観光消費額 食事・お酒:11,324円 ・観光消費額 お土産・買い物:7,203円	○
37 久米島町	3	④ アウトドアツーリズム展開促進事業	R5 ～ R6	久米島観光における付加価値の創出を通じた新たな顧客層の誘客を図るため、新たな旅のスタイルとして注目されているアウトドアツーリズムを、奥武島キャンプ場を拠点に商品化し販売促進するとともに、民間事業者による奥武島キャンプ場の効果的な管理運営に取り組む。	奥武島キャンプ場の利用者数:1,200人	奥武島キャンプ場の利用者数:1,637人	◎
37 久米島町	3	⑤ 観光地等環境美化強化事業	R5 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地として利用されている広場等の環境美化を行う。	観光地として魅力的な景観であると回答した観光客の割合:80%以上	観光地として魅力的な景観であると回答した観光客の割合:87.3%	◎
37 久米島町	3	⑥ スポーツコンベンション推進事業	R5 ～ R13	スポーツキャンプ・合宿のより一層の誘致を図るため、野球場及び多目的運動場の土・芝生等をプロ野球チームに求められる水準に整備する。	スポーツキャンプ・合宿受入件数:11件	スポーツキャンプ・合宿受入件数:10件	○
37 久米島町	4	① 英語指導員配置事業	H24 ～ R13	小学生の英語への興味・関心及び中学生の学力(英語)の向上を図るため、小・中学校に英語指導員を配置し、外国語授業等の支援を行う。	【小学生】 英語に対する興味・関心が高まったと回答した児童の割合:80%以上 【中学生】 全国学力学習状況調査における平均正答率の全国との差:-3ポイント	【小学生】 英語に対する興味・関心が高まったと回答した児童の割合:74.8% 【中学生】 全国学力学習状況調査における平均正答率の全国との差:1.2ポイント	○
37 久米島町	4	② 基礎学力向上学習支援員配置事業	H26 ～ R13	児童の学力向上を図るため、小学校に基礎学力向上学習支援員を配置し、国語・算数を中心に学習未定着の児童に支援を行う。	沖縄県達成度調査における平均正答率の県平均との差:3.5ポイント以上	沖縄県達成度調査における平均正答率の県平均との差:2.3ポイント	未
37 久米島町	4	③ 特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R13	特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を各学校へ配置し、多様なニーズに対応したきめ細やかな支援を行う。	特別支援教育支援員の対応に満足していると回答した対象児童生徒の保護者の割合:80%	特別支援教育支援員の対応に満足していると回答した対象児童生徒の保護者の割合:51.7%	未

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
37 久米島町	4 ④	小中アシスト相談員事業	R4 ～ R13	児童生徒の社会的自立に向けて不登校の児童生徒の登校復帰を促進するため、アシスト相談員を小・中学校に配置し、学校とアシスト相談員協働で不登校の児童生徒が登校できるよう支援する。	・登校復帰児童生徒数:2人	・登校復帰児童生徒数:7人	◎
37 久米島町	4 ⑤	学校ICT活用支援事業	R5 ～ R13	ICT活用により分かりやすい授業を実施するため、教職員の効果的なICT活用を支援するICT支援員を配置する。また、児童生徒の1人1台端末の活用に適した机上スペースを確保するためデスク天板拡張備品を整備する。	ICT活用により授業がわかりやすかったと答えた児童生徒の割合:80%以上	ICT活用により授業がわかりやすかったと答えた児童生徒の割合:83.6%	◎
37 久米島町	5 ①	地域型就業意識向上支援事業	H30 ～ R13	児童生徒に産業や職業の魅力を伝え、就業意識の向上を図るため、児童生徒を対象としたキャリア教育等を実施する。	就業に対して理解が深まったと回答した児童生徒の割合:80%以上	就業に対して理解が深まったと回答した児童生徒の割合:90%	◎
37 久米島町	5 ②	ホームステイ等派遣事業	R5 ～ R13	児童・生徒に国際的な視野を持たせるため、次代を担う小・中学生に、海外ホームステイや島内在住外国人との交流を通じた英語の実践や異文化に対する理解を深める機会を提供する。	(中学生:海外ホームステイ派遣) 国際的な視野が広がったと回答した生徒の割合:80% (小学生:島内在住外国人との交流) 英語に対する学習意欲が向上したと回答した児童の割合:80%	(中学生:海外ホームステイ派遣) 国際的な視野が広がったと回答した生徒の割合:85% (小学生:島内在住外国人との交流) 英語に対する学習意欲が向上したと回答した児童の割合:85%	◎
37 久米島町	5 ③	久米島現代版組踊推進事業	H24 ～ R13	久米島の歴史・文化に対する地域住民等の興味・関心を高め、保存・継承につなげるため、小中高生を中心とした地域の若者達による本町の歴史を題材とした舞台「現代版組踊」の公演等を行う。	・久米島の歴史・文化に対する興味・関心が高まったと回答した舞台公演来訪者の割合:80%	・久米島の歴史・文化に対する興味・関心が高まったと回答した舞台公演来訪者の割合:90.4%	◎
37 久米島町	5 ④	文化遺産保存活用事業	H24 ～ R12	古くから中国、東南アジア諸国等との交易・交流を通じて形成された沖縄独自の歴史・文化(古文書)を保存・継承するため、古文書の修復、翻刻及び口語訳を行う。	古文書修復件数:100件	古文書修復件数:100件	◎
37 久米島町	6 ①	航空運賃コスト負担軽減事業	H30 ～ R13	入域観光客数の増加を図るため、航空事業者が観光客等に対して運賃を割り引いて販売した際の差額分を補填することで、割高な渡航運賃の低減を行い観光客等が訪れやすい環境を整備する。	久米島町への観光入域者数:130,000人以上	久米島町への観光入域者数:88,527人	未

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
37 久米島町	6 ②	児童・生徒各種大会派遣支援事業	H27 ～ R13	島外において開催される各種大会(スポーツ・文化)等への参加を通じて児童生徒に広い視野を持たせるため、同大会等の参加に要する派遣旅費に対する支援を行い、地理的・経済的な理由に左右されず多くの生徒が参加できる環境を整備する。	島外において開催される各種大会等に参加して視野が広がったと回答した児童・生徒の割合:80%以上	島外において開催される各種大会等に参加して視野が広がったと回答した児童・生徒の割合:92%	◎
37 久米島町	6 ③	島外保育士確保対策事業	R3 ～ R13	待機児童の解消に必要な保育士の確保を図るため、島外からの保育士誘致等を行う。	待機児童数(保育所等利用待機児童数調査4.1時点):6名	待機児童数:0名	◎
37 久米島町	6 ④	親子支援事業	R6 ～ R13	就学後に学習・行動等が著しく困難となることが想定される子どもに対して、就学前に専門職によるきめ細かな支援を行うことで、学校・社会生活に適應できるようにする。	親子支援事業の支援により症状等の改善が見られたと回答した対象児の保護者の割合:80%以上	親子支援事業の支援により症状等の改善が見られたと回答した対象児の保護者の割合:66%	○
37 久米島町	6 ⑤	島外幼稚園教諭等確保対策事業	R6 ～ R13	就学1年前の子どもを安心・安全に預けられる環境を整え保護者の育児に係る負担感を軽減するため、幼稚園・預かり保育の運営に必要な幼稚園教諭・ヘルパー、預かり保育指導員・ヘルパーを島外から誘致するほか、預かり保育を実施する。	・幼稚園教育に満足していると回答した保護者の割合:80%以上 ・安心・安全に子どもを預け、育児の負担感が軽減されたと感じたと回答した保護者の割合:80%以上	・幼稚園教育に満足していると回答した保護者の割合:90% ・安心・安全に子どもを預け、育児の負担感が軽減されたと感じたと回答した保護者の割合:90%	◎
38 八重瀬町	1 ①	八重瀬町外国語指導強化事業	H24 ～ R13	小中学校の発達過程に応じ、外国文化への興味関心や英語能力を高め、国際化社会に柔軟に対応できる人材を育成するため、英語指導助手を配置する。	・(小学校)英語に対する興味・関心が高まった:80%以上 ・(中学校)沖縄県学力到達度調査(英語)における、県と本町との平均正答率の差:平均以上	・82% ・－2.3%	△
38 八重瀬町	1 ②	八重瀬町ICT支援員配置事業	H24 ～ R13	児童生徒の情報機器操作能力や情報活用能力の向上を図るための支援と併せ、教員による電子黒板等のICT機器を活用した分かりやすい授業が展開できるよう小中学校にICT支援員を配置する。	・ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか:80%以上	・90%	◎
38 八重瀬町	1 ③	八重瀬町学力向上支援事業	H25 ～ R13	学習の遅れがちな児童生徒へ授業中や放課後学習の支援を行い、基礎基本の学力を定着させ学力の向上を図るため、小中学校へ学習支援員を配置する。	沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 ・小学校(国語・算数):平均以上 ・中学校(国語・数学):+4.0ポイント以上	・+3.3ポイント ・+4.6ポイント	◎
38 八重瀬町	1 ④	八重瀬町特別支援員配置事業	H27 ～ R13	特別な支援を要する児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援員を配置する。	・特別支援員の対応に満足したか:80%以上	・83%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
38 八重瀬町	1 ⑤	八重瀬町ICT教育強化事業	H26 ～ R7	校内ネットワークへの接続や学習用端末と連携が可能な電子黒板を導入し主体的な学びの意欲向上及び学びの深化を図るため、町内小中学校にICT機器を整備する。	・児童生徒へのアンケートにより、ICT機器を活用した授業が分かりやすかった:80%以上	・95%	◎
38 八重瀬町	1 ⑦	「夢・未来」スポーツレベルアップ事業	H27 ～ R13	八重瀬町民のスポーツへの意識を高めるとともに、沖縄県及び全国レベルの各種競技大会での八重瀬町出身選手(児童生徒)の活躍を支援するため、派遣費の助成やスポーツ教室を開催する。	・スポーツ教室へ参加した児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識が更に高まったか:80%以上 ・派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒が広い視野を持てたか:80%以上	・93% ・100%	◎
38 八重瀬町	1 ⑧	八重瀬町国際交流人材育成事業	H24 ～ R13	海外での生活や体験を通して、国際的な視野を持つ人材を育成するため、中学生を海外に派遣する。	・保護者へのアンケート実施「児童生徒の国際的な視野が広まった」の回答率:100%	・100%	◎
38 八重瀬町	1 ⑨	八重瀬町少年少女人材育成交流事業	H26 ～ R13	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外の児童生徒との交流を実施する。	・保護者へのアンケート実施「児童生徒の視野が広まった」の回答率:100%	・100%	◎
38 八重瀬町	2 ①	八重瀬町イベント事業	H24 ～ R13	伝統芸能の継承と観光客誘致を図るため、町特有の地域資源を活用したイベントの開催支援を行い、国内外へ情報を発信することで町内への集客を図る。	・やえせ桜まつり来場者数:24,000人以上 ・八重瀬町青年エイサー祭り来場者数:13,000人以上	・31,069人 ・13,100人	◎
38 八重瀬町	2 ②	八重瀬町観光地美化作業事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施する。	・観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じるか:80%以上	・92%	◎
38 八重瀬町	2 ③	運動公園施設等整備事業	H24 ～ R13	スポーツキャンプの誘致を図るため、運動施設の整備を行う。	・野球キャンプの受入れ:4件以上 ・サッカーキャンプの受入れ:4件以上	・4件 ・4件	◎
38 八重瀬町	2 ④	八重瀬町観光プロモーション事業	H26 ～ R13	観光振興を推進するために観光プロモーションの管理業務支援員の配置、観光プロモーションの企画立案及び運営管理を行い、観光客の誘客を図る。	・主要観光施設の入域客数:160,000人以上	・249,612人	◎
38 八重瀬町	2 ⑤	八重瀬町スポーツ観光交流屋内運動場整備事業	R4 ～ R7	各種スポーツキャンプやスポーツイベント等の誘致強化を図るため、既設体育施設を屋内運動場として機能強化改修整備を行い、スポーツツーリズムの推進を図る。	・旧具志頭小学校体育館の屋内運動場リニューアル機能強化整備工事(継続有)の完成 ・施設駐車場施設設計業務の完了	・完成 ・完了	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
38 八重瀬町	2	⑦ スポーツキャンプ事業	H26 ～ R13	集客力のある野球・サッカー等のスポーツチームのキャンプ誘致を行う。	・スポーツチームのキャンプの誘致:4チーム	・4チーム	◎
38 八重瀬町	3	① 放課後児童クラブ利用者負担軽減事業	R4 ～ R12	日中保護者が家にいない小学生に対し、放課後や学校休校日に子どもが安心して過ごせる場所を提供する。学童クラブを利用する非課税世帯、ひとり親世帯に対して保育利用料を減免した場合に補助を行う。	・就労できた又は就労を継続できたか、経済的な負担軽減の割合:80%以上	・100%	◎
38 八重瀬町	4	② 八重瀬町地産地消フェア事業	H26 ～ R13	農作物等や畜産・水産及びそれらを使用した加工品等の情報発信や展示販売等を行うイベントを開催し、農林水産業の振興を図る。	・地産地消フェア来場者数:4,000人以上	・4,764人	◎
38 八重瀬町	6	① 八重瀬歴史文化継承事業	R4 ～ R13	八重瀬町の歴史・文化の継承を図るため、八重瀬町の歴史・文化に関して調査、資料収集、編纂し、冊子として発刊する。発刊した冊子や調査成果を活用し、企画展を開催する。	・企画展の来場者数:100人	・699人	◎
38 八重瀬町	6	② 八重瀬町無形文化財活用推進事業	R4 ～ R6	八重瀬町内の多彩な無形民俗文化財等を教育や観光に広く活用するため、文化観光体験モニター実証事業を行い、新たな文化観光コンテンツを整備する。	・各種団体との協議(体験プランの創出):3回 ・モニターツアー参加者アンケート結果による体験プランの創出及び見直し:4種 ・テスト公演による観覧者アンケートの実施:80件	・3回 ・4種 ・87回	◎
38 八重瀬町	6	③ 八重瀬町伝承話資料保存継承事業	R5 ～ R12	八重瀬町に伝わる伝承話の保存、継承を図るため、伝承話資料センターに保管されている本町の伝承話のアナログ音源資料を調査及び収集、デジタル化し、伝承話資料の目録、動画絵本をホームページ等で公開し多くの人が活用できるようにする。	・HPの利用率(対R5年度比):10%以上	・37%	◎
38 八重瀬町	6	④ 八重瀬町生涯学習・文化振興拠点施設整備事業	H30 ～ R9	生涯学習・文化振興拠点施設を整備することにより、南部地域を首里城を中心にした沖縄の歴史・文化を観て、学ぶことができる場として、持続可能な観光地づくりに取り組み、沖縄観光の誘客を図る。	・外構(駐車場)設計の完了 ・地質調査(ボーリング)の完了	・完了 ・完了	◎
38 八重瀬町	7	① 八重瀬町高齢者等おでかけサポート事業	R4 ～ R6	公共交通の利用が不便な高齢者や交通弱者等の外出支援を行うため、住民ボランティアドライバーによる外出支援の実証運行を行う。	・参加自治会数:7自治会 ・月平均利用者数:25人 ・稼働率:40.0%以上	・6自治会 ・27.1人 ・36.5%	○

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
39 多良間村	1 ①	美化緑化推進事業	H25 ～ R13	魅力的な観光地としての景観を形成するため、観光関連施設や周辺道路等の美化・緑化を行う。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方についてアンケート調査により検証する。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか85%	◎
39 多良間村	1 ②	八重山遠見台展望塔機能強化事業	R6 ～ R6	本村の地域資源を活かした観光産業の振興を図るため、八重山遠見台展望塔の機能強化を行い、観光客等利用者の利便性の向上及び安全確保を図り、快適な環境づくりによる観光地形成を推進する。	八重山遠見台展望塔の機能強化工事の完了 観光客誘引数 9,500人⇒10,000人	R7繰越	繰
39 多良間村	1 ③	ヤシガニ生息状況調査事業	R5 ～ R10	ヤシガニ保護のため、現在の多良間島、水納島における生息状況を調査して報告書を作成する。今後は次年度以降の調査結果も踏まえ、村条例の改正も視野に入れ保護区の設定、ヤシガニ観察エコツアーの企画等を進め保全及び今後の持続的利活用を図る。	R5年度調査において十分な調査ができなかった場所において大型個体を探索する 講演会を実施してヤシガニの生態や村内における生息状況について報告、村民のヤシガニの保全意識の醸成につなげ持続的な利活用について共有する	500匹→712匹 実績報告会→実施	◎
39 多良間村	2 ①	優良繁殖雌牛導入支援事業	H27 ～ R6	生産農家の経営の安定化及び良質な肉用牛の改良推進を図る為、優良繁殖雌牛導入を支援する。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合122%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合122.8%	◎
39 多良間村	3 ①	児童生徒島外教育諸活動事業	H27 ～ R13	各種大会が島外で開催されるため、児童生徒・引率者が(派遣)参加するための交通費(航空運賃)及び宿泊費の補助金を交付する。	アンケートにより大会を通じて、「島内でできない経験ができた。意識の向上につながった」割合：80%	アンケートにより大会を通じて、「島内でできない経験ができた。意識の向上につながった」割合：95%	◎
39 多良間村	3 ②	学力向上推進ALT活用事業	H27 ～ R13	児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図るため、ALTを招聘する。	①小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。 ②中学校 英検4級の保有割合：50%以上	①小学校 英語に対する興味・関心が高まったか82% ②中学校 英検4級の保有割合：51%	◎
39 多良間村	3 ③	村営学習塾開設事業	H28 ～ R13	児童生徒の学力の向上を図るため、村営学習塾を開講し、国語・算数(数学)・英語を中心とした学習支援を対面で実施する。また、社会情勢を鑑みたく上で臨機応変に対応できるように、オンラインでの支援も視野に入れ実施する。	沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差 ・小学校(国語・算数)→4.0ポイント以上 ・中学校(国語・数学・英語)→6.0ポイント以上	沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差 ・小学校(国語・算数)→3.7ポイント以上 ・中学校(国語・数学・英語)→5.4ポイント以上	○

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
39 多良間村	3	④ 多良間村就業意識向上支援事業	H30 ～ R13	児童生徒の就業意識の向上を図るため、職業体験等のキャリア教育を行う。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか89%	◎
39 多良間村	3	⑤ 多良間村自然文化継承事業	H30 ～ R7	多良間村の歴史・文化の継承及びこれらを活用した観光誘客を図るため、ふるさと民俗学習館の郷土資料の修復や村独自の年中行事の調査記録編集等を行い、資料を整理する。	①ふるさと民俗学習館の村民利用者数193人以上 ②ふるさと民俗学習館の観光客利用者数297人以上 ③シンポジウム来場者数100人以上	①ふるさと民俗学習館の村民利用者数196人 ②ふるさと民俗学習館の観光客利用者数1,043人 ③シンポジウム来場者数72人	○
39 多良間村	4	① 多良間村自動車航送負担コスト軽減事業	H27 ～ R13	村民が島外へ移動しやすい環境を構築することで、小規模離島における定住環境の改善を図るため、村民の自動車航送に係る運賃の一部を補助する。	運賃補助によって宮古島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する	運賃補助によって宮古島へ移動しやすい環境となっているか100%	◎
39 多良間村	4	② 多良間村離島航空路チャーター運航支援事業	R6 ～ R13	多良間－石垣間の航空路の運航・維持により村民の利便性向上や定住条件の整備、交流人口の増加等で村の振興に繋げる。その、チャーター便の運航に伴い生じた欠損額に対し、補助を行う。	多良間-石垣間航空路線の運航・維持	運航実施	◎
39 多良間村	5	① 多良間村心身障害児等渡航費助成事業	R3 ～ R13	本村の心身障害児等の専門医療、療育支援に係る旅費助成金事業	渡航費支援が必要な児童への支援率100%	渡航費支援が必要な児童への支援率100%	◎
39 多良間村	5	② 多良間村地下水源保全推進事業	R6 ～ R7	生活用水、農業用水等の用水利用のほとんどを地下水に依存する多良間村において、住民生活、産業基盤等の根幹を成す地下水源を適正に保全するため、島内唯一の最終処分場の改修工事を実施する。	撤去設計、復旧設計の作成及び撤去工事の実施	R7繰越	繰
40 竹富町	1	① 竹富町民等交通コスト負担軽減事業	H27 ～ R13	町民が島嶼間を移動しやすく環境を整備し、生活の利便性を確保するため、船賃及び航空運賃の一部を補助する。	本事業について、利用者へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	アンケートにより、利便性が確保されたとの回答: 81%	◎
40 竹富町	1	② 竹富町救急救命搬送拡充事業	R5 ～ R8	本町の救急救命業務の拡充を図るため、急患患者が多発する西表西部地区において、民間救急事業者に委託し救急救命士の24時間専任体制の構築・維持を図る。	・救急搬送の拡充が図られたか(80%以上)を含め消防団・医療関係へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・西表西部地区における救急搬送要請への対応率100%	・アンケートにより、救急搬送の拡充が図られたとの回答: 100% ・西表西部地区における救急搬送要請への対応率: 100%	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
40 竹富町	1 ③	うなり崎公園整備事業	H24 ～ R8	西表西部地区にあるうなり崎公園の幼児が遊ぶことのできる遊具等の増設を目的とした機能強化を行い、幼児の健康維持、保護者が安心して子育てができる環境づくりのため、遊具や東屋を整備する。	設計の完了	設計完了	◎
40 竹富町	1 ④	浦内広場コミュニティスペース整備事業	R6 ～ R6	西表西部地区の地元の子どもから大人まで一緒に交流することのできるコミュニティスペースの確保をし、健康促進と保護者が安心して子育てができる環境づくりのためバスケットコートと東屋を整備する。	工事の完了	ー	繰
40 竹富町	1 ⑤	複合型福祉施設整備事業	H27 ～ R8	竹富町の各島において、地域の担い手となる子どもたちの幼児期における教育・保育環境の充実、地域住民相互の多種多様な交流拠点とすることを目的とし、保育所機能、福祉機能を有する複合型福祉施設を設置する。	基本設計の完了	基本設計完了	◎
40 竹富町	1 ⑥	竹富町離島航空路チャーター運航支援事業	R6 ～ R12	本町住民の交通手段である石垣・波照間航空路線を確保・維持するため、チャーター便の運航に伴い生じた欠損額に対して補助を行う。	石垣-波照間航空路線の確保・維持 1路線	石垣-波照間航空路線の確保・維持: 1路線	◎
40 竹富町	1 ⑦	竹富町空き家対策事業	R6 ～ R6	島外からの移住者やI・Uターン等による住宅不足や人手不足を解消するため、「竹富町空き家等対策計画兼空き家対策総合実施計画」を策定する。	竹富町空き家等対策計画策定	ー	繰
40 竹富町	2 ①	竹富町観光誘客・受入対策事業	H24 ～ R13	滞在型・着地型観光および責任ある観光を推進し、観光客の満足度確保を図るため、竹富町観光に関する情報発信や受入体制強化を行う。	観光客を対象としたアンケート調査を実施し、観光満足度評価平均60ポイント以上(最高100ポイントで10ポイントきざみ)を目指す。	アンケートによる、観光満足度評価平均:87.2ポイント	◎
40 竹富町	2 ②	竹富町文化振興・観光交流拠点整備事業	R2 ～ R10	竹富町の自然・歴史・文化の継承及びそれらを活用するコンテンツを作成し利用者満足度向上を図るとともに、拠点施設を整備する事により、観光客の来訪促進を図るとともに、住民の地域理解を深める。	町保管等のアナログ資料のデジタル化を行い、公開可能なものについてはHPや施設等での公開および貸出を行う。	資料収集及び映像資料のデジタル化、小濱資料館資料調査の完了	◎
40 竹富町	2 ③	竹富島ンブフル坂、世持御嶽前石畳整備事業	R5 ～ R6	重要伝統的建造物群保存地区の保全と観光地にふさわしい景観及び安心安全な観光地の保全を図る。	整備工事の完了	整備工事完了	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
40 竹富町	2 ④	竹富町観光案内人制度運用支援システム整備等事業	R6 ～ R6	西表島において、適正な観光管理の下でのエコツーリズムの推進を図るため、西表島エコツーリズム推進全体構想及び改正竹富町観光案内人条例の適切な運用に必要な一元的案内人制度支援システム及び情報発信を行う。	一元的案内人制度運用支援システムの構築	一元的案内人制度運用支援システム構築	◎
40 竹富町	2 ⑤	竹富島コンドイ園地整備事業	R6 ～ R8	竹富島コンドイ園地において、利用者負担の仕組みの導入とコンドイ浜ならではの自然資源の魅力のさらなる活用を図るため、利用施設の整備に係る基本構想及び基本計画の検討を行う。	基本構想及び基本計画の策定完了	基本構想及び基本計画策定完了	◎
40 竹富町	4 ①	竹富町和牛生産推進事業	H24 ～ R13	町内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を橋上させるため、農家が優良繁殖雌牛を導入する際の導入費用を支援する。また、離島港湾入口に靴底消毒用マットを設置する。	・防疫マット設置6カ所 家畜伝染病等の発生件数0件 ・優良繁殖雌牛導入支援 60万×80頭	・防疫マット設置6カ所 家畜伝染病等の発生件数0件 ・優良繁殖雌牛導入支援 60万×30頭	△
40 竹富町	4 ②	古見遊歩道整備事業	R6 ～ R7	国の天然記念物に指定されている「古見のサキシマスオウノキ群落」へと続く遊歩道が老朽化により閉鎖されている。自然文化財に触れる機会を損失している現状を改善し、地域の活性化につなげることを目的とし、遊歩道整備実施設計及び整備を行う。	遊歩道設計の完了	遊歩道設計完了	◎
40 竹富町	4 ③	仲間川のサキシマスオウノキ遊歩道改修事業	R6 ～ R7	仲間川天然保護区域に生育する日本最大規模のサキシマスオウノキへと続く遊歩道が老朽化により危険な状態となっている。自然文化財に触れる機会を損失している現状を改善し、地域の活性化につなげることを目的とし、遊歩道整備実施設計及び改修を行う。	遊歩道設計の完了	遊歩道設計完了	◎
41 与那国町	1 ①	地域振興対策事業	H24 ～ R13	「日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会」及び「日本最西端与那国島一周マラソン大会」開催の支援を行う	イベント開催月入域観光客数 カジキ釣り大会:3,000人(7月) 一周マラソン大会:3,600人(11月) 合計:6,600人	カジキ釣り大会開催月(7月)の入域観光客数: 3,024人 一周マラソン大会開催月(11月)の入域観光客数: 3,408人 合計:6,432人	○
41 与那国町	1 ②	与那国町誘客促進活性化事業	H30 ～ R13	観光アピールを行い、与那国町の認知度を向上させ、観光誘客を図る、受入体制を強化・周知させ、観光客の増加を図る	入域観光客 43,000人/年	入域観光客 43,556人	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」
「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
41 与那国町	1 ③	与那国島特産品アピール力強化事業	H25 ～ R13	与那国島の特産品販路拡大及び売上の増加を図るため、与那国町商工事業者の支援を行う	①新商品開発:3件 ②既存商品リニューアル:2件 ③新商品、リニューアル商品のテスト販売:2件 ④商談会・物産展への出展者数:23事業者	①新商品開発:7件 ②既存商品リニューアル:4件 ③新商品、リニューアル商品のテスト販売:2件 ④商談会・物産展への出展者数:26事業	◎
41 与那国町	1 ④	西崎灯台遊歩道等整備事業	R6 ～ R6	日本最西端及び行幸啓の地として島の観光資源をより活かすため、遊歩道等の整備を行い、誘客促進を図る。	整備工事の完了	-	繰
41 与那国町	2 ①	優良牛繁殖雌牛導入事業	H25 ～ R13	農家の経営の安定化に向けて、町内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、優良繁殖雌牛及び妊娠牛導入を支援する。	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 115%以上	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:126	◎
41 与那国町	2 ②	与那国町漁業担い手育成プラン実施事業	H26 ～ R8	漁業従事者の維持確保を図るため、漁業の担い手に漁船や漁業設備を貸し付ける団体に対し、漁船等の導入費用の一部を補助する。	・漁業従事者数の維持確保:39人以上	漁業従事者数の維持確保:40人	◎
41 与那国町	2 ③	官民一体・新規事業創出推進事業	R6 ～ R6	「官民一体型・新産業推進基本計画」に基づき、新たな官民一体型による施策展開を図り、より早く自立した地域経済の確立を実現させるため、官民連携における専門知識を有するアドバイザーやコンサルの力を借り、より速やかな新規事業創出を図る。	新規事業創出件数 2件以上	1件	△
41 与那国町	3 ①	家庭学習支援モデル事業	H24 ～ R13	都市部と学習環境に格差がある本町の小中学生のため、家庭学習支援を目的とした「町営学習塾」を開設する。	沖縄県学力到達度調査において、町と県の平均正答率の差 小学生 国語: +7.5ポイント 以上 算数: +9.8ポイント 以上 中学生 数学: +2.7ポイント 以上 英語: 0ポイント 以上	沖縄県学力到達度調査において、町と県の平均正答率の差 小学生 国語: 5ポイント 算数: 4ポイント 中学生 数学: 3. 5ポイント 英語: 4ポイント	△
41 与那国町	3 ②	教育諸活動助成事業	H24 ～ R13	島外との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される大会派遣に対し航空運賃等の補助をする。	対象児童生徒の保護者へアンケートを取り、「島内ではできない経験をすることができた(80%以上)」を含め、本事業について検証する。	島内ではできない経験をすることができた(91%)	○

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「繰越」…「繰」「遂行困難」…「－」

市町村名	事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	R6成果目標(指標)	R6成果実績(指標)	評価
41 与那国町	3	③ 地域国際交流事業	H24 ～ R13	小学6年生を台湾花蓮縣にあるタバロン小学校へ派遣し、地元小学生との交流授業及びICT交流を通じて国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	事業実施後、児童の「国際的な視野の広がり」を感じたか(80%以上)を含め、保護者と担任教諭へのアンケートにより、本事業のあり方を検討する。	帰国後、児童の国際的な視野がより広まったと感じたか(94%)	○
41 与那国町	3	④ 与那国町ジュニア海外語学研修派遣事業	H25 ～ R13	中学生を英語圏の語学研修へ派遣し、ネイティブによる語学学校の授業や海外での生活・体験をとおり、語学力の向上と国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	事後アンケート調査において「国際的な広い視野を持てたかどうか」「語学能力・学習意欲の向上」の肯定回答(80%以上)を含め、保護者・教諭へのアンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(100%)	◎
41 与那国町	3	⑤ 与那国民謡の文化継承事業	R3 ～ R8	伝統文化を活用した町づくりを推進するため、民謡ゆかりの地に解説板を設置し、町内外からの来訪者に民謡の持つ文化的価値を広く周知し、教育や観光に活用する。	①民謡解説板設置5基完了 ②民謡文化の理解度(80%)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	①5基設置完了 ②民謡巡りツアー終了後、事業が民謡の理解に役立ったか(100%)	◎
41 与那国町	4	① 安心・安全のまちづくり支援事業	H25 ～ R13	教育時間終了後の幼稚園児等及び小学校低学年児童の安全な居場所を確保し、子育てに関する負担軽減を図るため、指導員を配置し預かり保育を行う。	子育てに対する負担感の軽減が感じられた(90%以上)を含め、利用児童の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する	安心・安全に子どもを預けることができ、育児に関する負担感が軽減されたと感じた(90%)	◎
41 与那国町	4	④ 離島高校生保護者負担軽減事業	R6 ～ R13	中学校卒業後も公平な教育機会を確保するため、島外の高等学校等へ進学する児童生徒の保護者に対して、学校行事等へ参加する際の渡航費等を補助する。	対象の保護者へアンケートを取り、「経済的負担の軽減により子育ての意欲が高まった(80%以上)を含め、アンケートにより本事業について検証する。	経済的負担の軽減により子育ての意欲が高まった(90%)	◎
41 与那国町	5	① 少子高齢化対策事業	H24 ～ R13	島内の妊産婦が良質かつ適切な医療を受ける機会を確保するため、妊産婦が島外の病院へ通院する際に必要な渡航費等の経費を補助する。	・島外での妊婦健診等医療サービスが必要な方のうち、支援を受けて渡航した方の割合 100%	島内での妊産婦定期健診等医療サービスが必要な方のうち、支援を受けて渡航した方の割合: 100%	◎
41 与那国町	5	② 歯科医院に係る渡航費助成事業	R6 ～ R6	歯科医院通院に係る渡航費の一部助成を行うことにより、町民の健康を守る。	歯科通院に係る経済的負担が軽減されたか(80%以上)を含め、受診者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	歯科通院に係る経済的負担が軽減されたか(90%)	◎
41 与那国町	6	① 公共交通路線支援事業	H26 ～ R13	生活路線バスの安定的な運営を維持し、定住するために必要な条件を整備するとともに、来島者の利便性向上を図る	①バス対策会議:1回/年の開催 ②乗客アンケート:1回/年の実施により、乗客の満足度80%以上	①未実施 ②利便性が図られたか(92%)	△